

5 健康づくりに対する意識や状況

(1) 自身の現在の健康状態

問27 あなたはご自身の現在の健康状態をどのように考えていますか。(○は1つだけ)

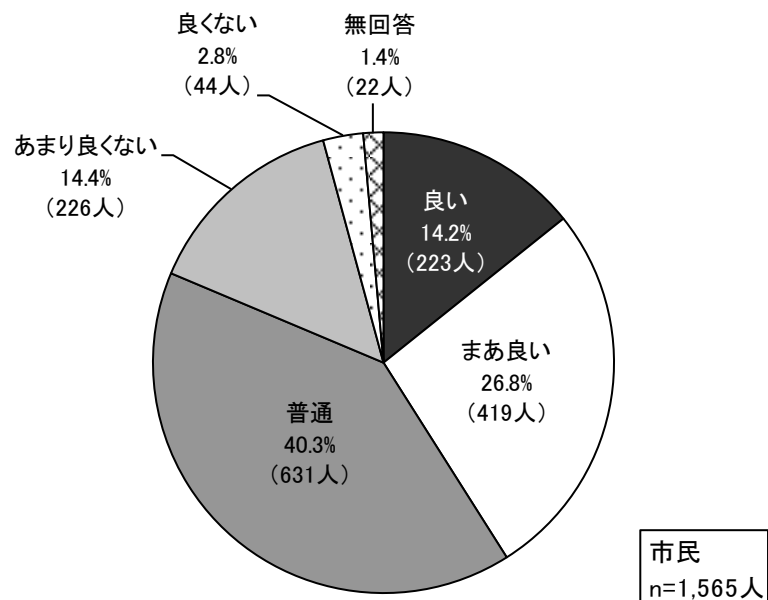
4割強が「良い」「まあ良い」と回答

【全体結果】

「良い」(14.2%)、「まあ良い」(26.8%)と回答した人を合わせた、健康状態が良いと感じている人の割合は4割強(41.0%)となっている。

一方、「あまり良くない」(14.4%)、「良くない」(2.8%)と回答した人を合わせた、健康状態が良くないと感じている人の割合は2割弱(17.3%)となっている。

図 5.1-1 自身の現在の健康状態



【性別・年齢別】

「良い」「まあ良い」と回答した人を合わせた割合は、20歳代（59.7%）が最も高く、約6割となっている。

一方、「あまり良くない」「良くない」と回答した人を合わせた割合は、他の年代に比べ20歳代と70歳以上（いずれも21.0%）でやや高くなっている。

図 5.1-2 自身の現在の健康状態（年齢別・全体）

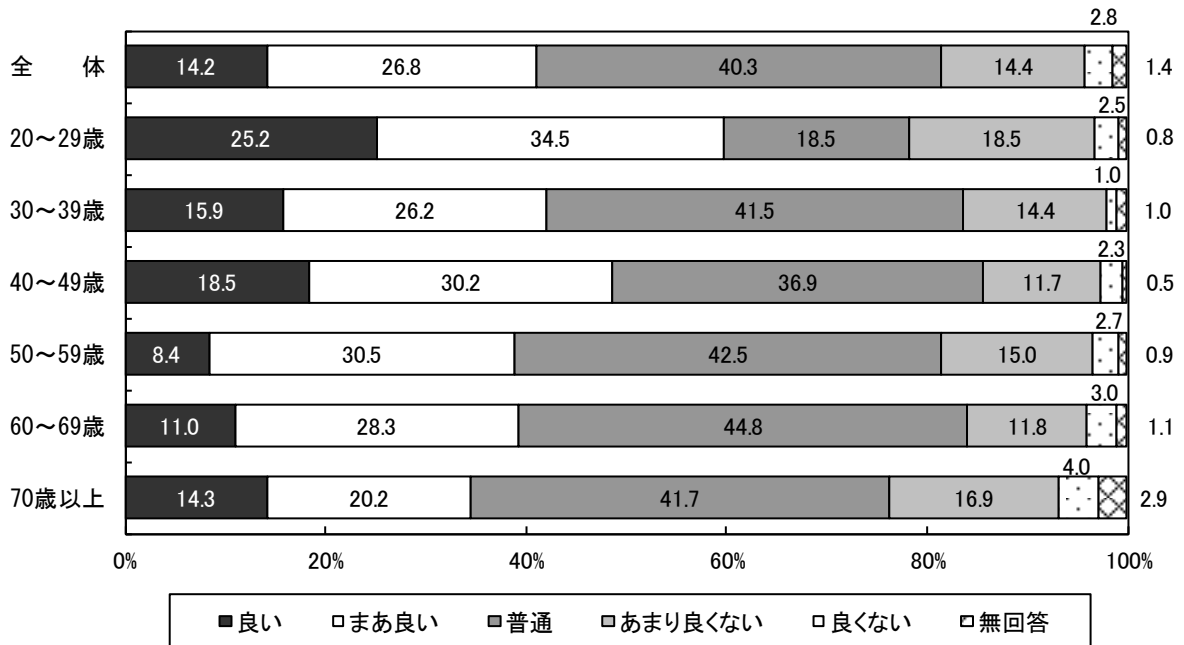
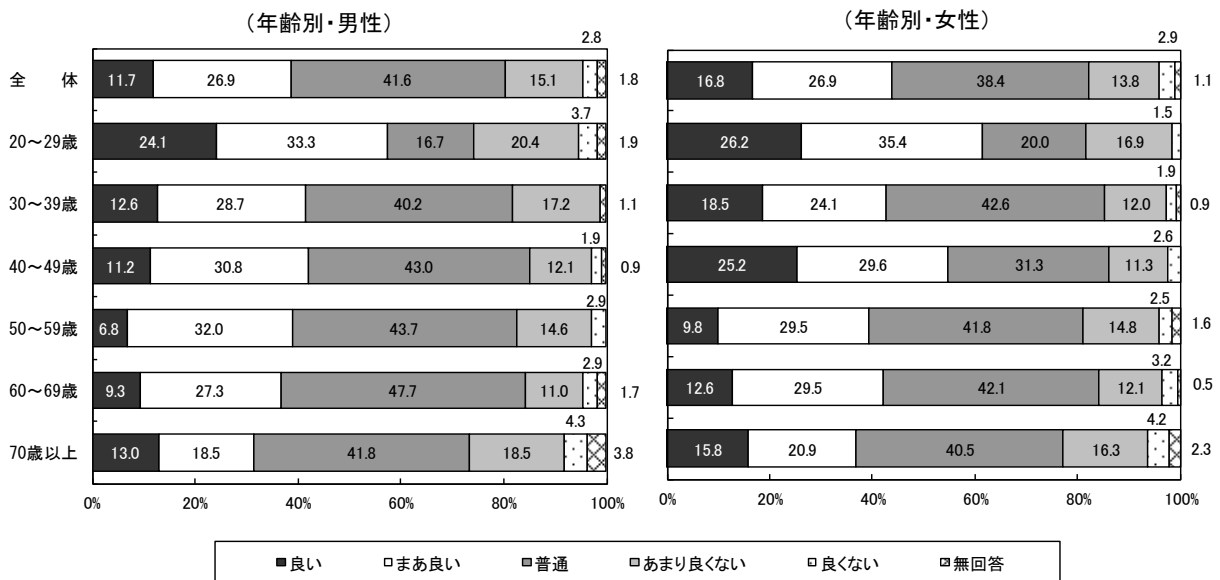


図 5.1-3 自身の現在の健康状態



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

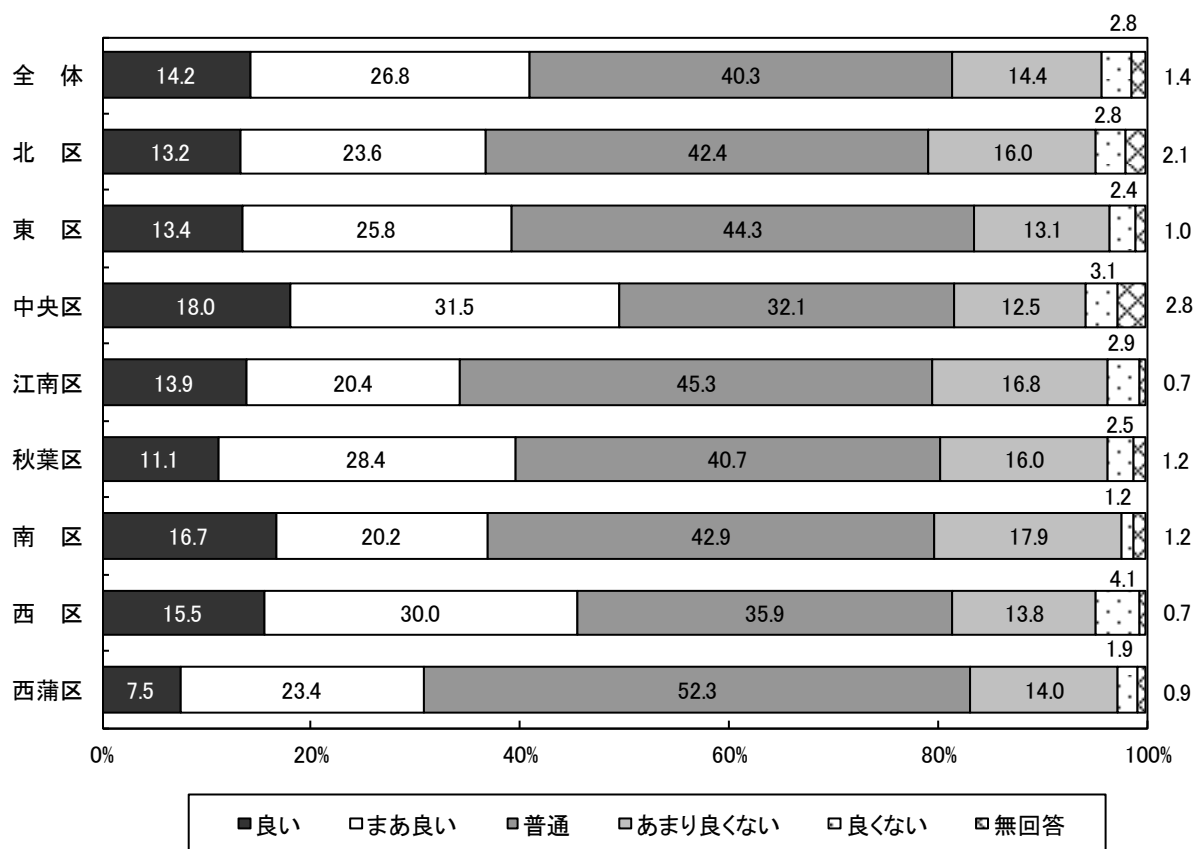
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「良い」「まあ良い」と回答した人を合わせた割合は、中央区（49.5%）で最も高くなっている。一方、「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合では、江南区（19.7%）が最も高くなっている。

図 5.1-4 自身の現在の健康状態（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

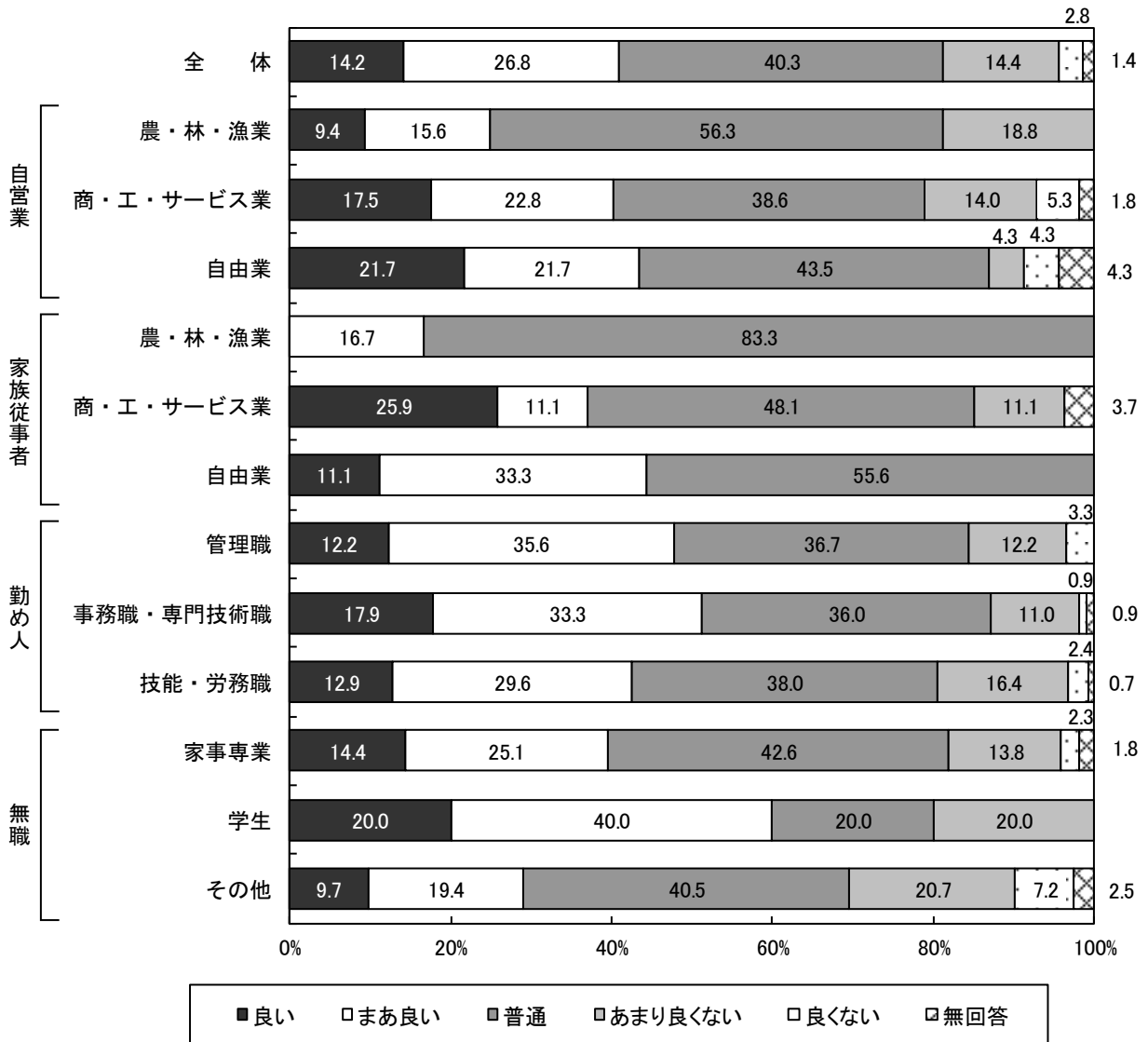
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.1-5 自身の現在の健康状態（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

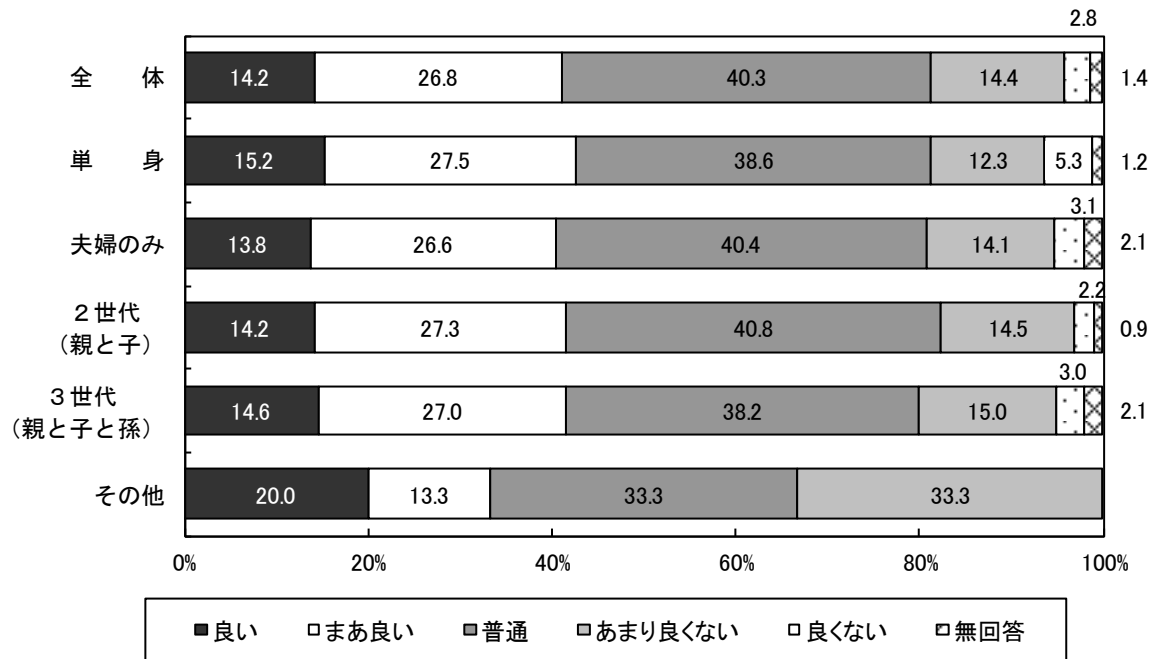
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「良い」「まあ良い」を合わせた割合は、単身（42.7%）で最も高く、一方、「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合は、その他（33.3%）で最も高くなっている。

図 5.1-6 自身の現在の健康状態（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(2) 睡眠による休養

問28 あなたはいつもとっている睡眠で休養が十分とれていると思いますか。(○は1つだけ)

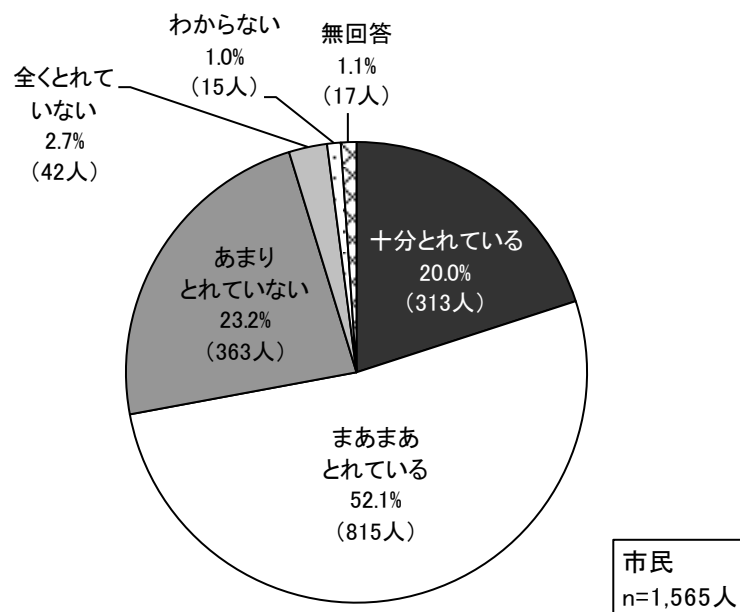
7割強が睡眠による休養がとれていると回答

【全体結果】

睡眠による休養が「十分とれている」(20.0%)、「まあまあとれている」(52.1%)と回答した人を合わせた割合は7割強(72.1%)となっている。

一方、「あまりとれていない」(23.2%)、「全くとれていない」(2.7%)と回答した人を合わせた割合は3割弱(25.9%)となっている。

図 5.2-1 睡眠による休養



【性別・年齢別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、70歳以上で高く、8割を超えている。

性別では、50歳代～70歳以上で、男性の方が「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合が高くなっている。

図 5.2-2 睡眠による休養（年齢別・全体）

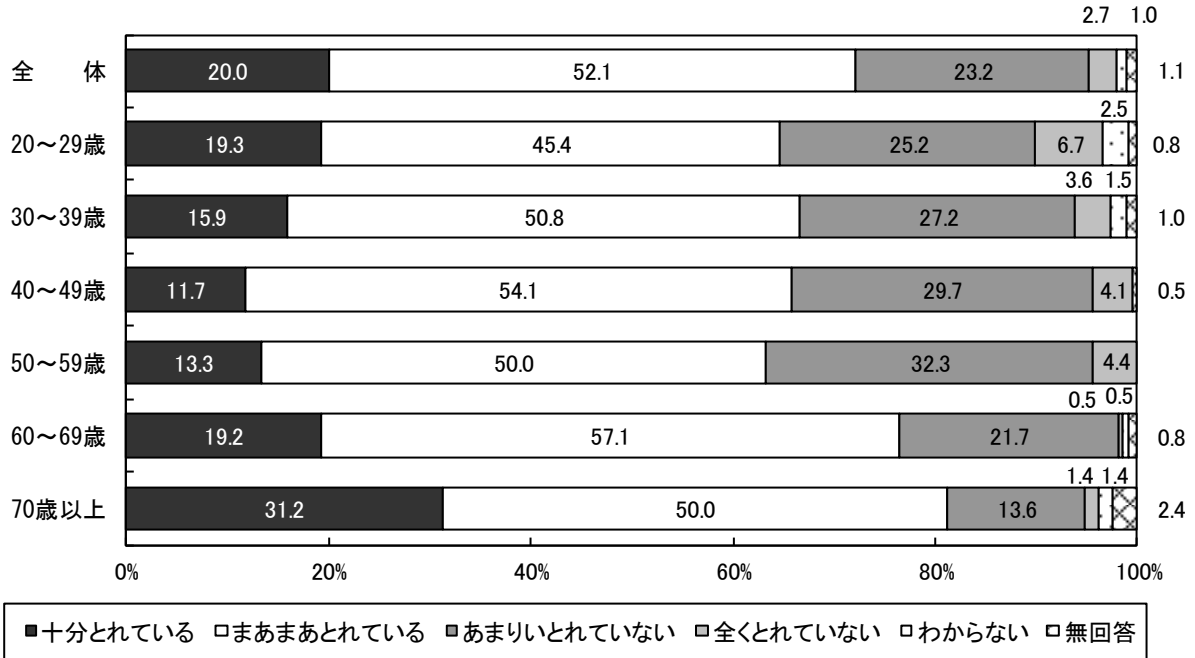
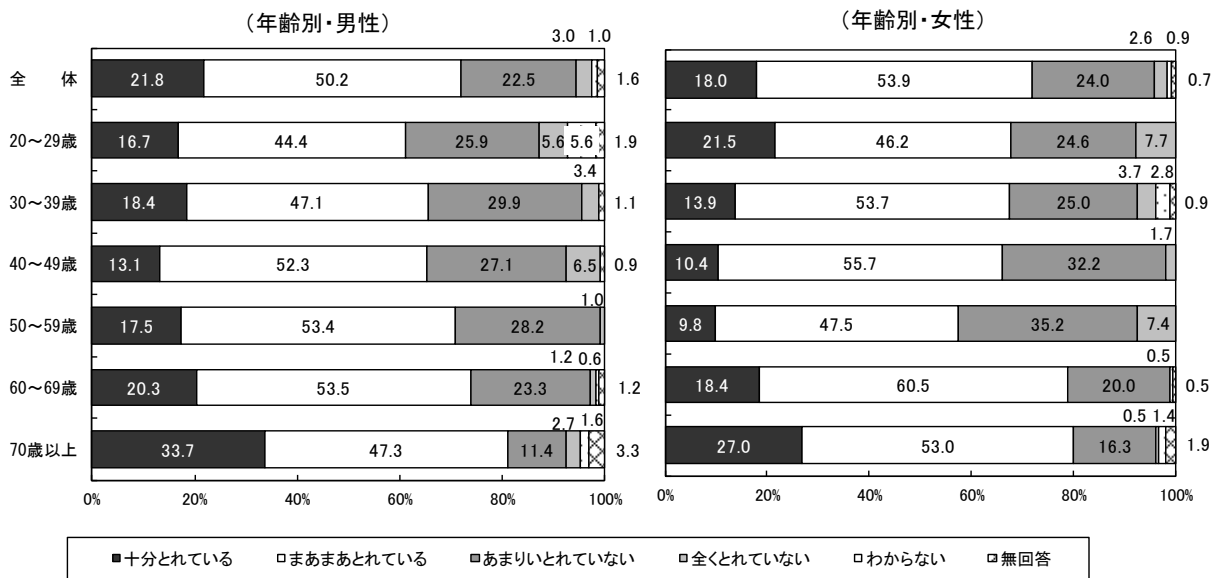


図 5.2-3 睡眠による休養



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

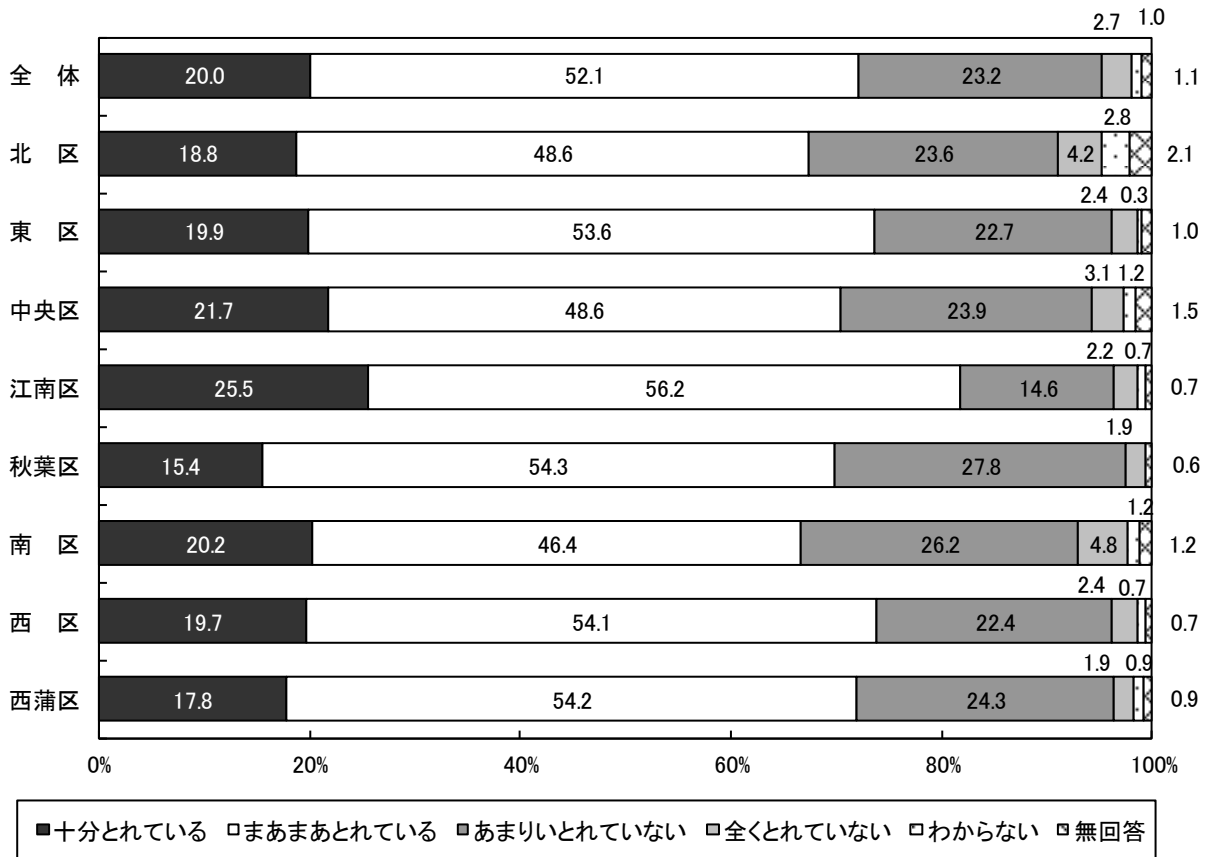
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、江南区（81.8%）で最も高くなっている。

図 5.2-4 睡眠による休養（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

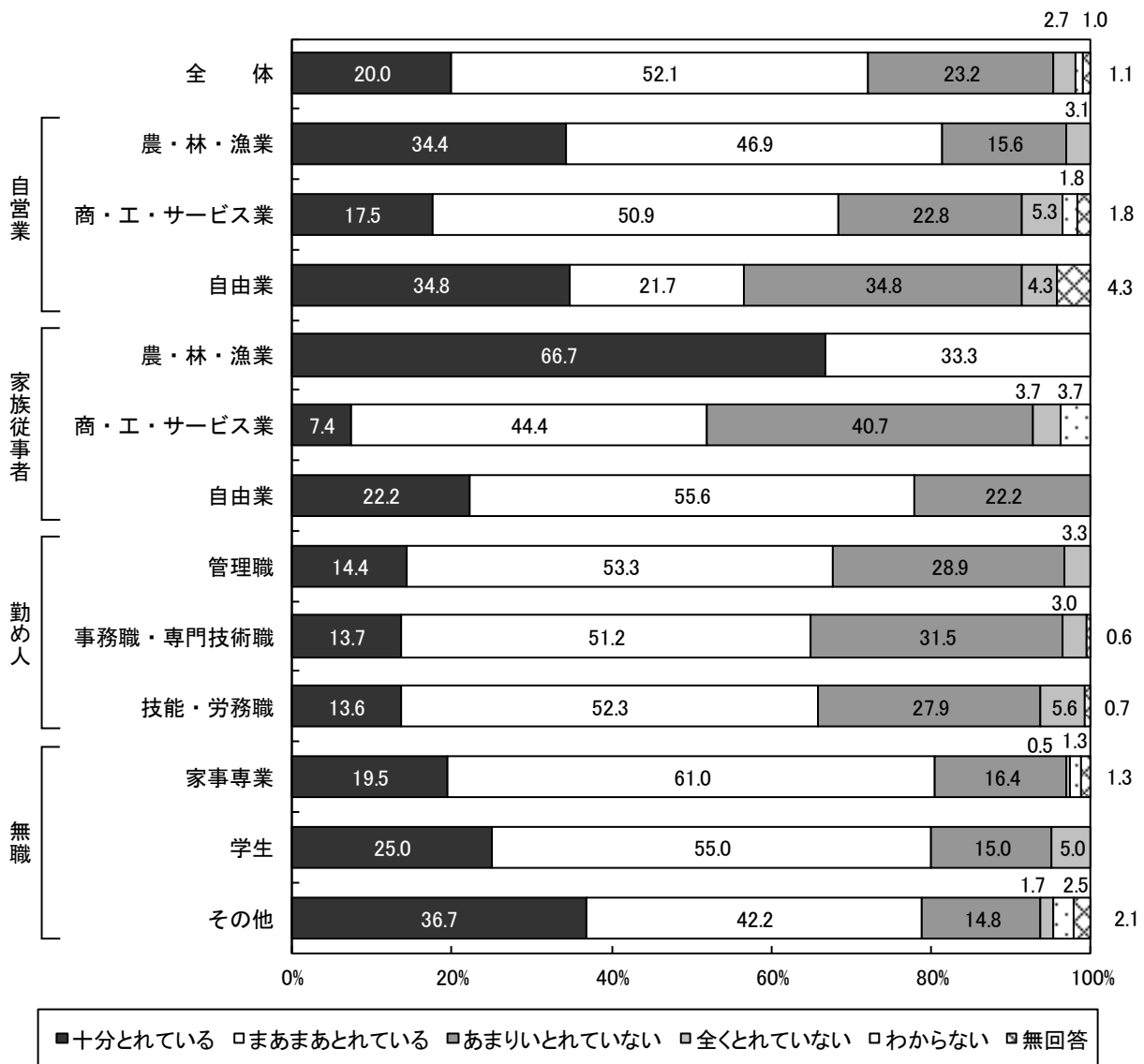
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.2-5 睡眠による休養（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

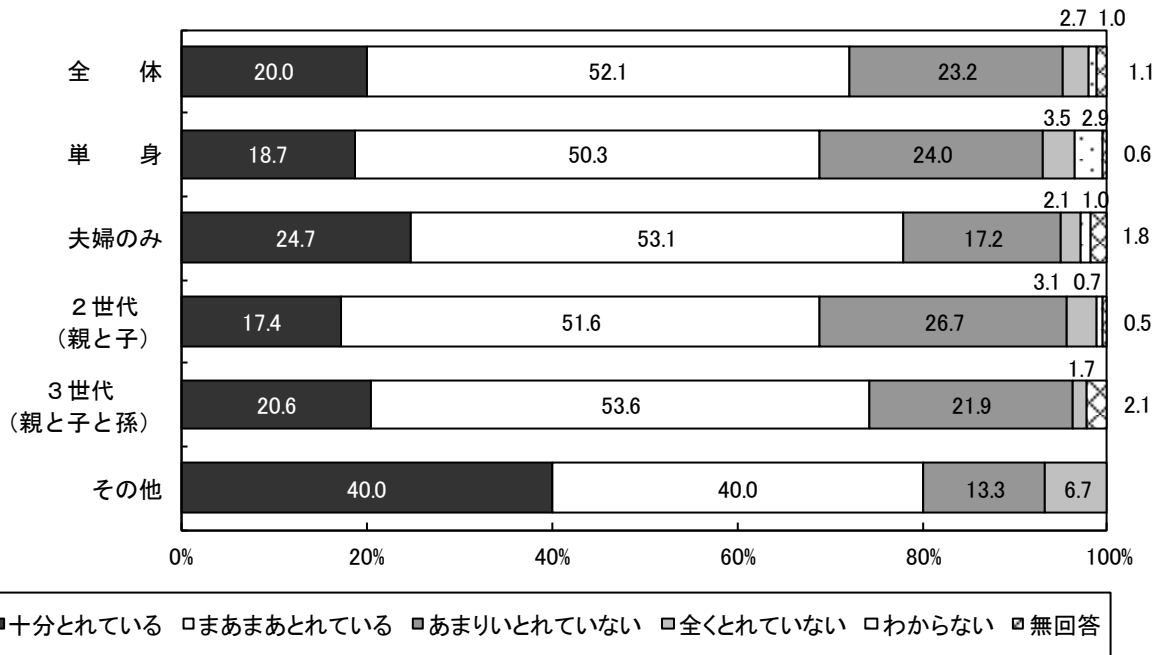
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、その他（80.0%）で最も高くなっている。

図 5.2-6 睡眠による休養（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(3) ストレスがある時の対処法

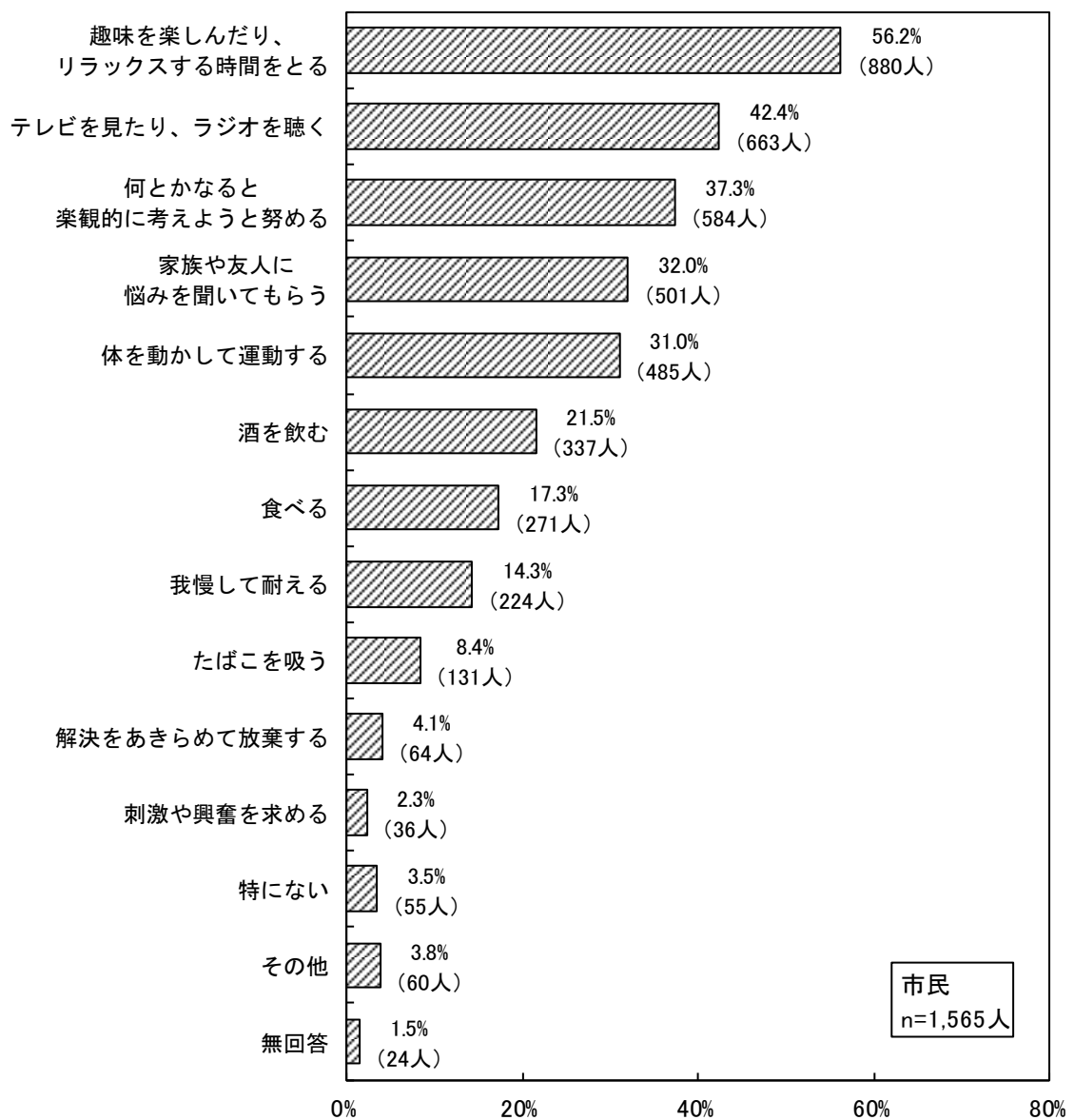
問29 ストレスがある時の対処法は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

6割弱が「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答

【全体結果】

ストレスがある時の対処法については、「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答した人が6割弱(56.2%)と最も多く、以下「テレビを見たり、ラジオを聴く」(42.4%)、「何とかすると楽観的に考えようと努める」(37.3%)、「家族や友人に悩みを聞いてもらう」(32.0%)、「体を動かして運動する」(31.0%)と続いている。

図5.3 ストレスがある時の対処法



【性別・年齢別】

70歳以上では「テレビを見たり、ラジオを聴く」と回答した人の割合が最も高く、60歳代以下では「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答した人の割合が最も高くなっている。

性別では「我慢して耐える」「たばこを吸う」の割合は、各年代とも、男性の方が高くなっている。「何とかなると楽観的に考えようとする」「家族や友人に悩みを聞いてもらう」「食べる」の割合は、各年代とも、女性の方が高くなっている。

表 7.1 ストレスがある時の対処法（年齢別・全体）

	対象者	趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかなると楽観的に考えようとする	家族や友人に悩みを聞いてもらう	体を動かして運動する	酒を飲む	食べる	我慢して耐える	たばこを吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	特にない	その他	無回答
計	1565	56.2	42.4	37.3	32.0	31.0	21.5	17.3	14.3	8.4	4.1	2.3	3.5	3.8	1.5
20～29歳	119	79.8	33.6	31.9	46.2	28.6	16.8	30.3	16.0	7.6	7.6	11.8	0.8	10.1	0.8
30～39歳	195	64.6	33.3	29.2	43.6	25.6	28.7	32.3	20.5	12.8	6.2	4.1	1.5	5.6	2.1
40～49歳	222	62.6	38.3	31.1	35.6	25.7	34.7	25.7	14.9	12.2	4.5	3.6	3.2	5.4	0.0
50～59歳	226	58.8	45.1	42.0	39.4	30.1	31.4	24.3	17.3	10.6	4.0	0.9	1.8	1.8	0.0
60～69歳	364	53.8	44.8	43.4	28.8	32.1	19.2	9.9	11.8	8.8	3.0	0.5	3.3	3.3	1.4
70歳以上	420	42.6	48.1	37.9	19.8	37.1	9.3	5.2	11.2	3.1	3.1	0.5	6.4	2.1	3.1
年齢不明	19	63.2	31.6	42.1	26.3	15.8	21.1	10.5	15.8	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3

対象者：人/回答：%

表 7.2 ストレスがある時の対処法（年齢別・男性）

	対象者	趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかなると楽観的に考えようとする	家族や友人に悩みを聞いてもらう	体を動かして運動する	酒を飲む	食べる	我慢して耐える	たばこを吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	特にない	その他	無回答
計	707	55.2	38.9	32.8	12.7	33.8	32.0	11.2	17.0	13.6	4.0	3.4	4.7	3.5	2.1
20～29歳	54	74.1	31.5	27.8	20.4	35.2	16.7	16.7	22.2	11.1	5.6	11.1	1.9	9.3	1.9
30～39歳	87	69.0	31.0	25.3	29.9	40.2	40.2	28.7	23.0	20.7	10.3	8.0	1.1	3.4	1.1
40～49歳	107	64.5	40.2	29.9	12.1	24.3	47.7	17.8	16.8	18.7	1.9	5.6	2.8	5.6	0.0
50～59歳	103	59.2	46.6	34.0	11.7	35.0	40.8	15.5	20.4	13.6	1.9	1.0	3.9	1.0	0.0
60～69歳	172	50.0	34.9	37.8	9.9	31.4	33.7	3.5	14.0	15.1	3.5	1.2	5.8	3.5	2.3
70歳以上	184	40.2	43.5	34.2	6.0	37.5	16.8	2.2	13.6	6.5	3.3	1.1	7.6	2.2	4.9
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 7.3 ストレスがある時の対処法（年齢別・女性）

	対象者	趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかなると楽観的に考えようとする	家族や友人に悩みを聞いてもらう	体を動かして運動する	酒を飲む	食べる	我慢して耐える	たばこを吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	特にない	その他	無回答
計	817	57.3	44.8	41.2	49.3	28.9	12.7	23.3	12.1	4.0	4.4	1.5	2.1	4.3	1.1
20～29歳	65	84.6	35.4	35.4	67.7	23.1	16.9	41.5	10.8	4.6	9.2	12.3	0.0	10.8	0.0
30～39歳	108	61.1	35.2	32.4	54.6	13.9	19.4	35.2	18.5	6.5	2.8	0.9	1.9	7.4	2.8
40～49歳	115	60.9	36.5	32.2	57.4	27.0	22.6	33.0	13.0	6.1	7.0	1.7	3.5	5.2	0.0
50～59歳	122	59.0	43.4	48.4	63.1	25.4	23.8	32.0	14.8	7.4	5.7	0.8	0.0	2.5	0.0
60～69歳	190	56.8	53.2	47.9	46.3	32.6	6.3	15.8	10.0	3.2	2.6	0.0	1.1	3.2	0.5
70歳以上	215	44.7	50.7	42.8	32.1	38.1	2.3	8.4	9.3	0.5	3.3	0.0	4.2	2.3	1.9
年齢不明	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

対象者：人/回答：%

(4) 1週間に10分以上続けて歩くことの有無

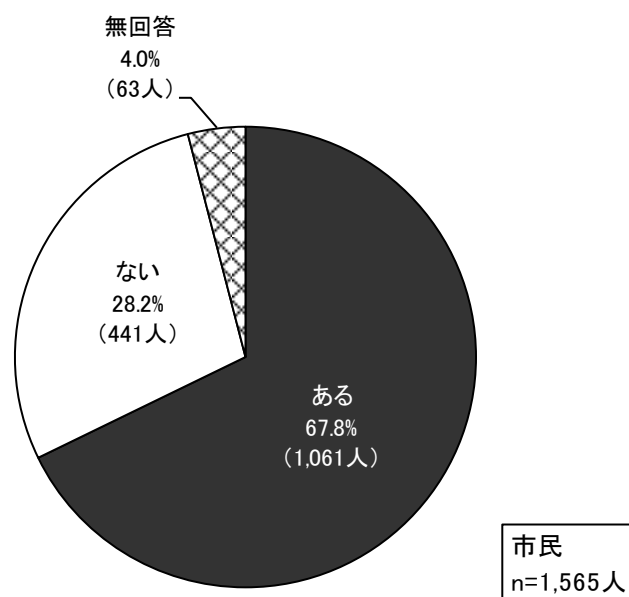
問30 あなたは、平均的な1週間で、10分以上続けて歩くことはありますか。
※ここで歩くとは、仕事や日常生活で歩くこと、ある場所からある場所へ移動すること、あるいは趣味や運動としてのウォーキング、散歩など全てを含みます。(〇は1つだけ)

7割弱が1週間に10分以上続けて歩くことが「ある」と回答

【全体結果】

1週間に10分以上続けて歩くことが「ある」と回答した人の割合は7割弱(67.8%)となっている。一方、「ない」と回答した人の割合は3割弱(28.2%)となっている。

図 5.4-1 1週間に10分以上続けて歩くことの有無



【性別・年齢別】

「ある」と回答した人の割合は、20歳代（77.3%）で最も高く、40歳代（61.3%）で最も低くなっている。

性別では、「ある」の割合は、30歳代では女性より男性の方が高くなっている。

図 5.4-2 1週間に10分以上続けて歩くことの有無（年齢別・全体）

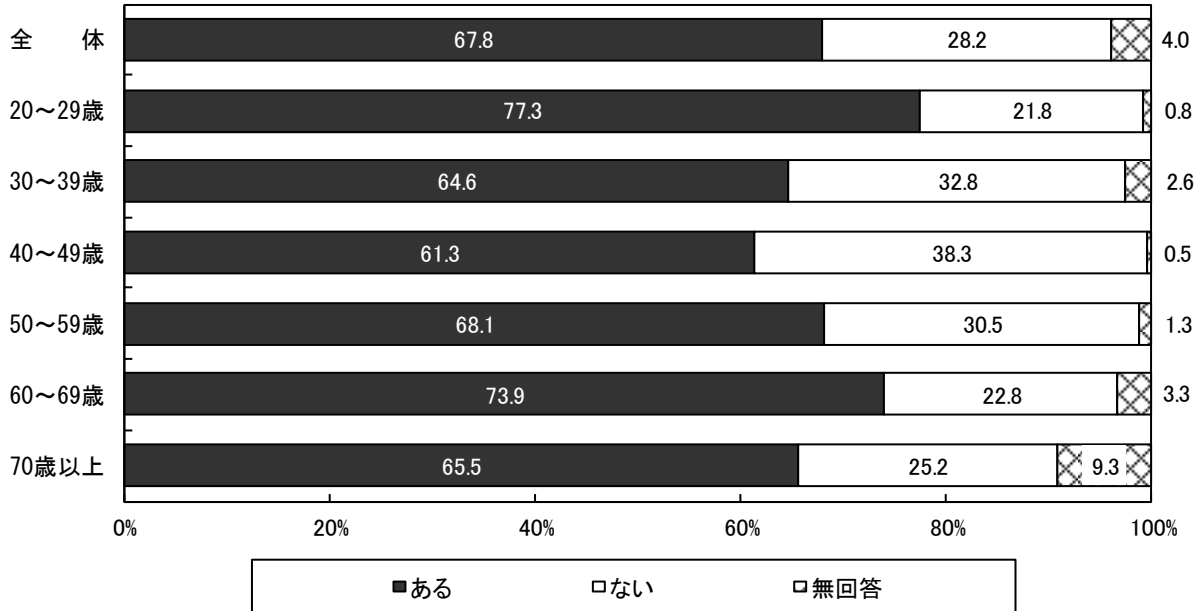
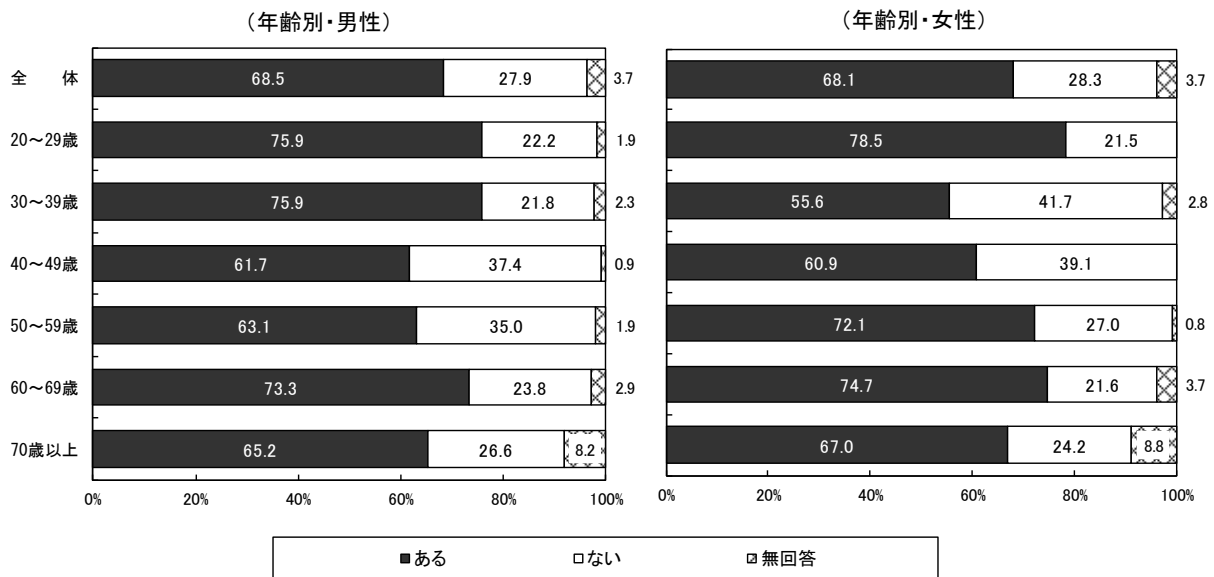


図 5.4-3 1週間に10分以上続けて歩くことの有無



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

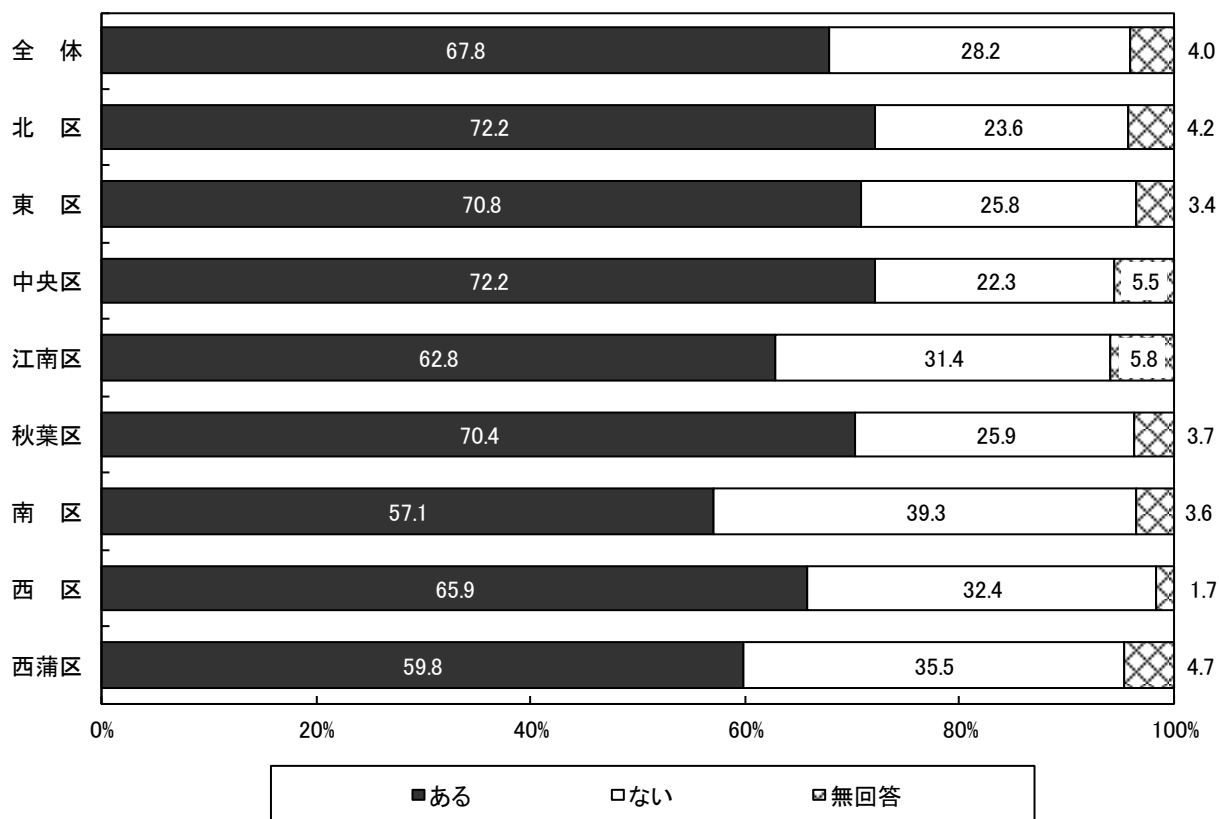
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「ある」の割合は、北区と中央区（いずれも72.2%）が高く、南区（57.1%）が最も低くなっている。

図 5.4-4 1週間に10分以上続けて歩くことの有無（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

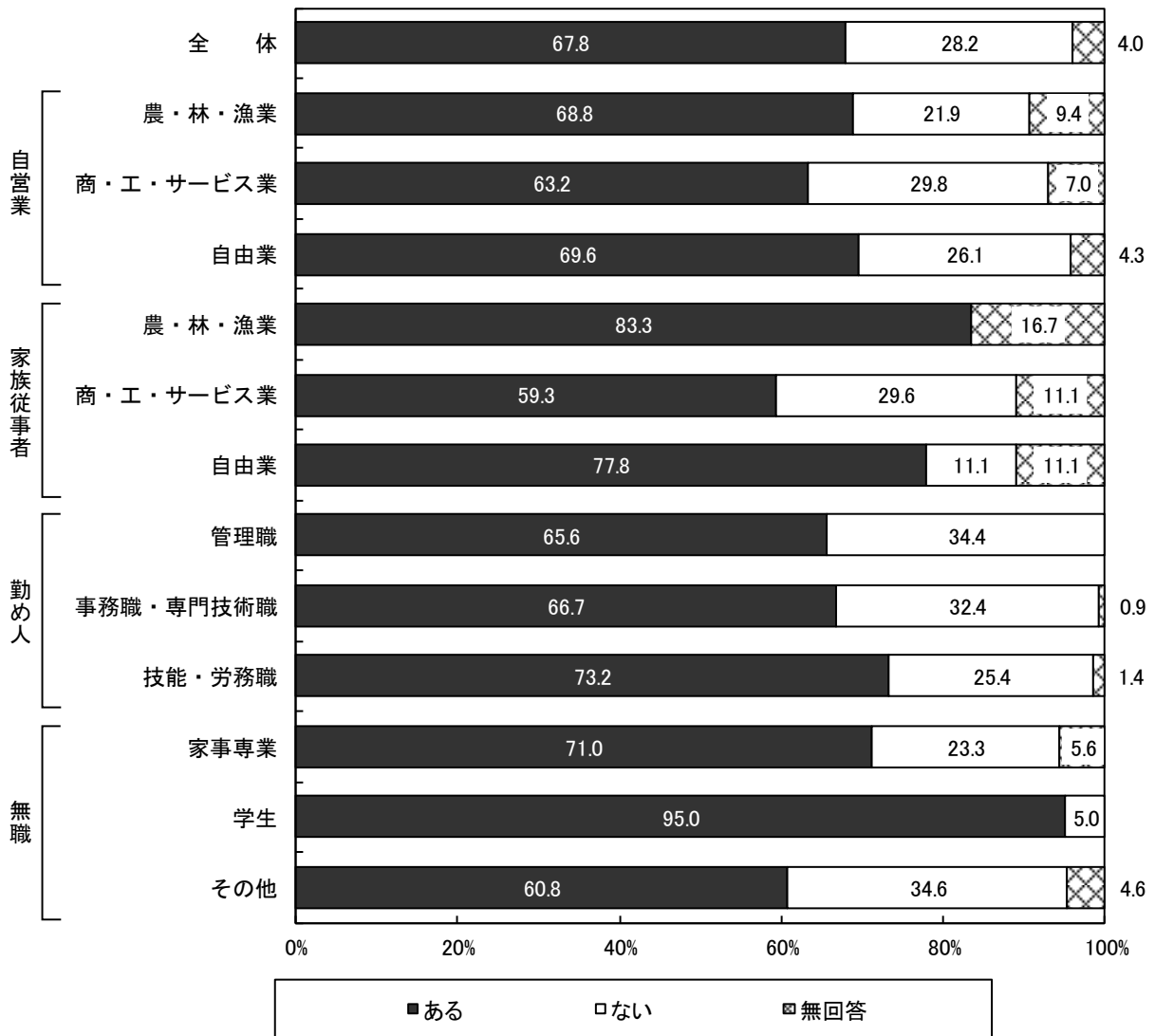
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.4-5 1週間に10分以上続けて歩くことの有無（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

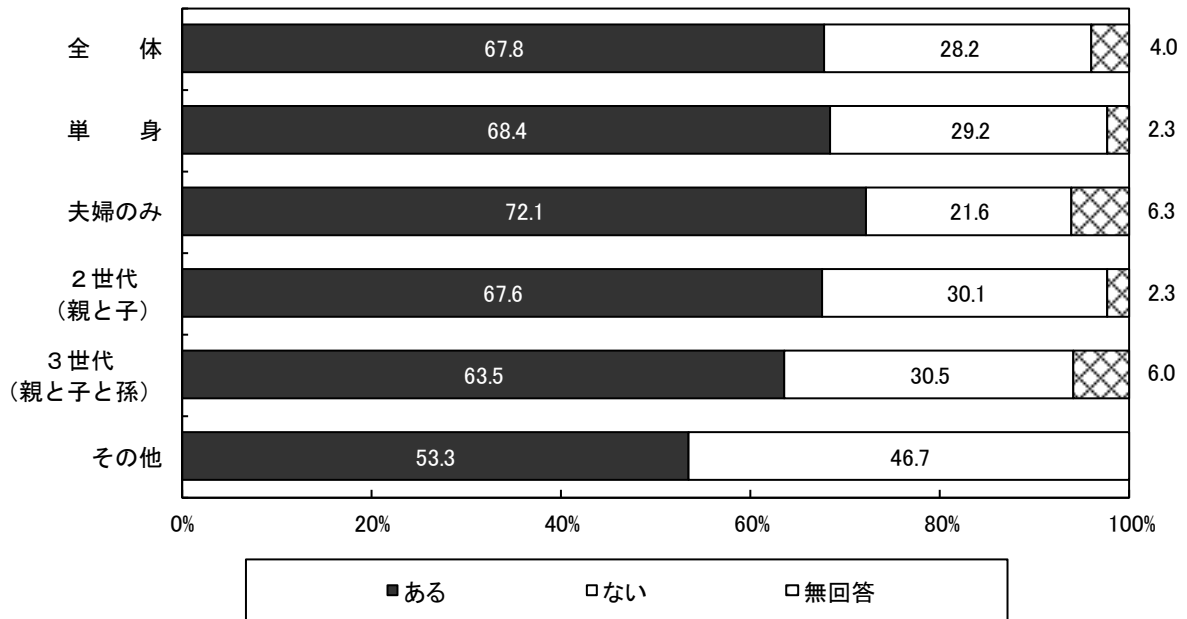
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「ある」の割合は、夫婦のみ（72.1%）で最も高くなっている。

図 5.4-6 1週間に10分以上続けて歩くことの有無（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(5) 1週間に10分以上続けて歩く日数

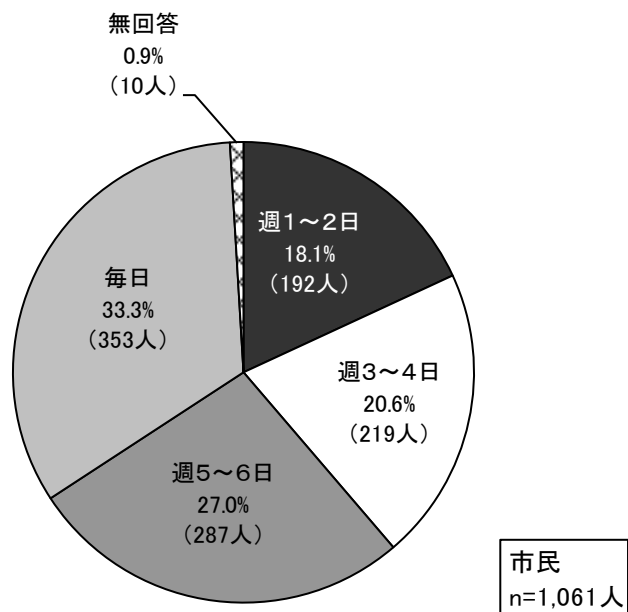
問30 あなたは、平均的な1週間で、10分以上続けて歩くことは何日ありますか。
※ここで歩くとは、仕事や日常生活で歩くこと、ある場所からある場所へ移動すること、あるいは趣味や運動としてのウォーキング、散歩など全てを含みます。(〇は1つだけ)

3割強が「毎日」1週間に10分以上続けて歩くことがあると回答

【全体結果】

1週間に10分以上続けて歩く日数は、「毎日」と回答した人の割合が3割強(33.3%)で最も多くなっている。以下、「週5～6日」が3割弱(27.0%)、「週3～4日」が2割強(20.6%)、「週1～2日」が2割弱(18.1%)となっている。

図 5.5-1 1週間に10分以上続けて歩く日数



【性別・年齢別】

「毎日」と回答した人の割合は、70歳以上（40.0%）で最も高く、40歳代（26.5%）で最も低くなっている。

性別では、「週1～2日」の割合は、60歳代を除いて、女性より男性の方が高くなっている。

図 5.5-2 1週間に10分以上続けて歩く日数（年齢別・全体）

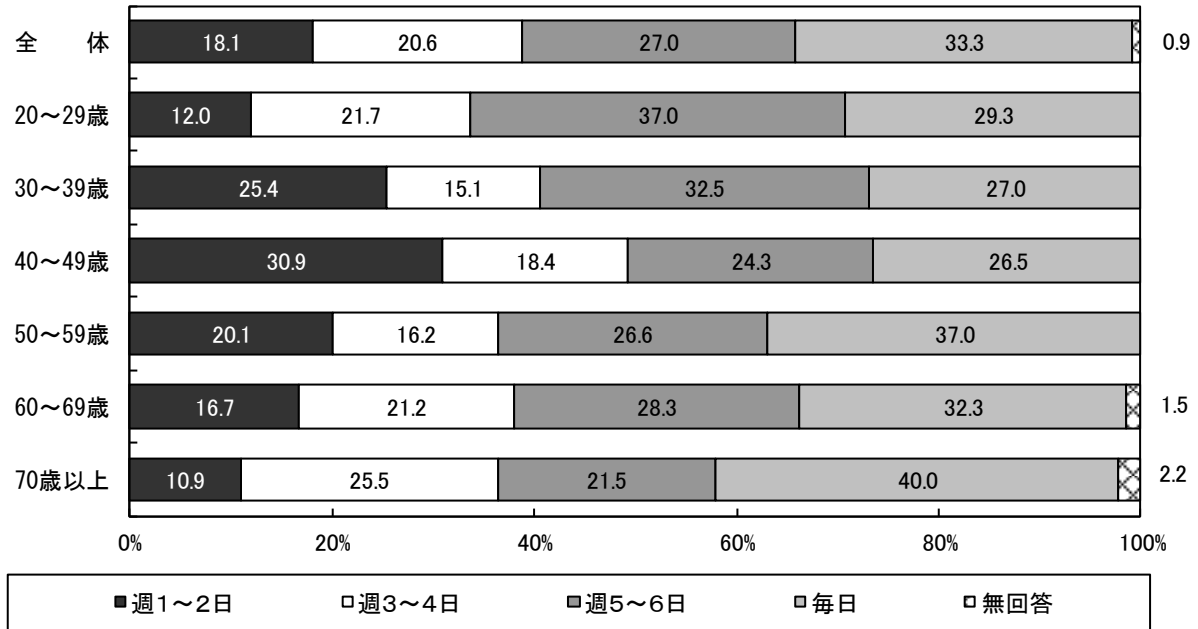
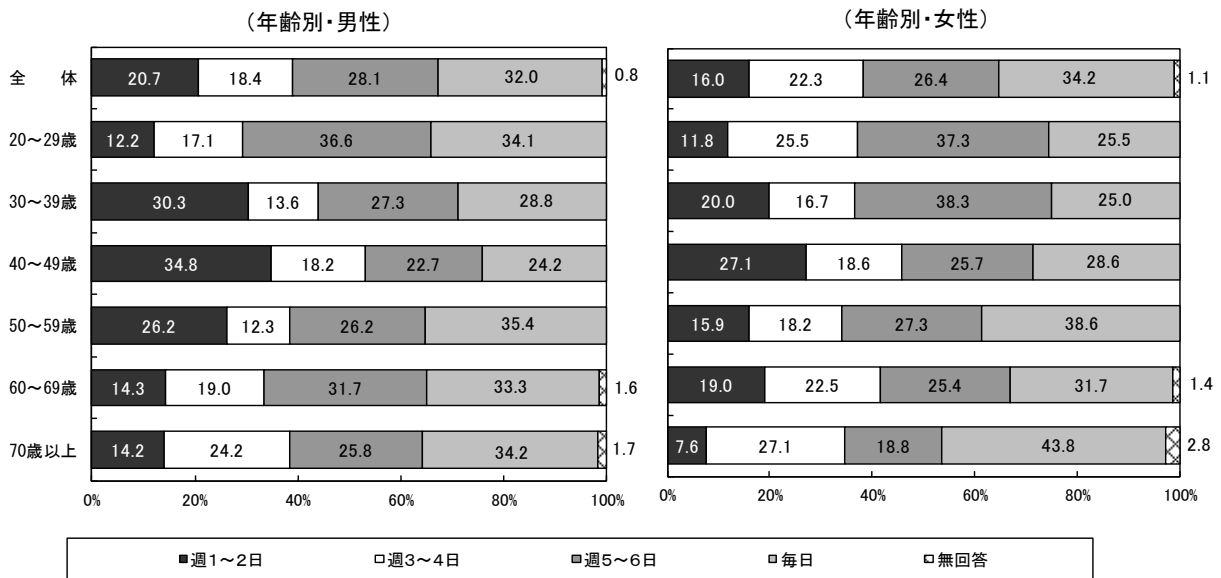


図 5.5-3 1週間に10分以上続けて歩く日数



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,061	92	126	136	154	269	275	9
男性	484	41	66	66	65	126	120	0
女性	556	51	60	70	88	142	144	1

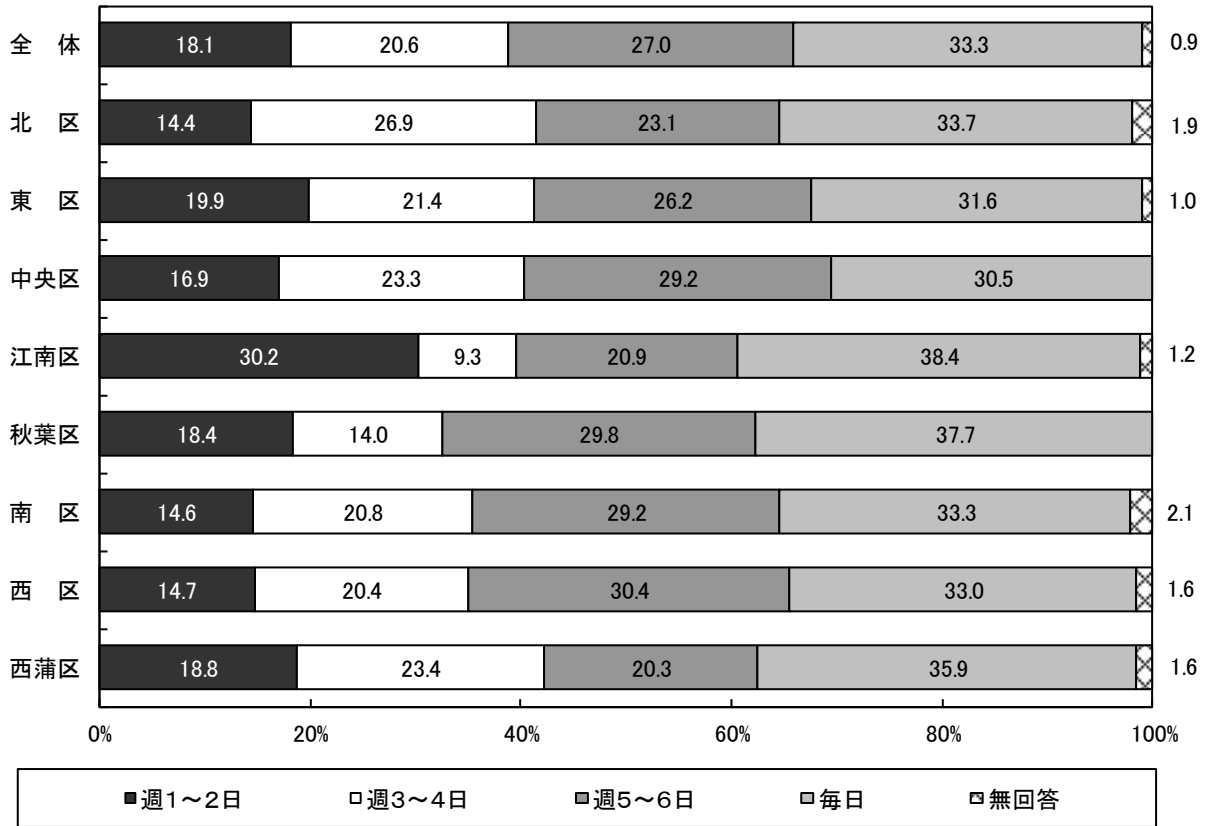
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「毎日」の割合は、江南区（38.4%）が最も高くなっている。

図 5.5-4 1週間に10分以上続けて歩く日数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,061	104	206	236	86	114	48	191	64	12

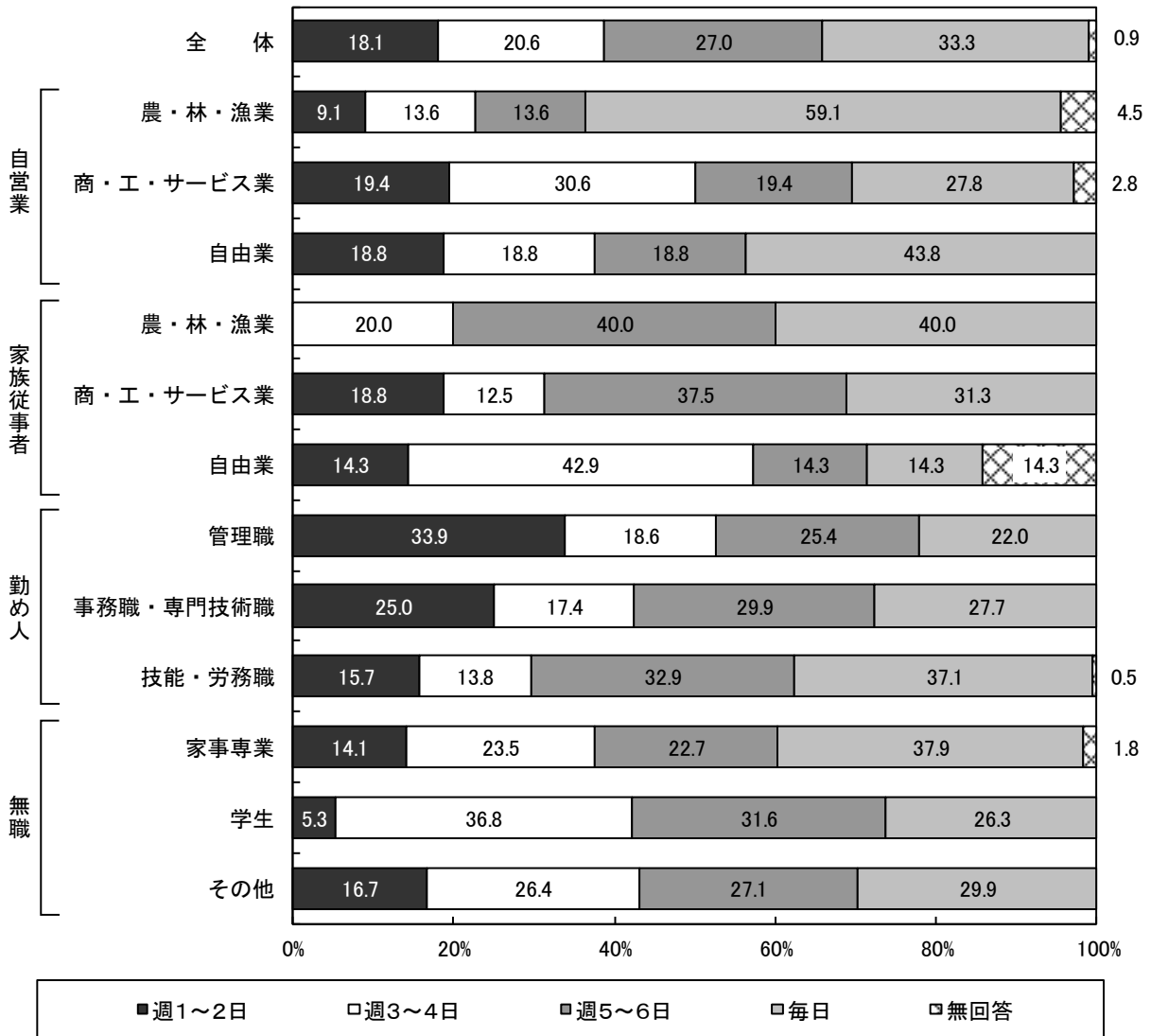
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.5-5 1週間に10分以上続けて歩く日数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,061	22	36	16	5	16	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
59	224	210	277	19	144	26

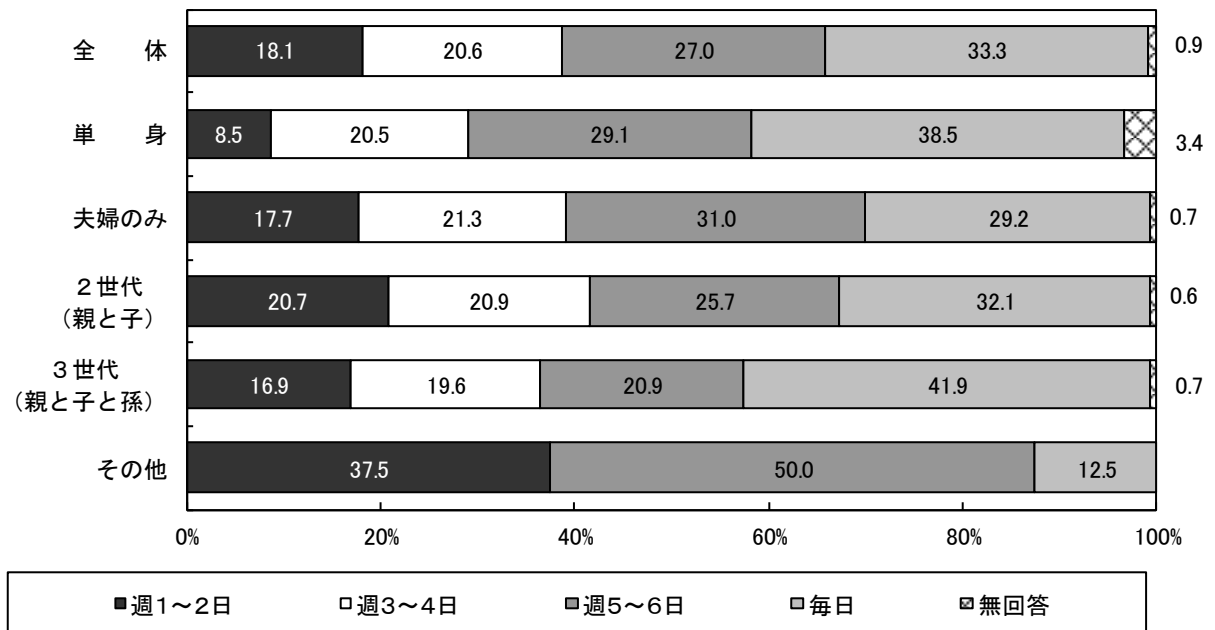
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「毎日」の割合は、3世代（41.9%）で最も高く、4割を超えている。

図 5.5-6 1週間に10分以上続けて歩く日数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,061	117	277	498	148	8	13

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(6) 1日の合計歩行時間

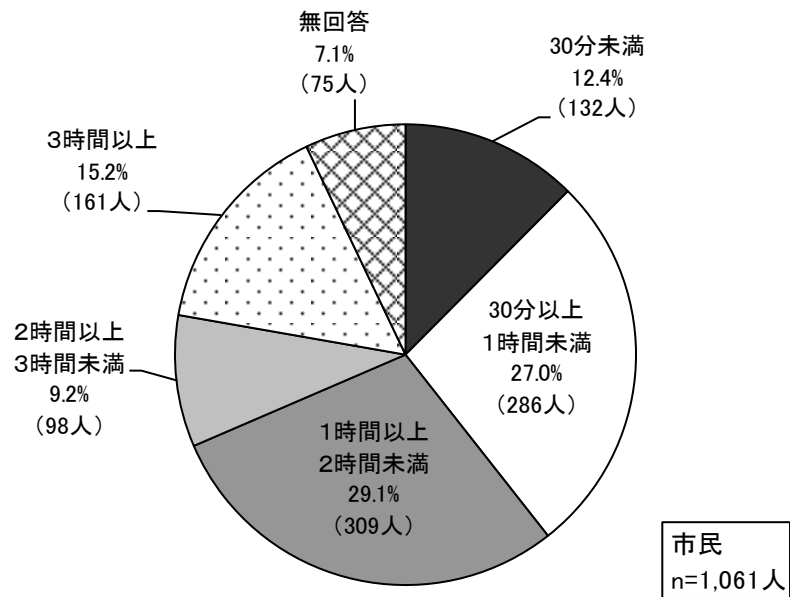
問30-1 そのような日には、通常、1日合計してどのくらいの時間歩きますか。

「1時間以上2時間未満」が3割弱で最も多い

【全体結果】

1日の合計歩行時間は、「1時間以上2時間未満」が3割弱（29.1%）で最も多く、以下「30分以上1時間未満」（27.0%）、「3時間以上」（15.2%）、「30分未満」（12.4%）となっている。

図 5.6-1 1日の合計歩行時間



【性別・年齢別】

40歳代では、「30分未満」と回答した人が2割を超えているが、「3時間以上」も2割を超え最も高くなっている。

性別では、50歳代で「30分以上1時間未満」の割合が、男性が女性を大きく上回っている。

図 5.6-2 1週間に10分以上続けて歩く日数（年齢別・全体）

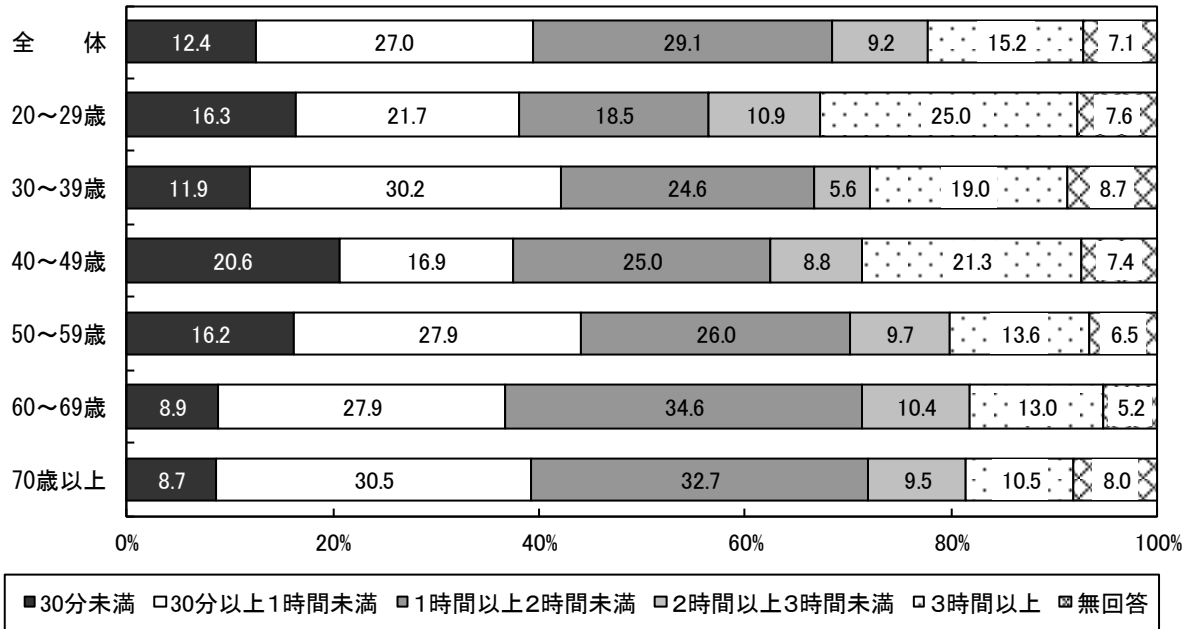
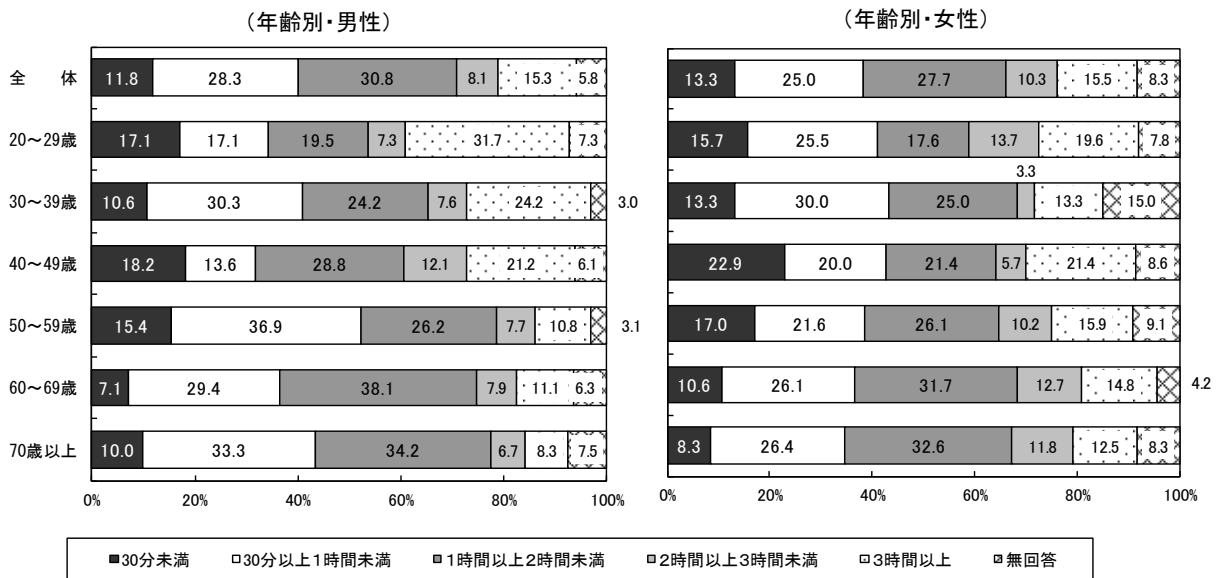


図 5.6-3 1週間に10分以上続けて歩く日数



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,061	92	126	136	154	269	275	9
男性	484	41	66	66	65	126	120	0
女性	556	51	60	70	88	142	144	1

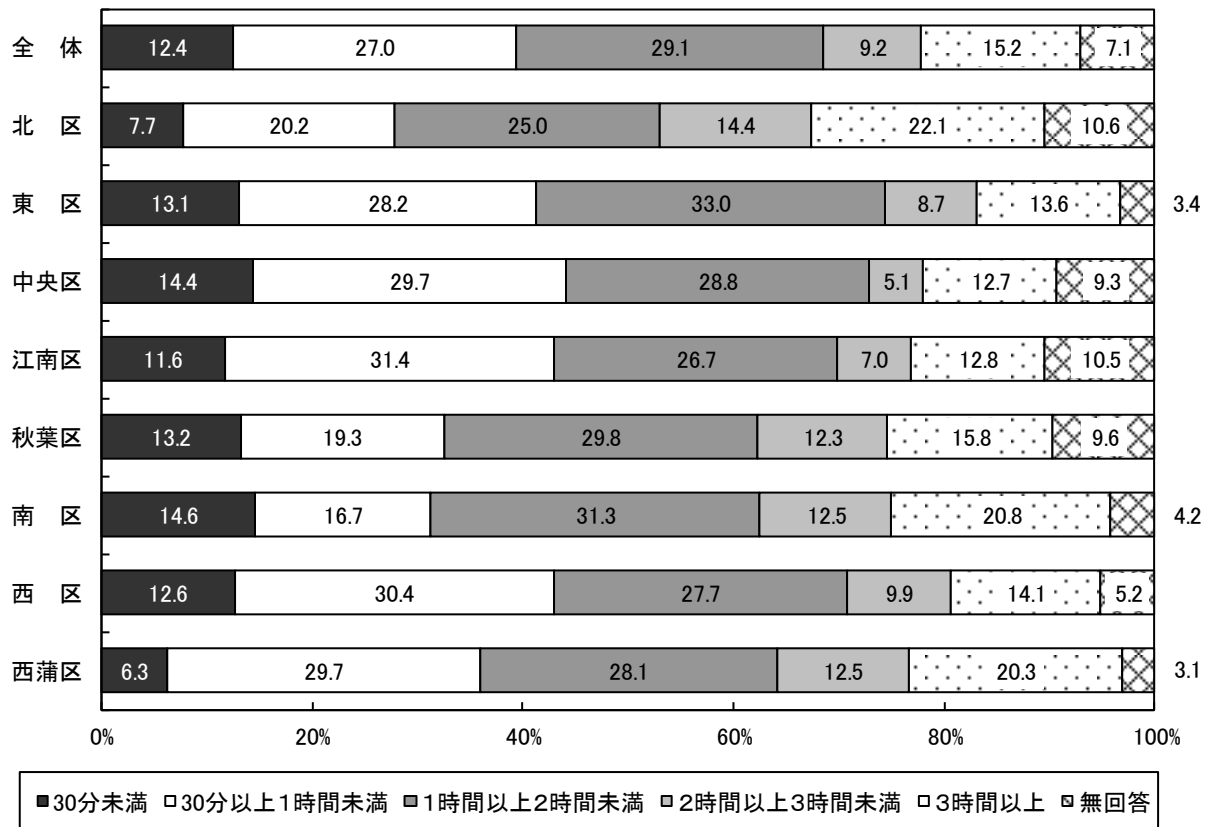
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

北区では、「2時間以上3時間未満」「3時間以上」の割合が高くなっている。

図 5.6-4 1週間に10分以上続けて歩く日数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,061	104	206	236	86	114	48	191	64	12

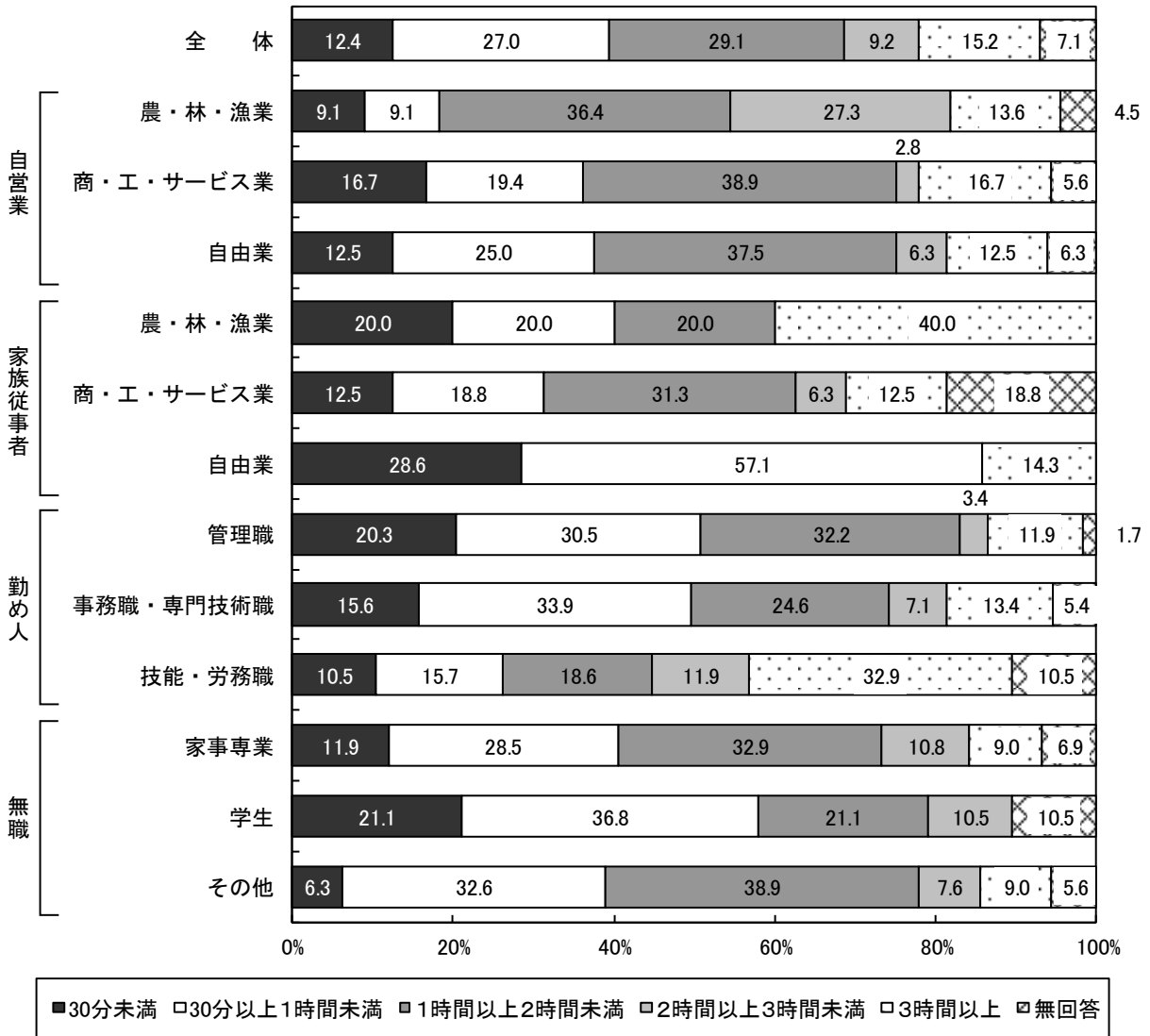
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.6-5 1週間に10分以上続けて歩く日数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,061	22	36	16	5	16	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
59	224	210	277	19	144	26

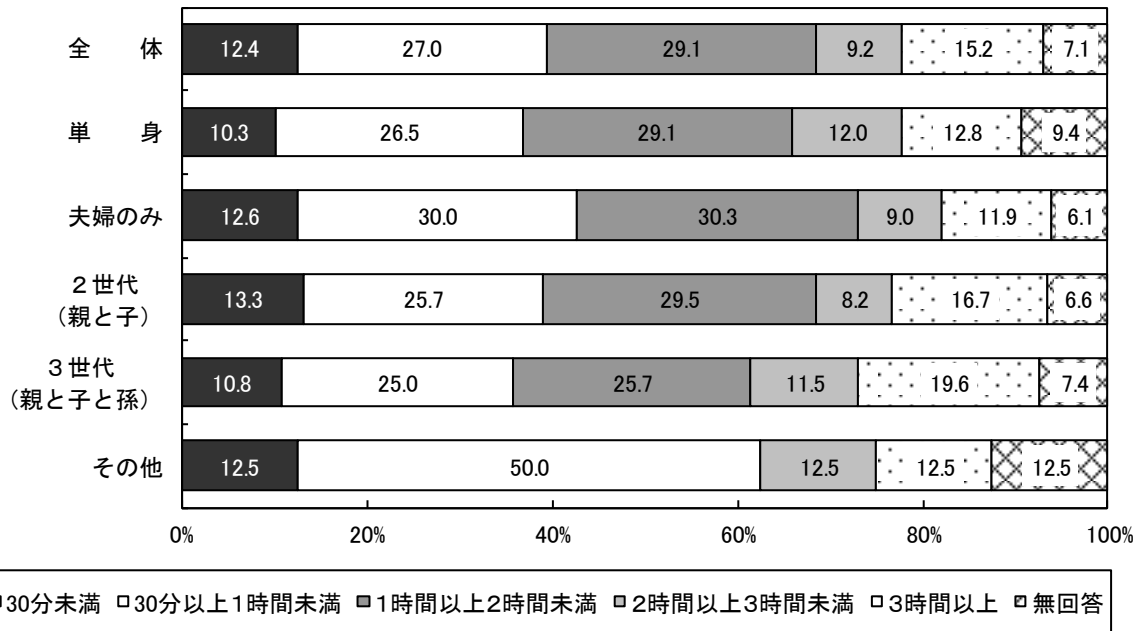
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「3時間以上」の割合は、3世代（19.6%）で最も高くなっている。

図 5.6-6 1週間に10分以上続けて歩く日数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,061	117	277	498	148	8	13

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(7) 定期的に継続している運動の実施状況

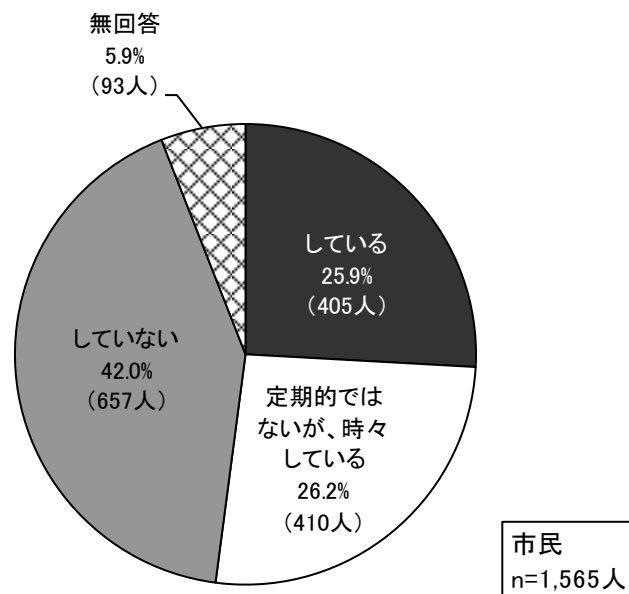
問31 あなたは、定期的に継続して運動や散歩等を行っていますか。(○は1つだけ)
※「定期的に継続して」とは、1回30分以上、かつ週2日以上、かつ1年以上続けていることをいいます。

過半数が運動を実施していると回答

【全体結果】

定期的に継続している運動の実施状況については、「している」(25.9%)、「定期的ではないが、時々している」(26.2%)と回答した人を合わせた割合は過半数(52.1%)となっている。一方、「していない」と回答した人が4割強(42.0%)となっている。

図 5.7-1 定期的に継続している運動の実施状況



【性別・年齢別】

30歳代～50歳代では、「していない」と回答した人が5割を超えている。一方、60歳以上では「している」と「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合が6割弱を占めている。

性別では、30歳代以下で「していない」の割合が、女性より男性の方が20ポイント前後高くなっている。

図 5.7-2 定期的に継続している運動の実施状況（年齢別・全体）

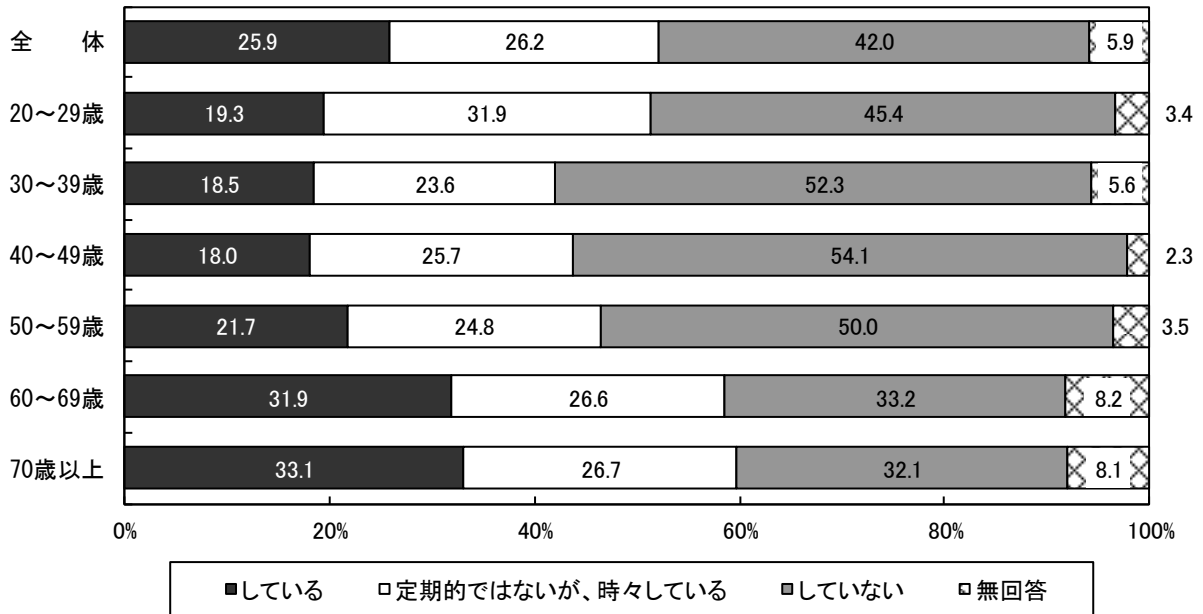
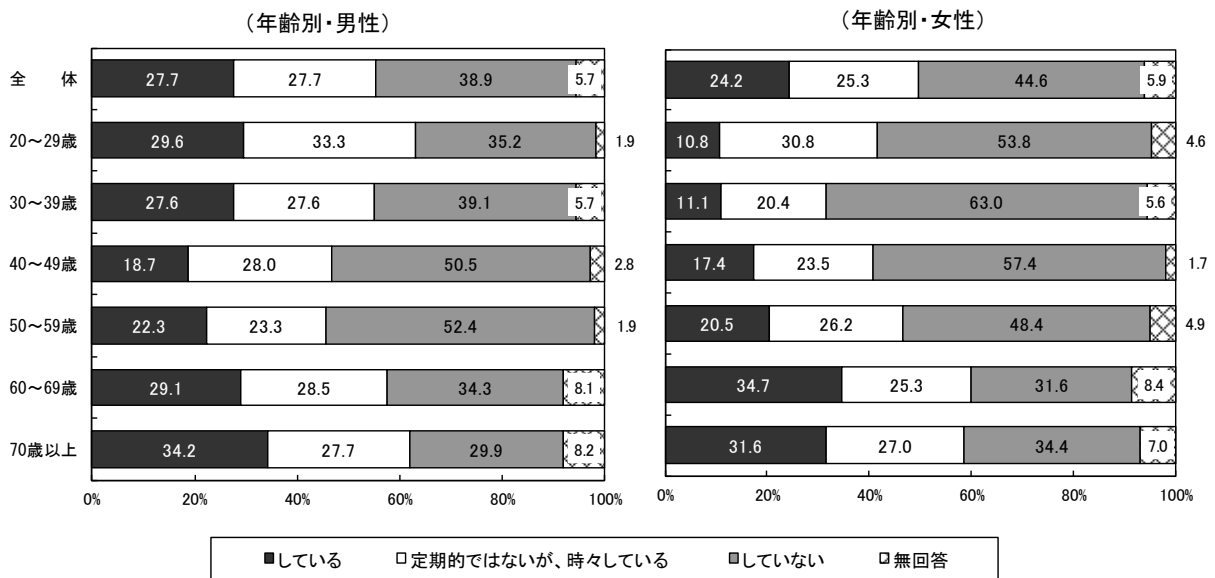


図 5.7-3 定期的に継続している運動の実施状況



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

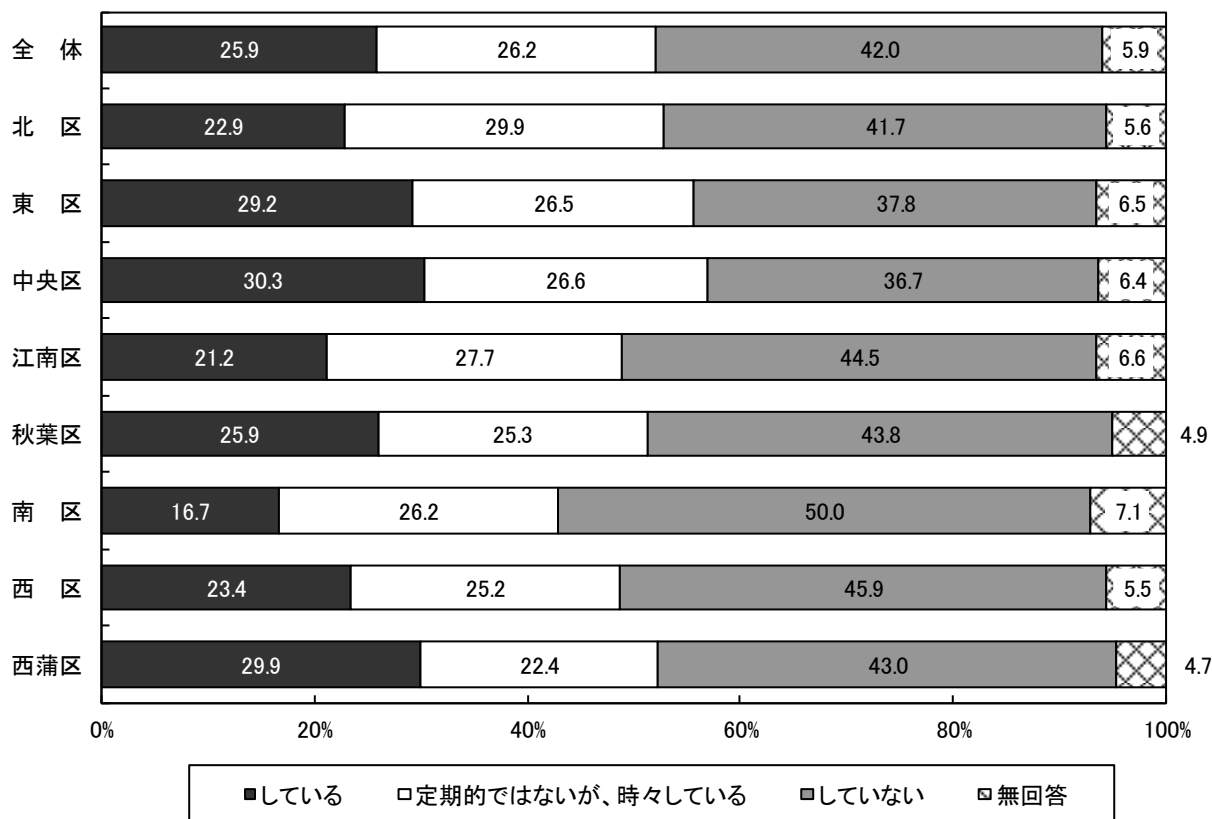
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合は、中央区（56.9%）で最も高くなっている。また、南区を除いた地区では「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合が、「していない」の割合よりも高くなっている。

図 5.7-4 定期的に継続している運動の実施状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

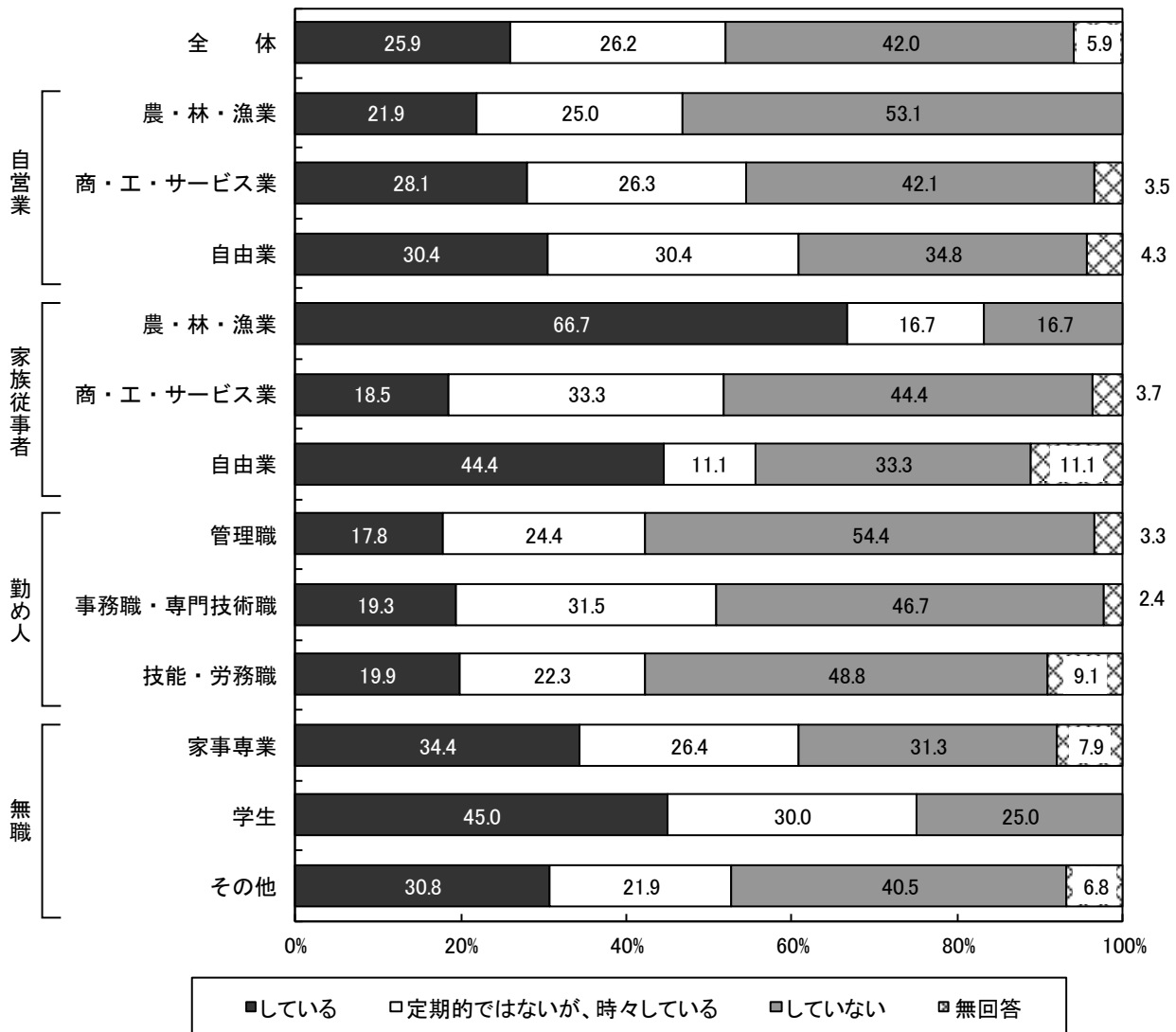
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.7-5 定期的に継続している運動の実施状況（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

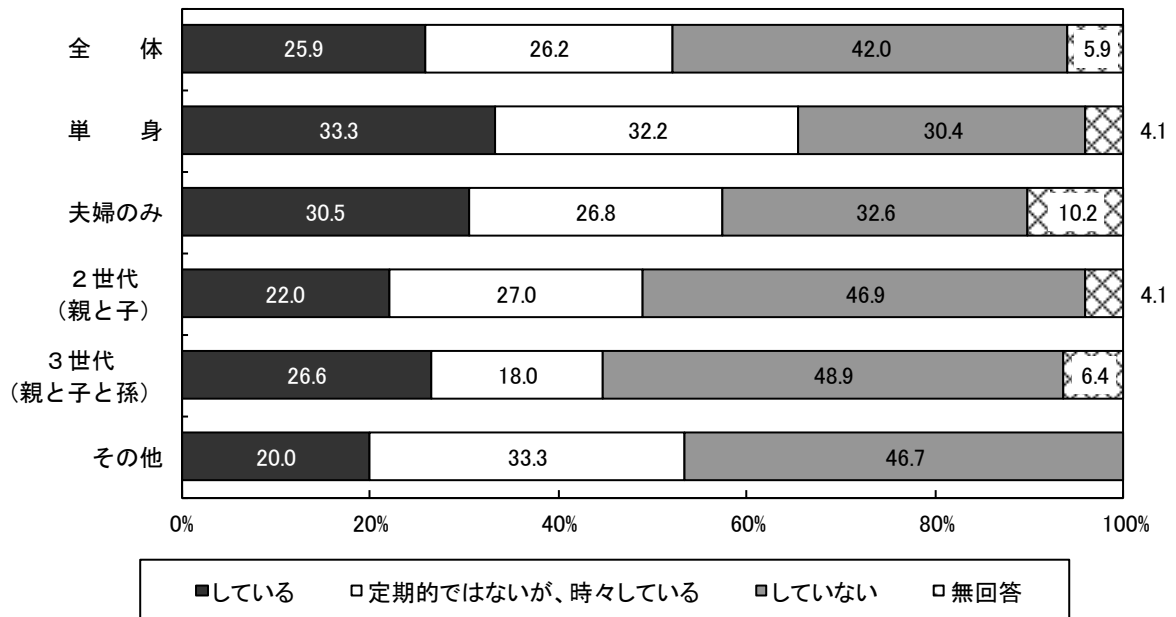
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「している」と「定期的ではないが、時々している」合わせた割合は、単身（65.5%）で最も高くなっている。

図 5.7-6 定期的に継続している運動の実施状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(8) 1日60分くらいの運動習慣

問32 「健康維持のためには1日に60分くらい体を動かすような生活をする事」が推奨されています。あなたはこれを実行していますか。(〇は1つだけ)
※「体を動かす」とは、日常生活における労働、家事、通勤・通学などを含みます。

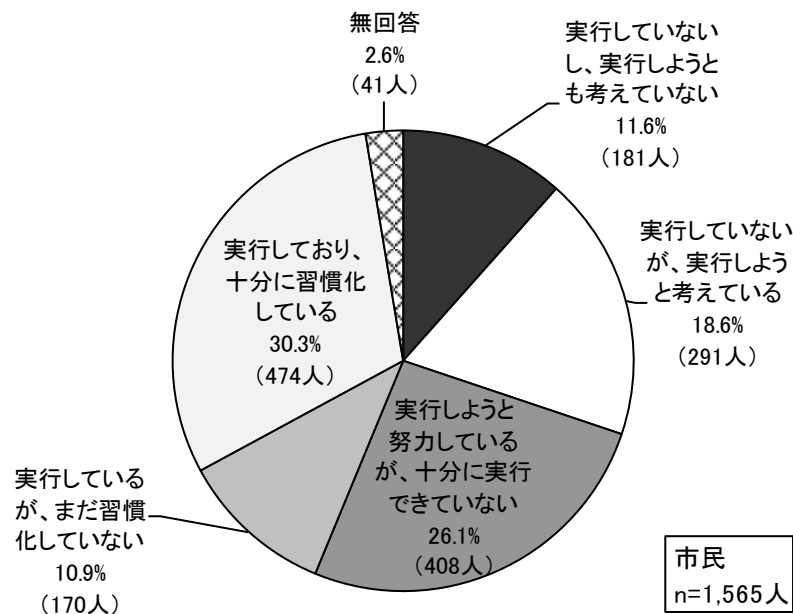
4割強が1日60分くらいの運動を実行していると回答

【全体結果】

1日60分くらいの運動習慣については、「実行しており、十分に習慣化している」(30.3%)と「実行しているが、まだ習慣化していない」(10.9%)と回答した人を合わせた実行している割合は4割強(41.2%)となっている。

一方、「実行していないし、実行しようとも考えていない」(11.6%)、「実行していないが、実行しようと考えている」(18.6%)、「実行しようとしているが、十分に実行できていない」(26.1%)を合わせた実行していない割合は6割弱(56.2%)となっている。

図 5.8-1 1日60分くらいの運動習慣



【性別・年齢別】

「実行しているが、まだ習慣化していない」と「実行しており、十分に習慣化している」を合わせた割合は60歳代で最も高くなっている。

性別では、各年代とも「実行しているが、まだ習慣化していない」と「実行しており、十分に習慣化している」を合わせた割合は、女性より男性の方が高くなっている。

図 5.8-2 1日60分くらいの運動習慣（年齢別・全体）

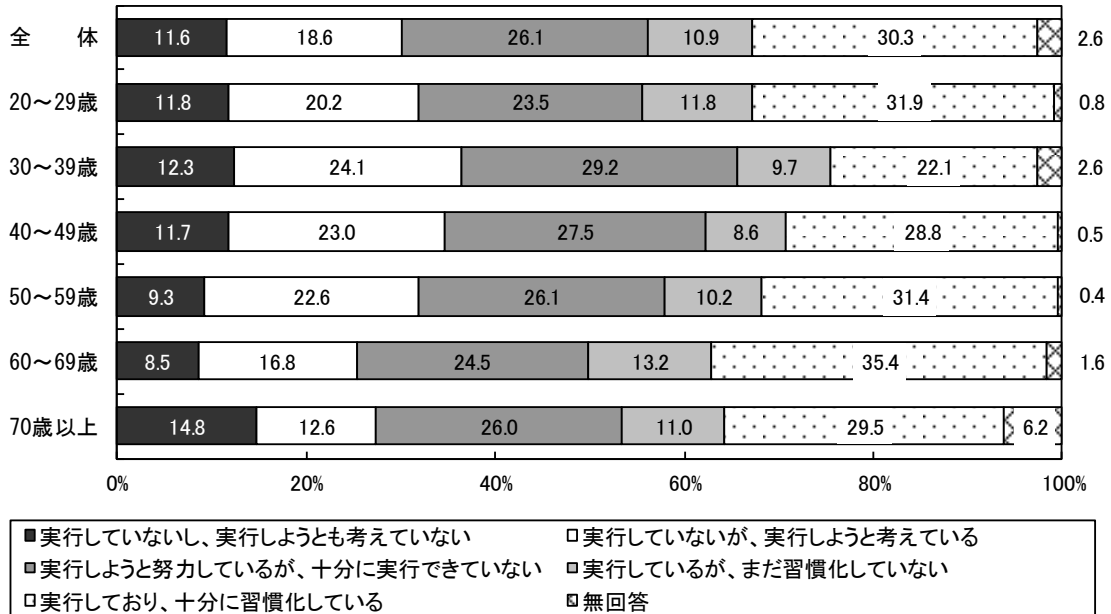
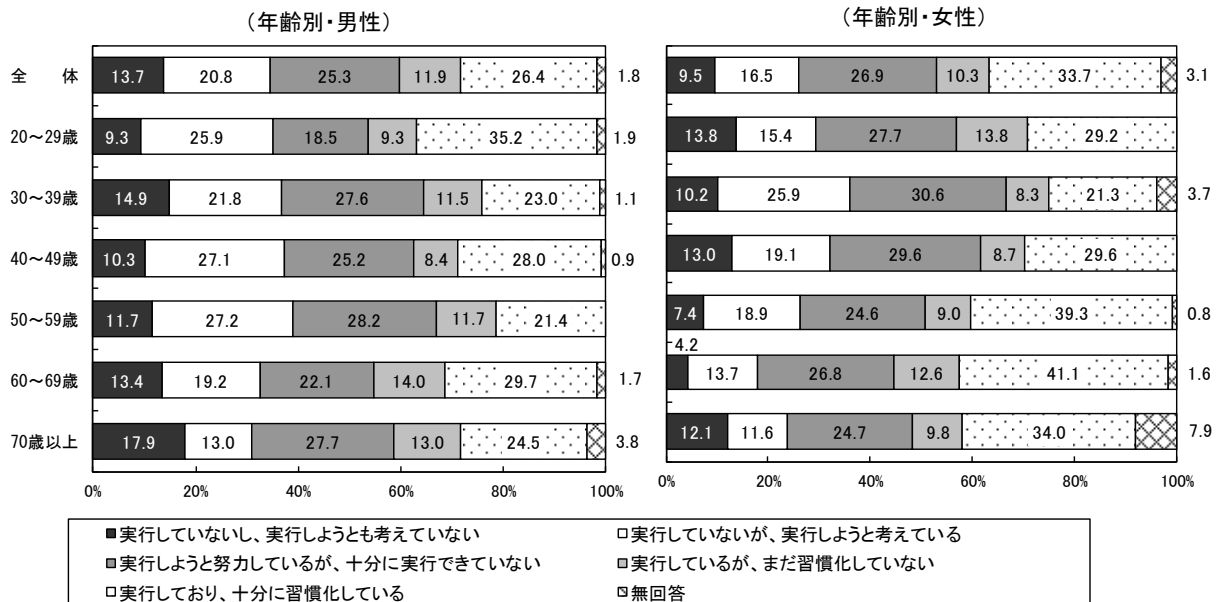


図 5.8-3 1日60分くらいの運動習慣



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

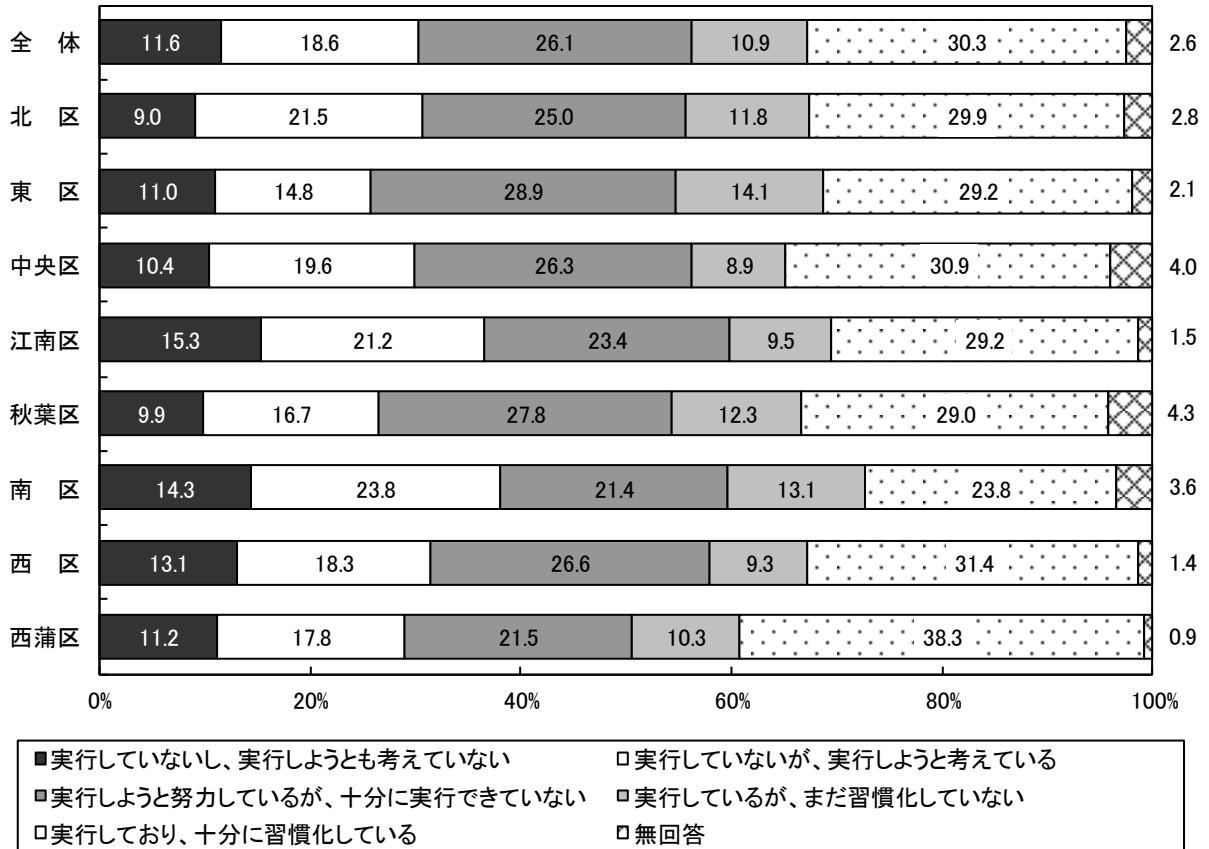
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

すべての地区で、「実行しており、十分に習慣化している」と回答した人の割合が最も高くなっている。南区では「実行していないが、実行しようと考えている」も同率で高くなっている。

図 5.8-4 1日60分くらいの運動習慣（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

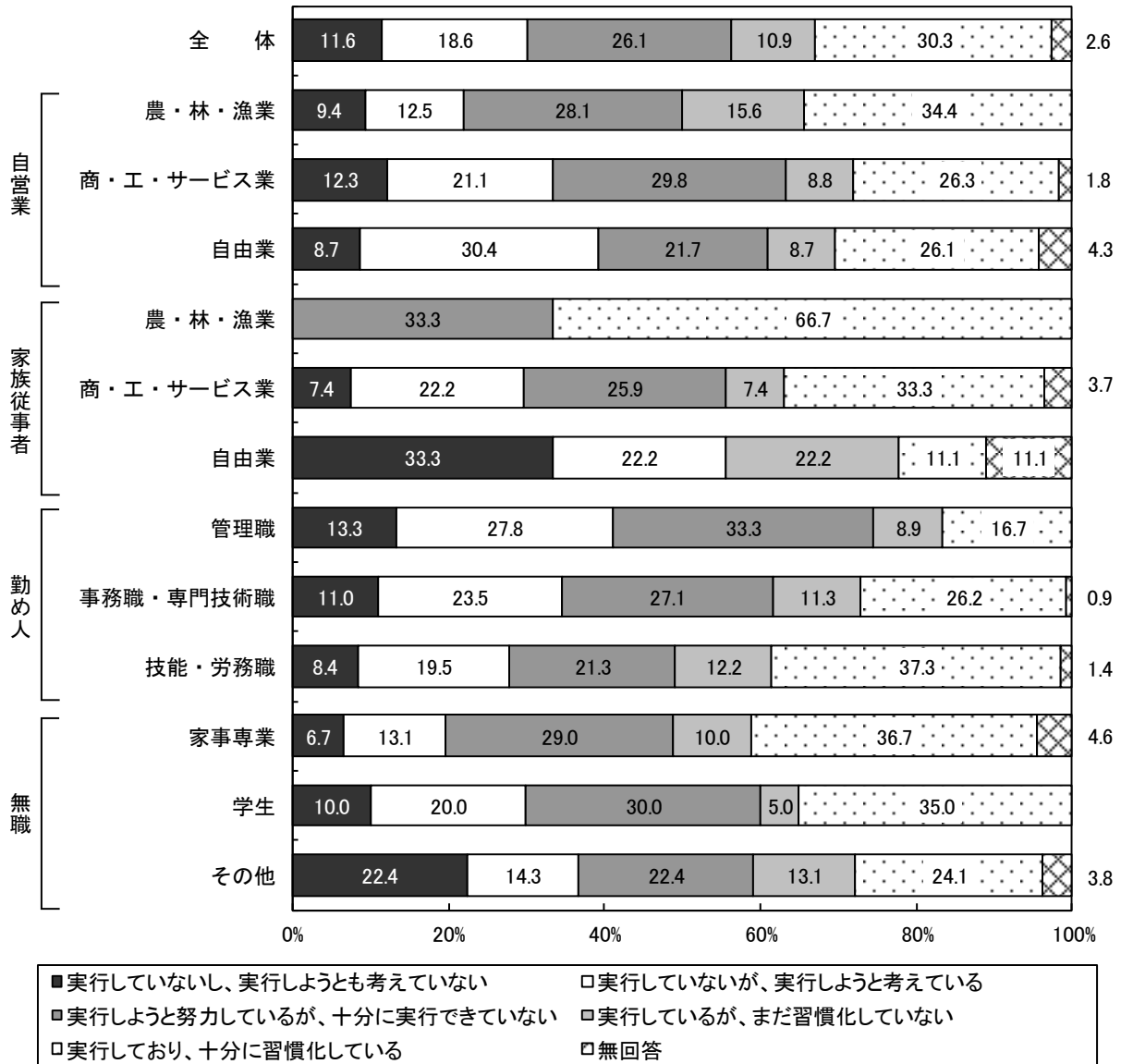
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.8-5 1日60分くらいの運動習慣（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

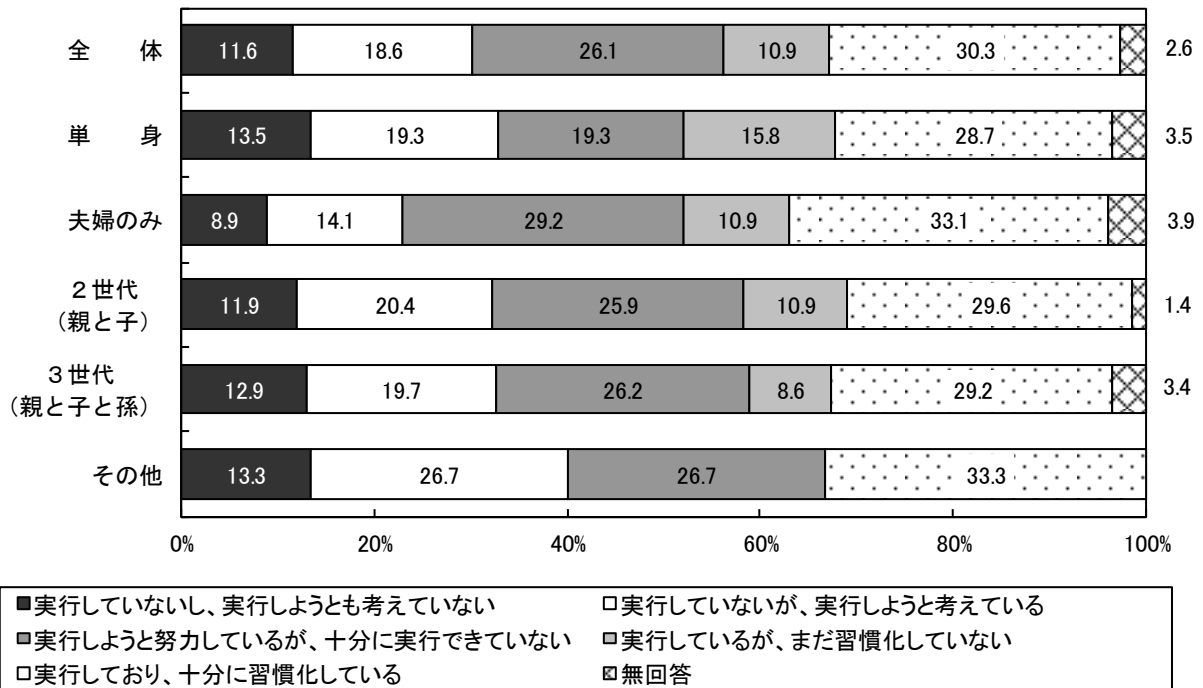
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

すべての家族構成で、「実行しており、十分に習慣化している」の割合が最も高くなっている。

図 5.8-6 1日60分くらいの運動習慣（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(9) 喫煙習慣

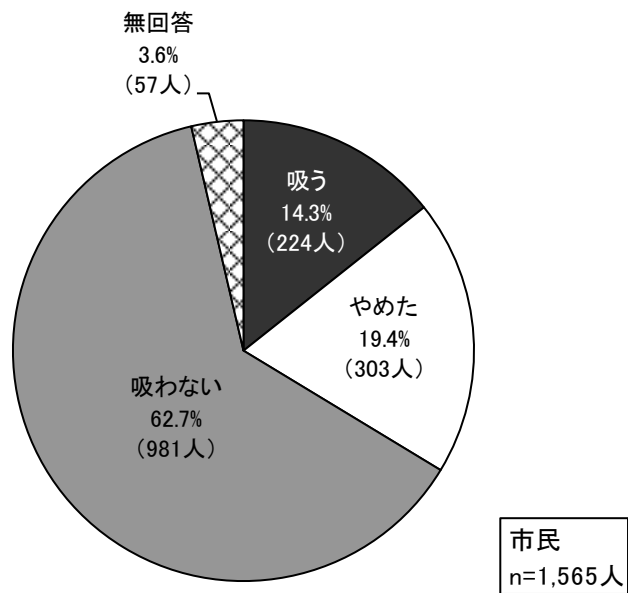
問33 あなたはタバコを吸いますか。(○は1つだけ)

8割強が喫煙をしていないと回答

【全体結果】

「やめた」(19.4%)、「吸わない」(62.7%)と回答した人を合わせた、喫煙をしていない人の割合は8割強(82.0%)となっている。

図 5.9-1 喫煙習慣



【性別・年齢別】

「やめた」「吸わない」と回答した人の割合は、各年代で7割を超えている。一方、「吸う」と回答した人の割合は40歳代と50歳代で高く、2割を超えている。

性別では、各年代とも「吸う」の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

図 5.9-2 喫煙習慣（年齢別・全体）

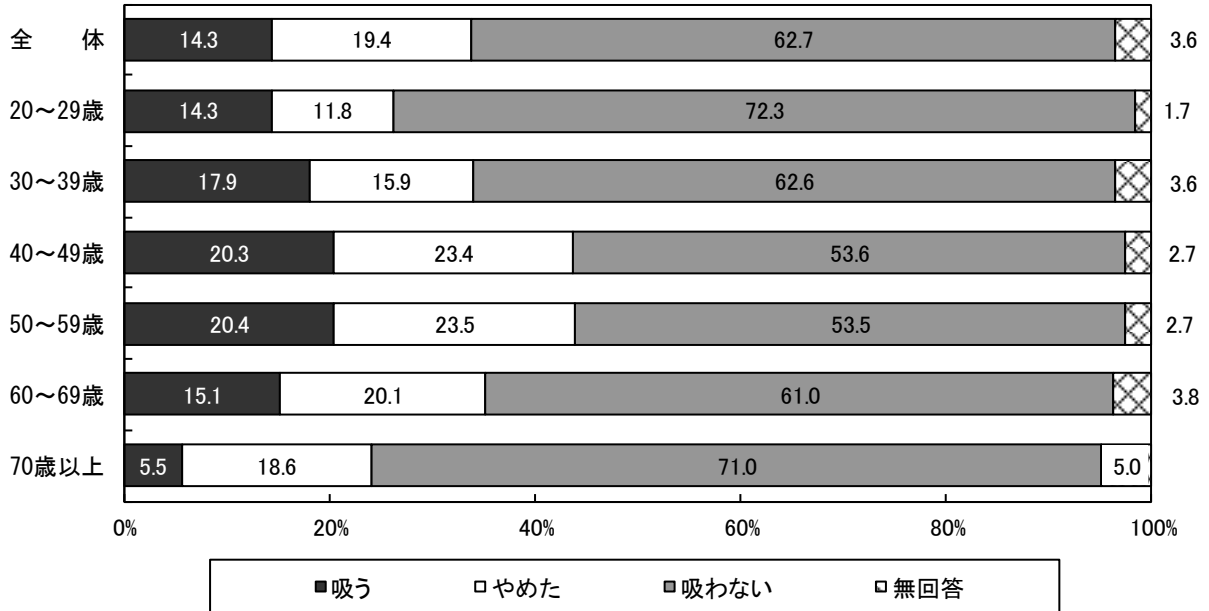
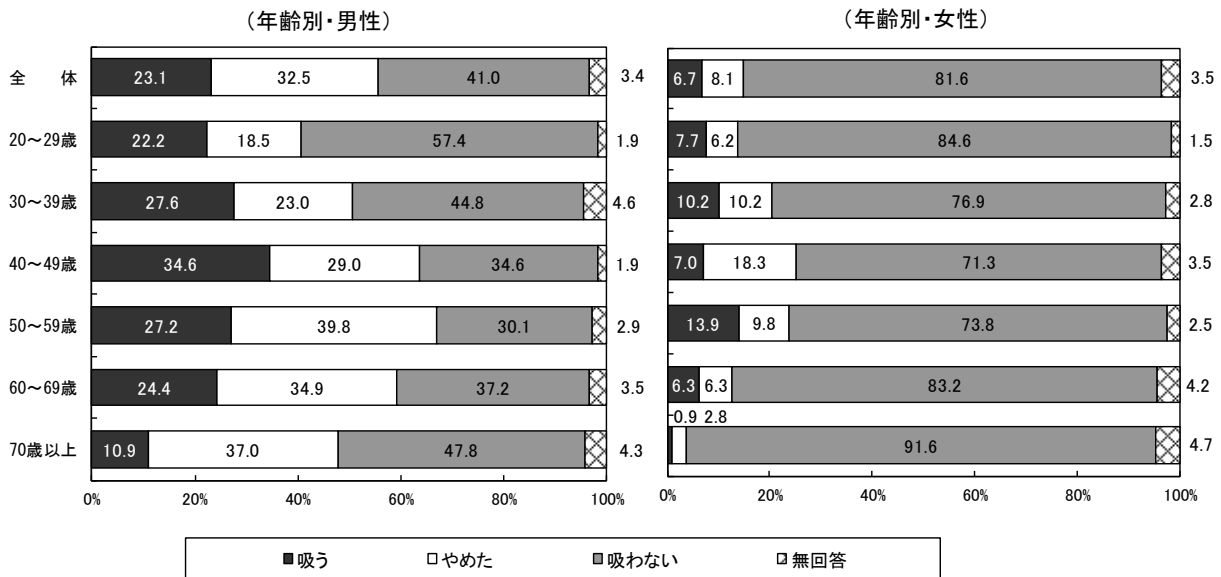


図 5.9-3 喫煙習慣



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

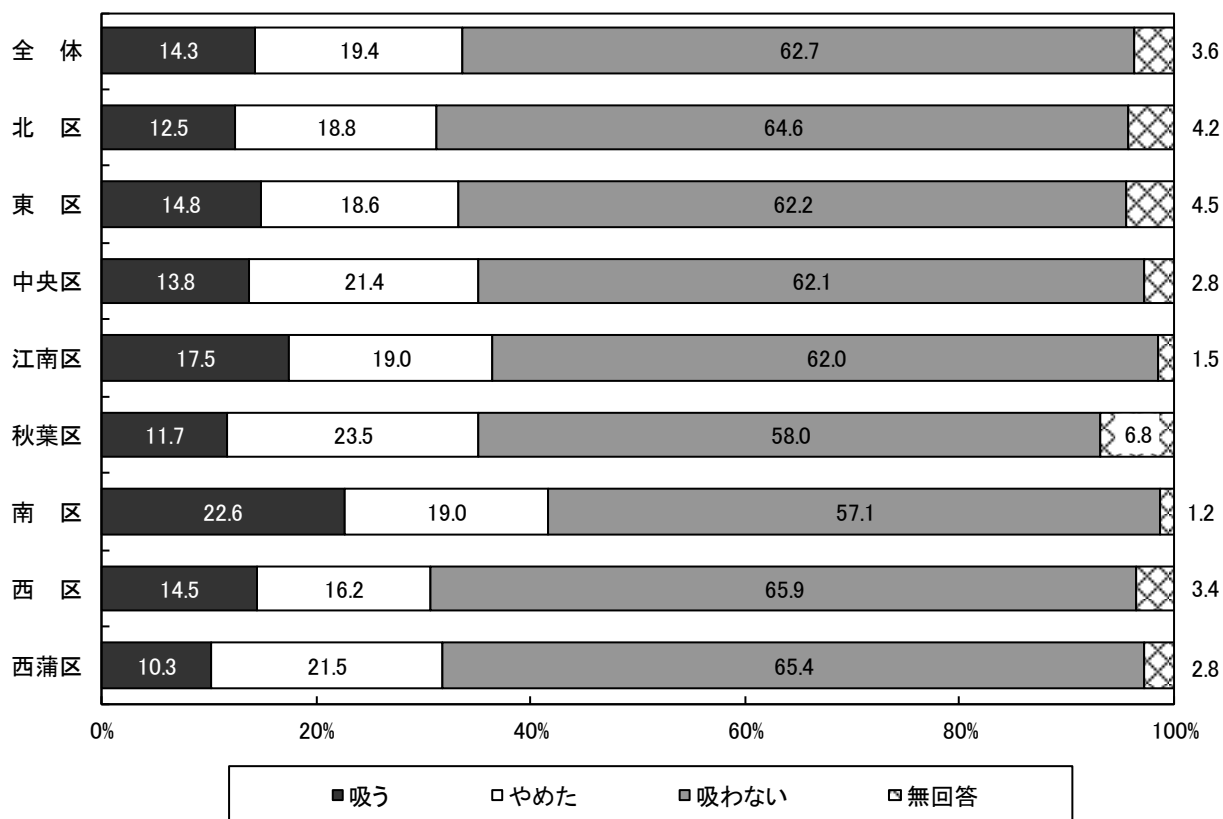
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「やめた」「吸わない」を合わせた、喫煙をしていない人の割合は、西蒲区（86.9%）で最も高くなっている。

図 5.9-4 喫煙習慣（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

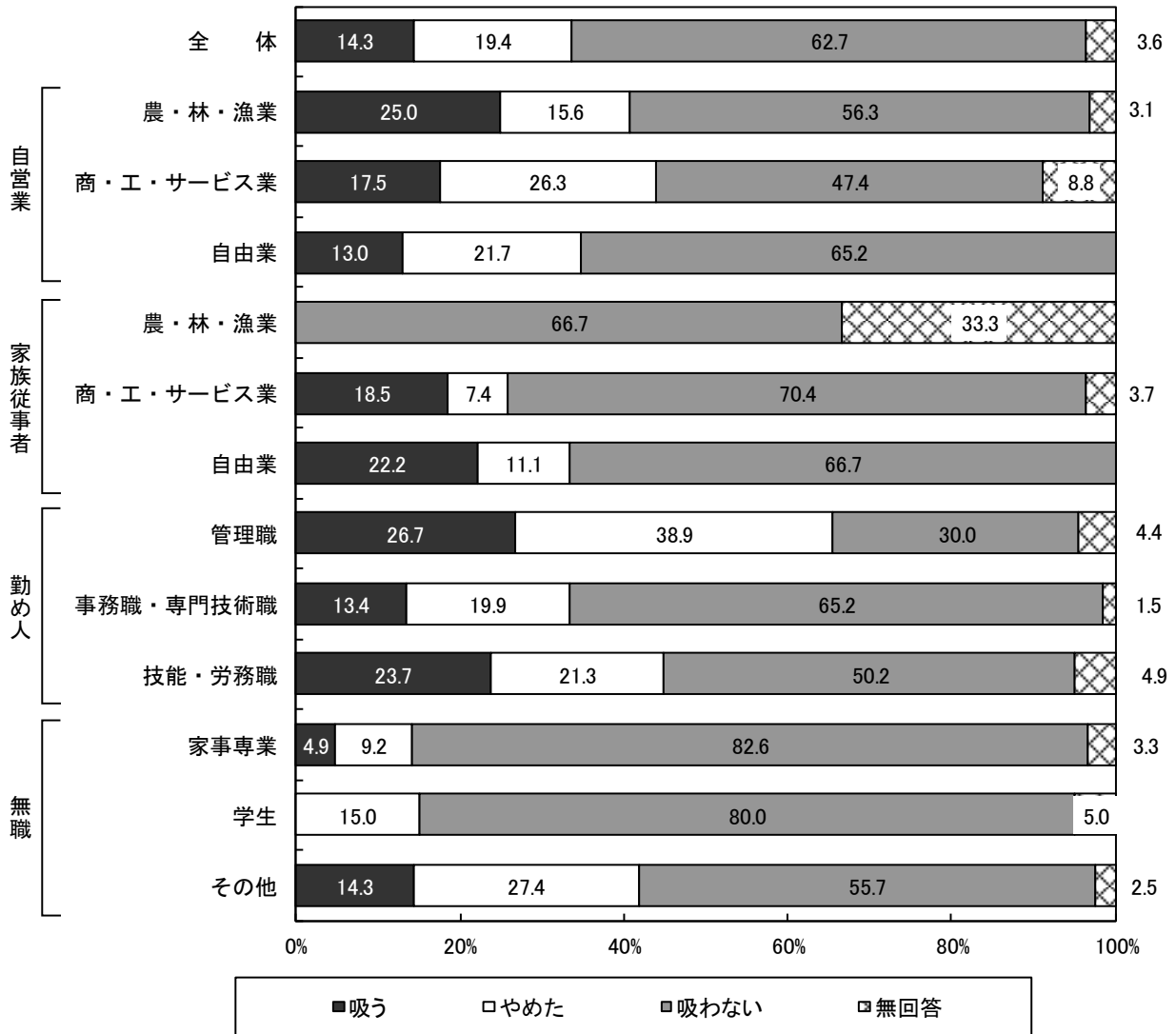
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.9-5 喫煙習慣（職業別）



全 体	自 営 業			家 族 従 事 者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

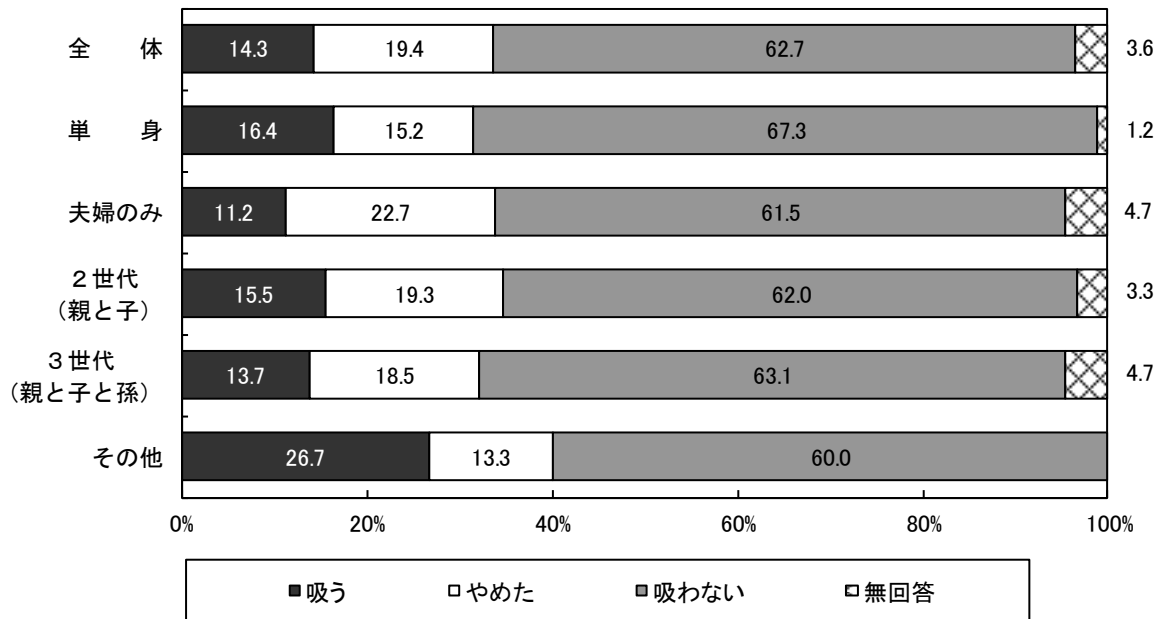
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「やめた」「吸わない」を合わせた、喫煙をしていない人の割合は、夫婦のみ（84.1%）で最も高くなっている。一方、「吸う」はその他（26.7%）が最も高くなっている。

図 5.9-6 喫煙習慣（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(10) 最近1か月の受動喫煙の状況

問34 あなたはこの1か月に自分以外の人が吸っているたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか。（項目ごとに○は1つだけ）

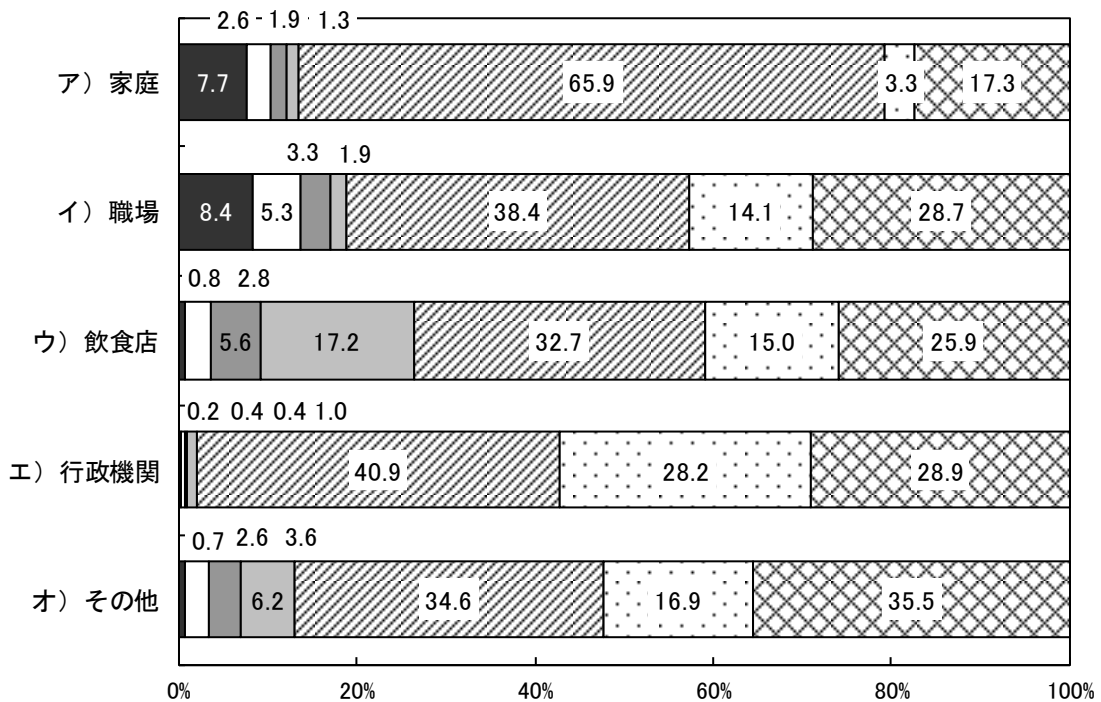
7割弱が『家庭』での受動喫煙は「全くない」と回答

【全体結果】

いずれの項目も「全くない」の割合が最も高く、『ア) 家庭』の項目では7割弱（65.9%）となっている。

一方、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、『イ) 職場』(8.4%)と『ア) 家庭』(7.7%)の項目で1割弱となっている。また、『ウ) 飲食店』の項目では「月に1回」(17.2%)の割合が高くなっている。

図 5.10 最近1か月の受動喫煙の状況



市民 n=1,565

■ほぼ毎日 □週に数回 ▣週に1回 □月1回 ▤全くない □行かなかった □無回答

	全体	ほぼ毎日	週に数回	週に1回	月1回	全くない	行かなかった	無回答
ア) 家庭	1,565	120	40	29	21	1032	52	271
イ) 職場	1,565	132	83	51	29	601	220	449
ウ) 飲食店	1,565	13	44	88	269	511	235	405
エ) 行政機関	1,565	3	6	7	16	640	441	452
オ) その他	1,565	11	40	56	97	542	264	555

(人)

(11) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度

問35 あなたは「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉やその意味を知っていましたか。
（○は1つだけ）

「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」とは

主として喫煙などにより、有害物質を長期に吸い込むことによって肺に炎症がおき、肺の中の組織が破壊されて、酸素の取り込みや二酸化炭素を排出する機能が低下する疾患です。

せき・たん・息切れを主な症状とし、徐々に呼吸障がい progresses します。

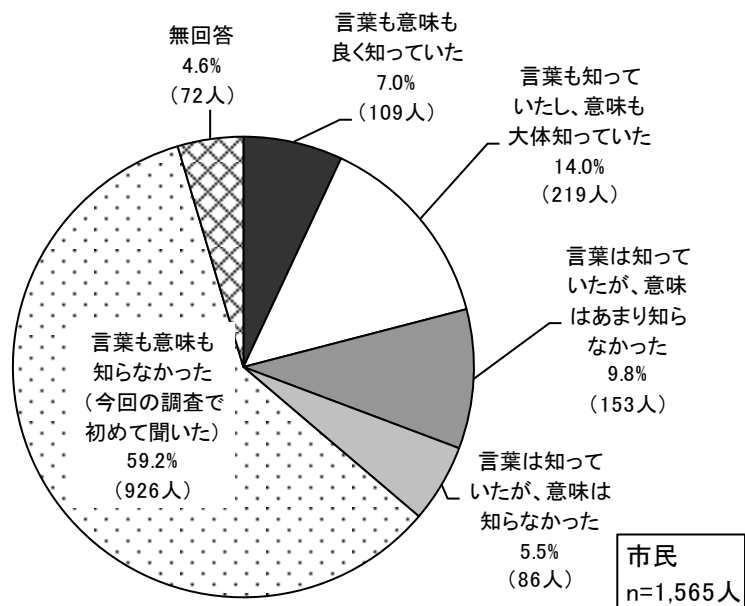
2割強が言葉や意味を認知していると回答

【全体結果】

「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」（7.0%）、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」（14.0%）と回答した人を合わせた割合は2割強（21.0%）となっている。

一方、「言葉も意味も知らなかった（今回の調査で初めて聞いた）」と回答した人の割合は6割弱（59.2%）となっている。

図 5.11-1 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、30歳代以下で高く、全体の約4分の1を占めている。

性別では、40歳代を除いた年代で「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、女性の方が高くなっている。

図 5.11-2 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度（年齢別・全体）

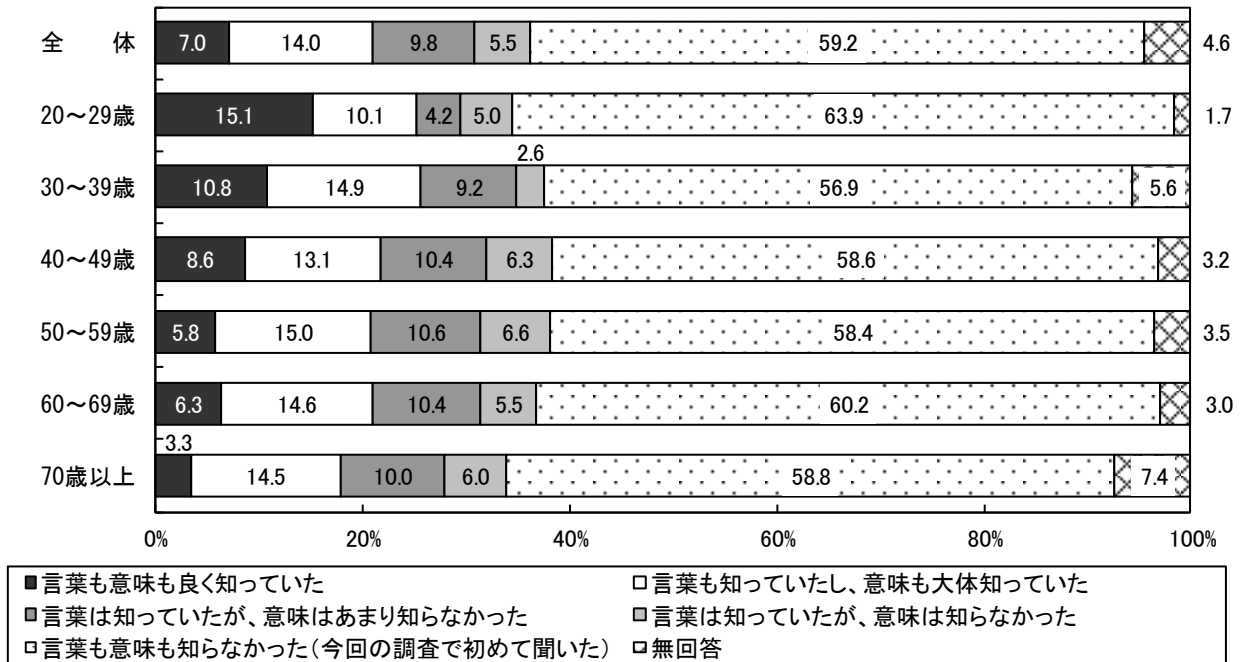
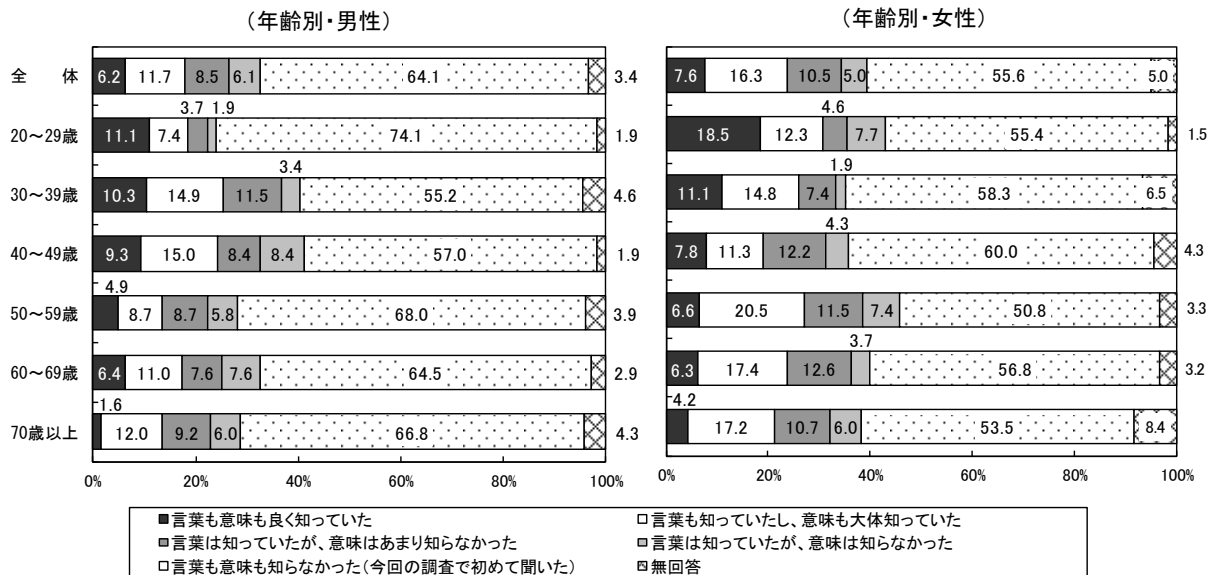


図 5.11-3 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

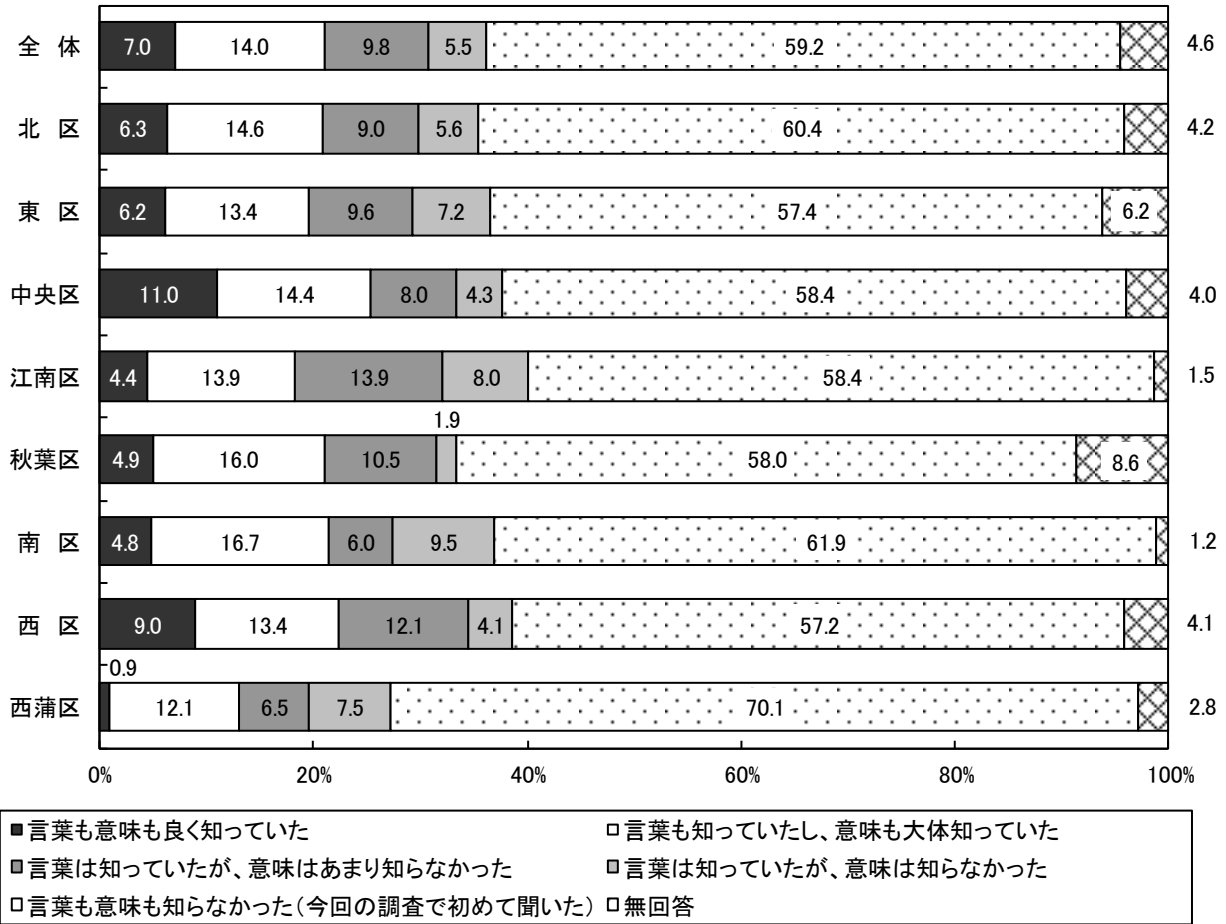
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、中央区（25.4%）で最も高くなっている。

図 5.11-4 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

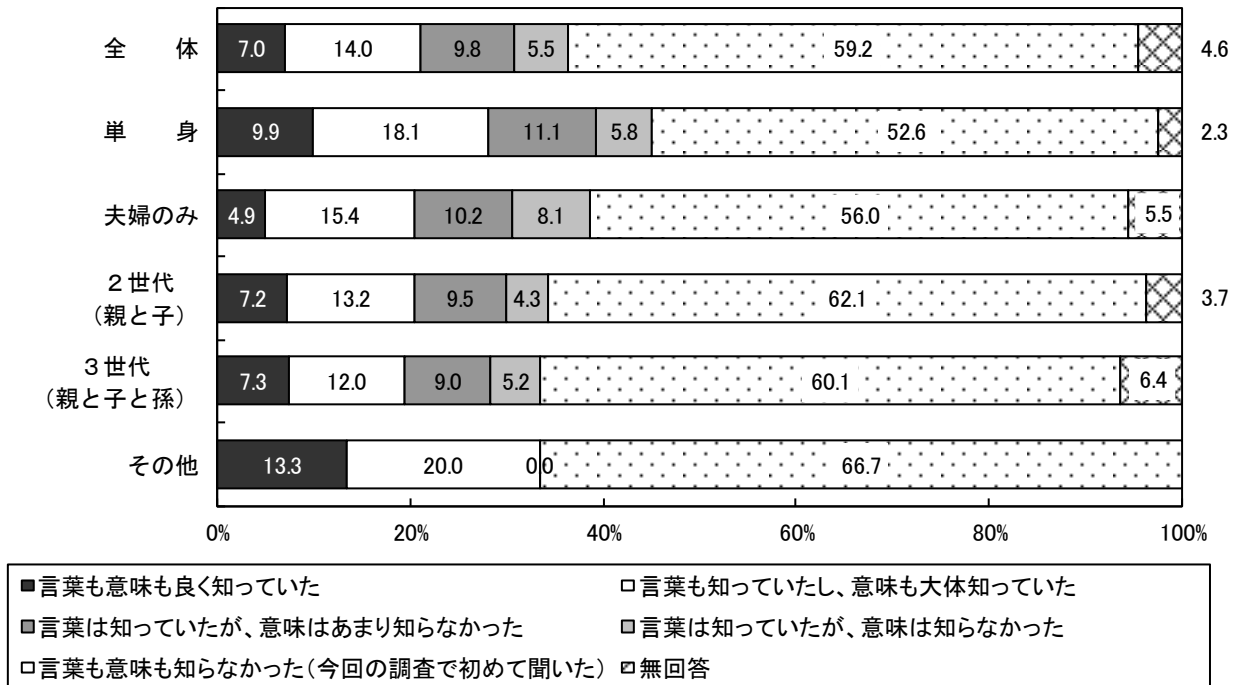
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、その他（33.3%）で最も高くなっている。

図 5.11-6 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(12) 飲酒の頻度

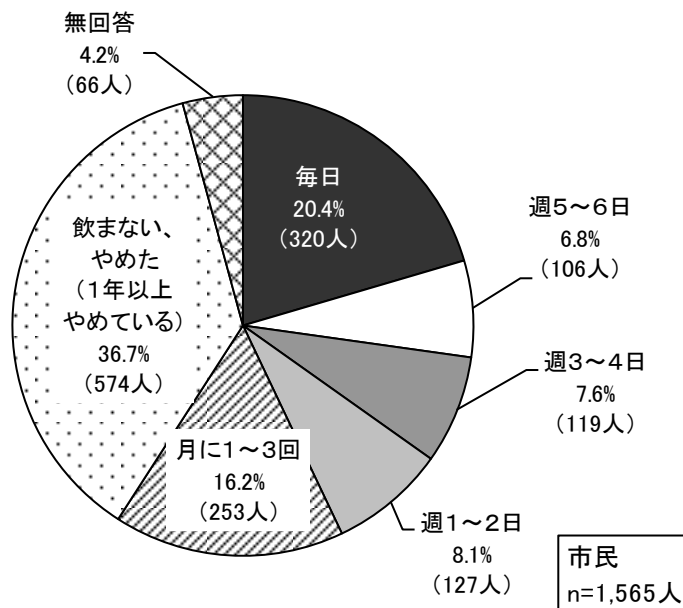
問36 あなたは週に何日くらいビール、日本酒、ウイスキーなどのアルコール類を飲みますか。
(○は1つだけ)

4割弱が「飲まない、やめた」と回答

【全体結果】

「飲まない、やめた（1年以上やめている）」と回答した人の割合が4割弱（36.7%）となっている。一方、飲酒の回数では「毎日」が約2割（20.4%）で、最も多くなっている。

図 5.12-1 飲酒の頻度



【性別・年齢別】

50歳代では「毎日」の割合が最も高く、20歳代では「月に1～3日」の割合が最も高くなっている。それ以外の年代では、「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合が最も高くなっている。

性別では、20歳代を除いた年代で「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合は男性より女性の方が高くなっている。「毎日」「週5～6日」を合わせた割合は、20歳代を除いた年代で、女性より男性の方が高くなっている。また「毎日」の割合は、50歳代と60歳代の男性で高く4割を超えている。

図 5.12-2 飲酒の頻度（年齢別・全体）

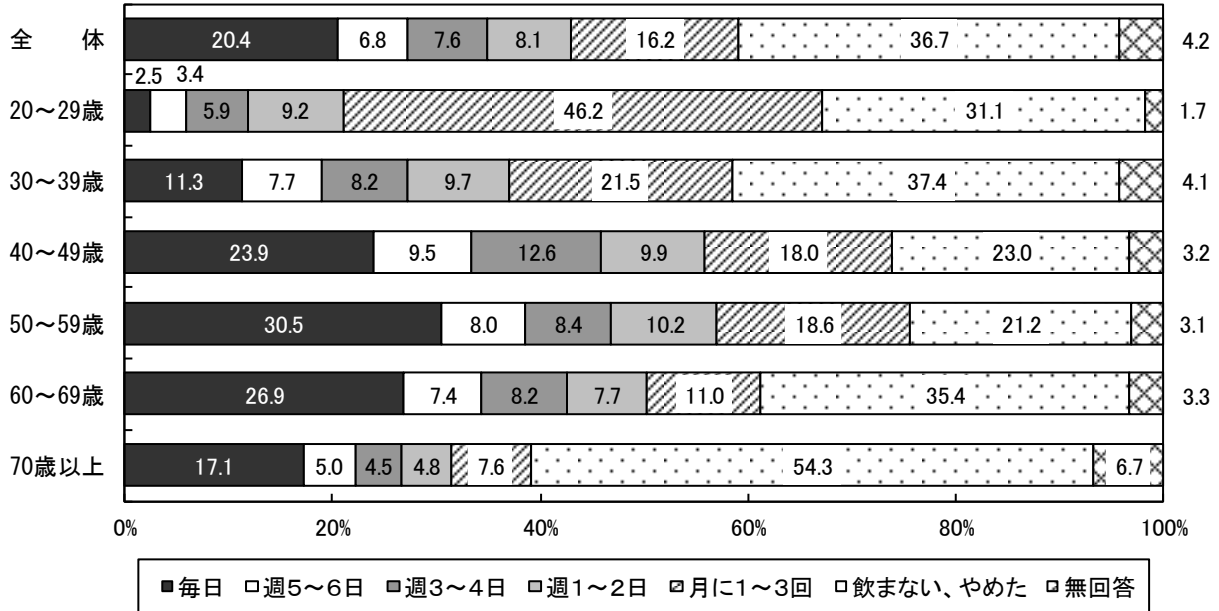
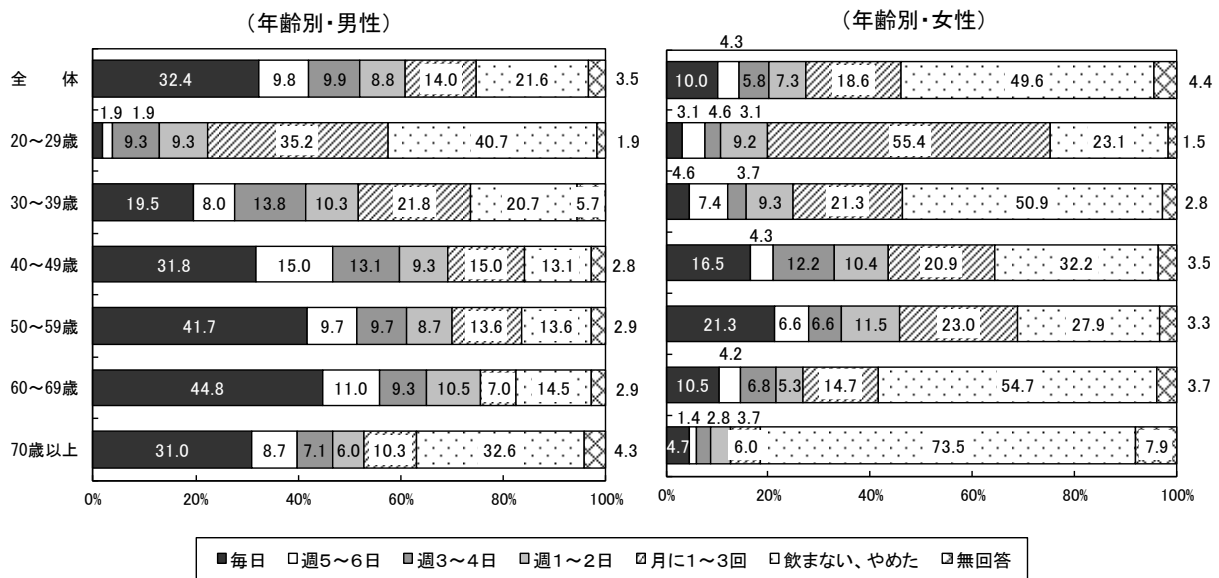


図 5.12-3 飲酒の頻度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

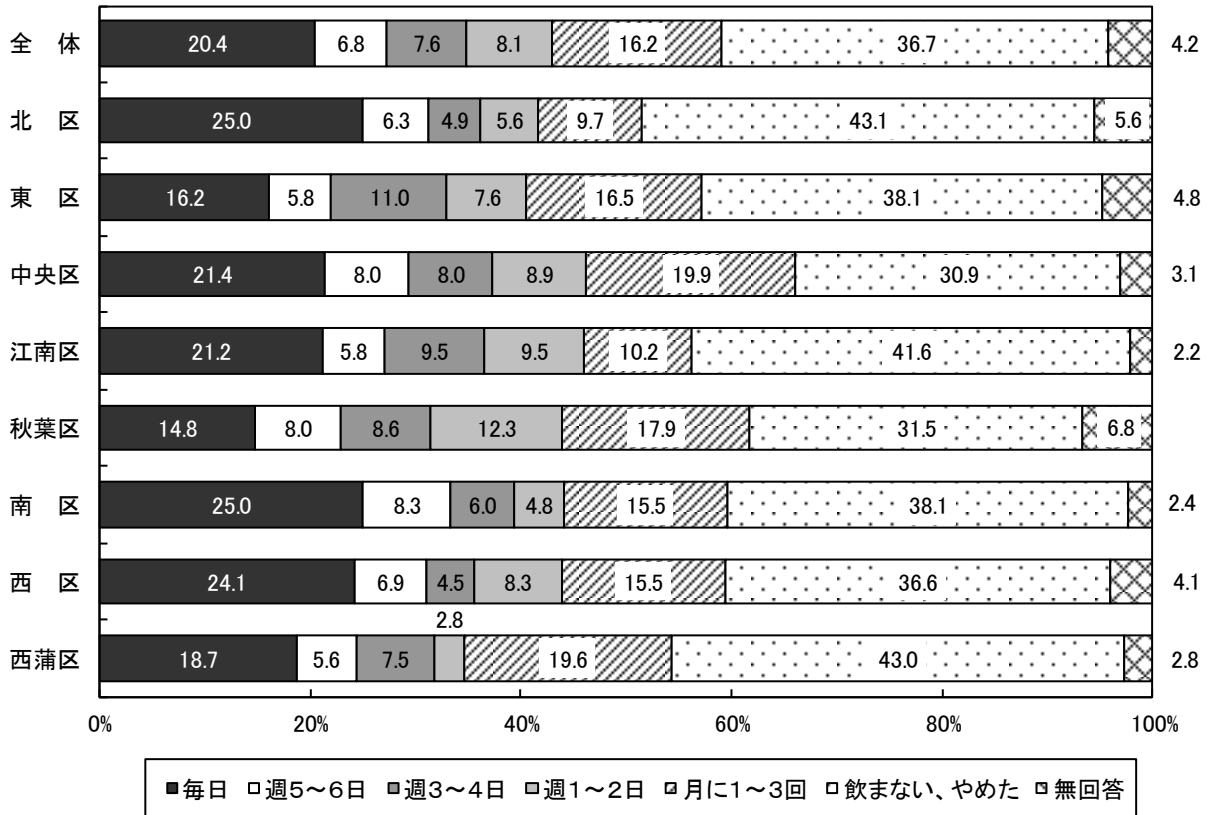
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区ともに、「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合が最も高くなっている。一方、「毎日」の割合は、北区と南区（いずれも25.0%）で高くなっている。

図 5.12-4 飲酒の頻度（地区別）



全 体	北 区	東 区	中央区	江南区	秋葉区	南 区	西 区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

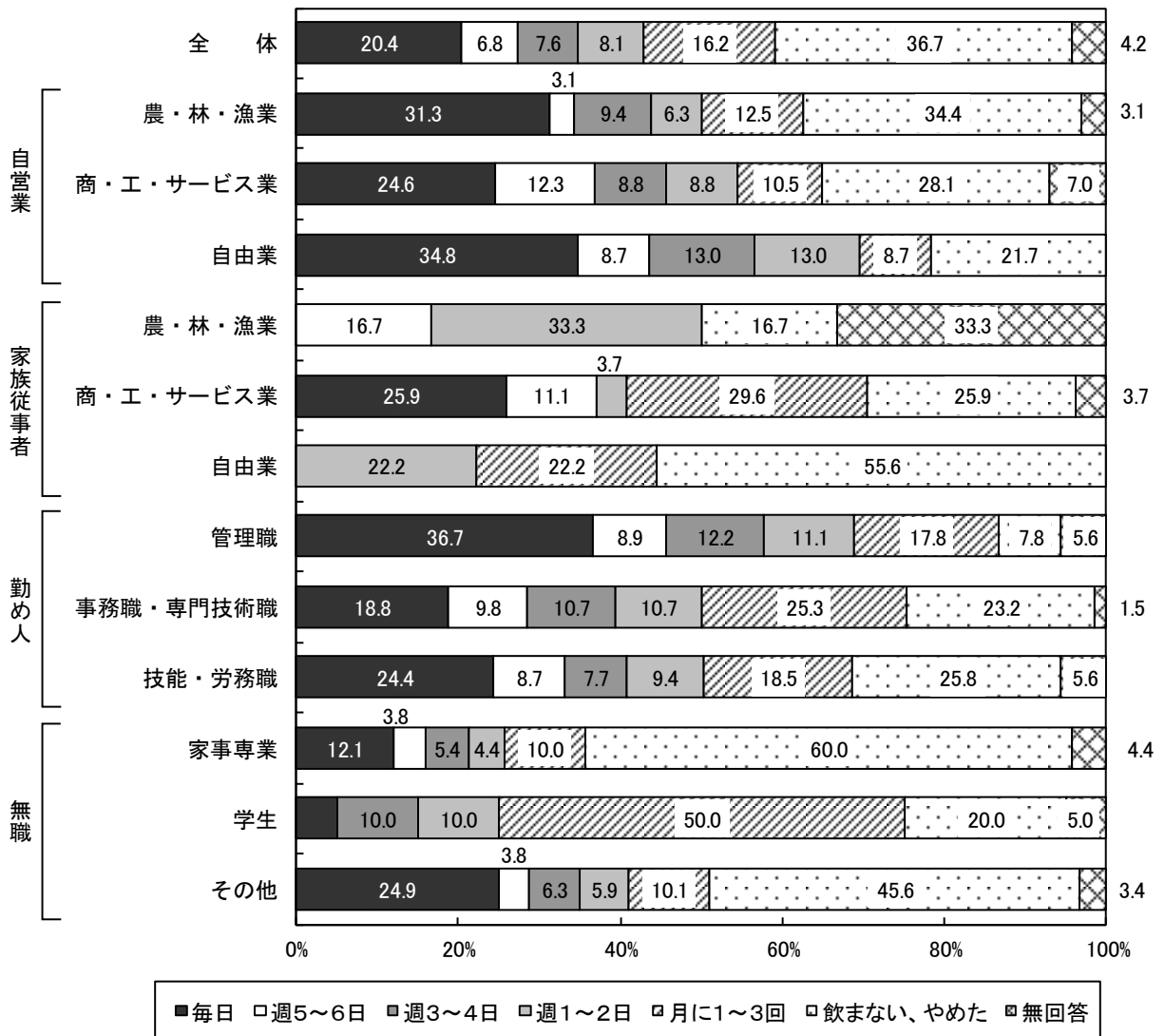
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.12-5 飲酒の頻度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

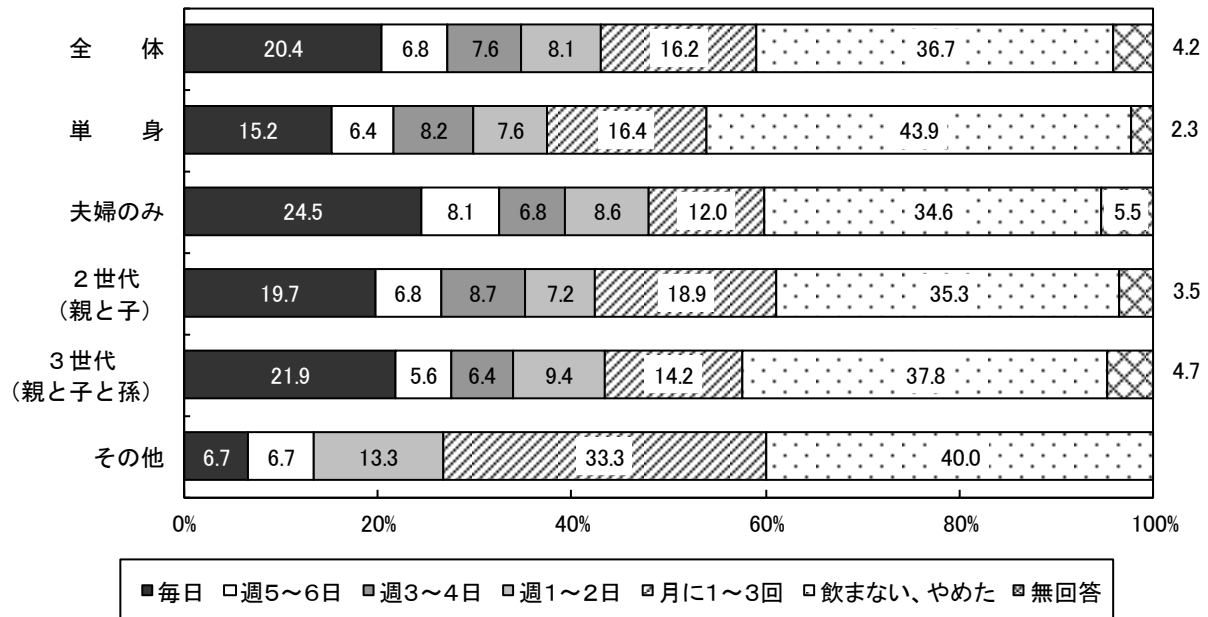
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成ともに、「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合が最も高くなっている。

図 5.12-6 飲酒の頻度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(13) 平均飲酒量

問36-1 あなたの1回当たりの平均飲酒量はどの程度ですか。(○は1つだけ)

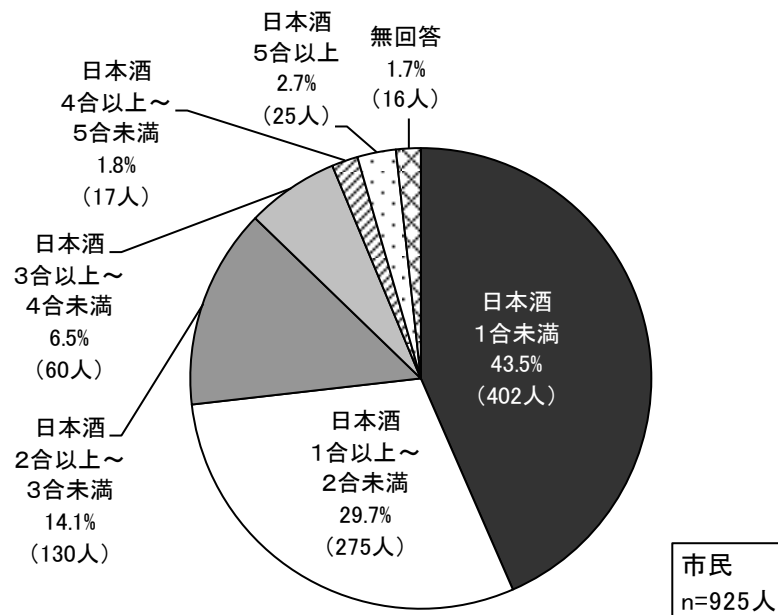
※日本酒1合＝(180ml) { ビール、発泡酒1本(500ml)
ワイン2杯(240ml)
ウイスキーダブル1杯(60ml)
焼酎 20度(135ml)
焼酎 25度(110ml)
酎ハイ 7度(350ml) } を目安にしてください。

4割強が「日本酒1合未満」と回答

【全体結果】

平均飲酒量については、「日本酒1合未満」(43.5%)と回答した人が最も多く、以下「日本酒1合以上～2合未満」(29.7%)、「日本酒2合以上～3合未満」(14.1%)、「日本酒3合以上～4合未満」(6.5%)と続いている。

図 5.13-1 平均飲酒量



【性別・年齢別】

各年代とも「日本酒1合未満」と回答した人の割合が最も高く、70歳以上（48.8%）では5割弱となっている。

性別では、20歳代を除く女性では、「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっている。女性20歳代と男性の各年代では「日本酒1合以上～2合未満」の割合が最も高くなっている。

図 5.13-2 平均飲酒量（年齢別・全体）

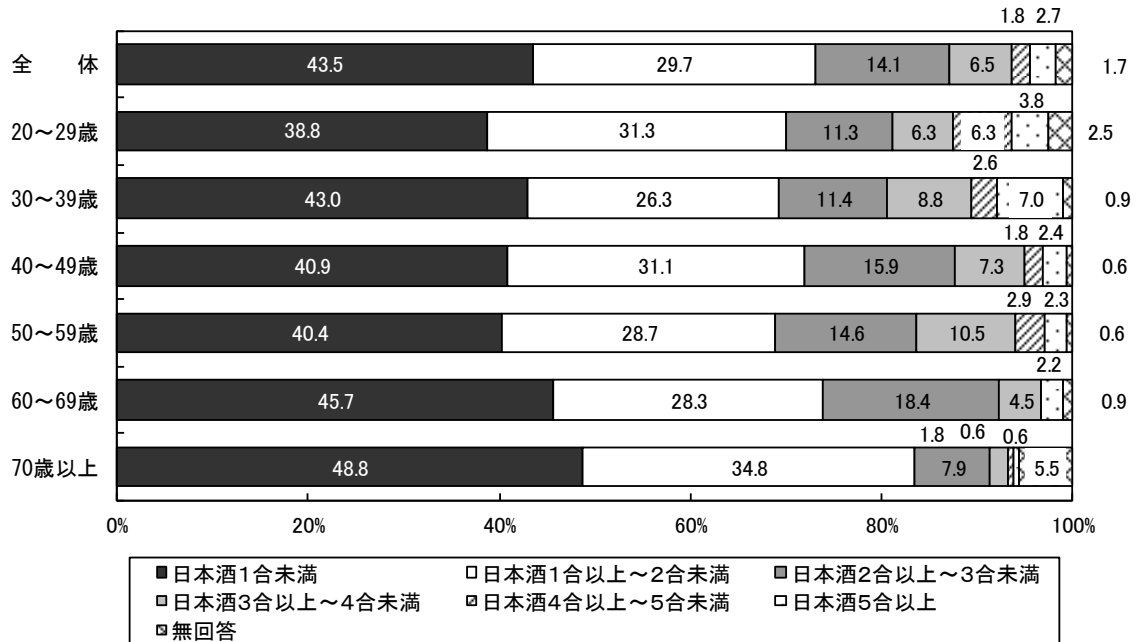
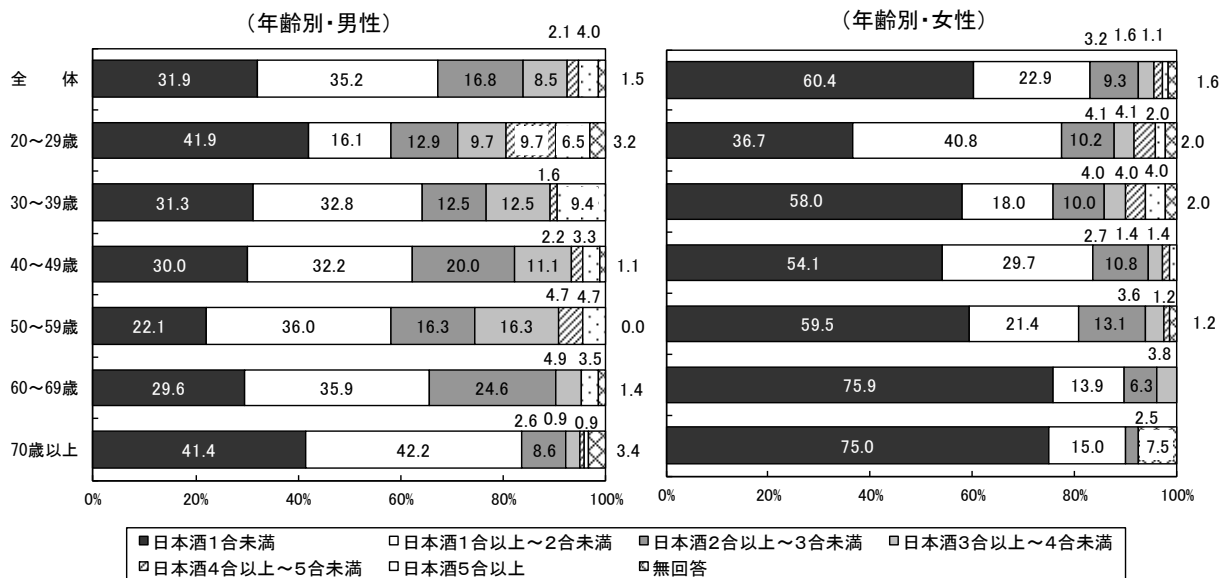


図 5.13-3 平均飲酒量



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	925	80	114	164	171	223	164	9
男性	529	31	64	90	86	142	116	0
女性	376	49	50	74	84	79	40	0

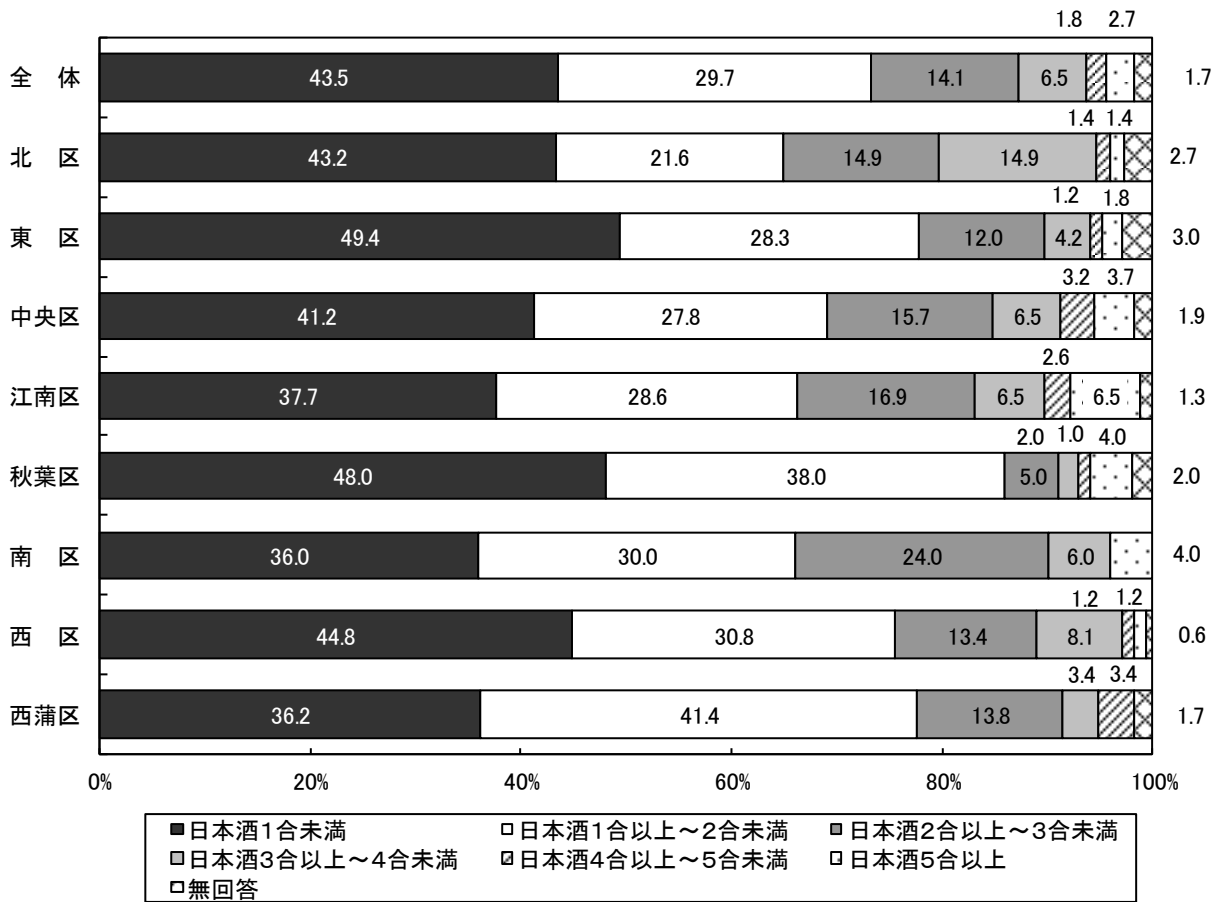
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区とも「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっている。

図 5.13-4 平均飲酒量（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
925	74	166	216	77	100	50	172	58	12

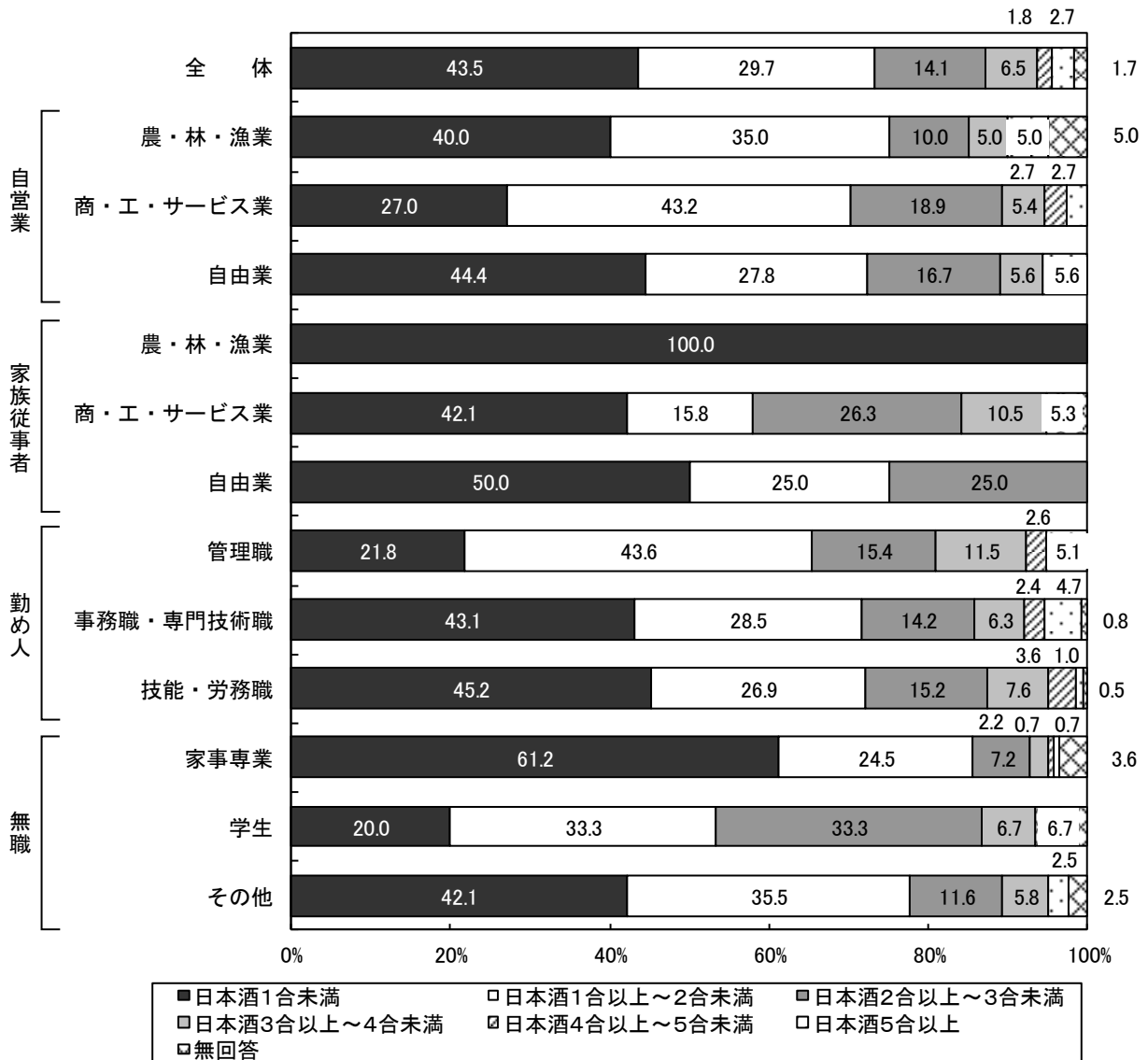
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.13-5 平均飲酒量（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
925	20	37	18	3	19	4

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
78	253	197	139	15	121	21

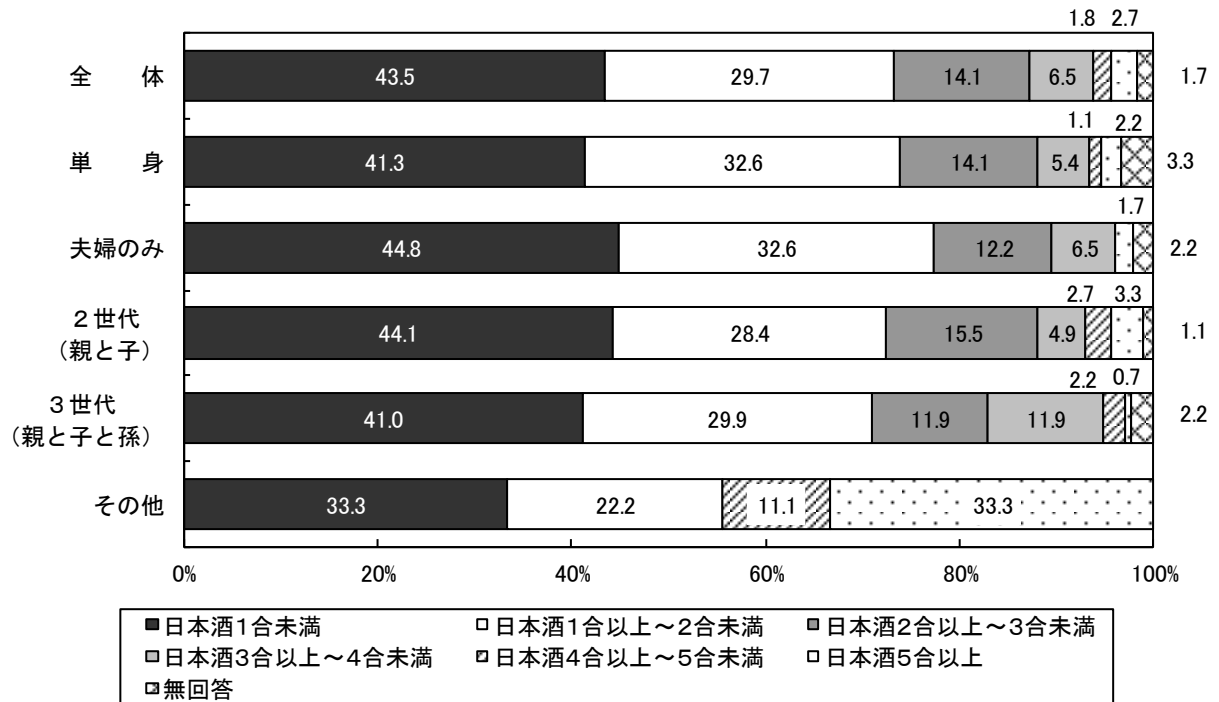
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成とも「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっている。

図 5.13-6 平均飲酒量（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
925	92	230	451	134	9	9

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(14) 最近1年間の歯科健（検）診の受診状況

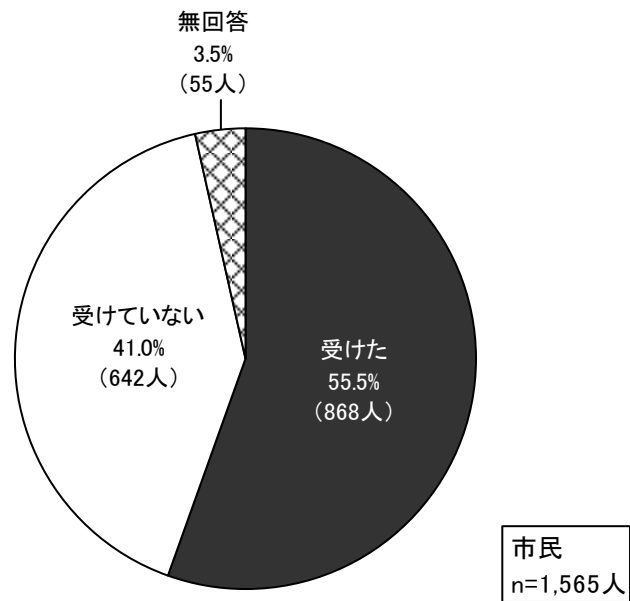
問37 あなたはこの1年間に歯科健（検）診を受けましたか。（○は1つだけ）

6割弱が歯科健（検）診を「受けた」と回答

【全体結果】

最近1年間に歯科健（検）診を「受けた」と回答した人の割合が6割弱（55.5%）、「受けていない」と回答した人の割合は4割強（41.0%）となっている。

図 5.14-1 最近1年間の歯科健（検）診の受診状況



【性別・年齢別】

「受けた」の割合は、70歳以上（63.3%）が最も高く、60歳以上では6割を超えている。
性別では、「受けた」の割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 5.14-2 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況（年齢別・全体）

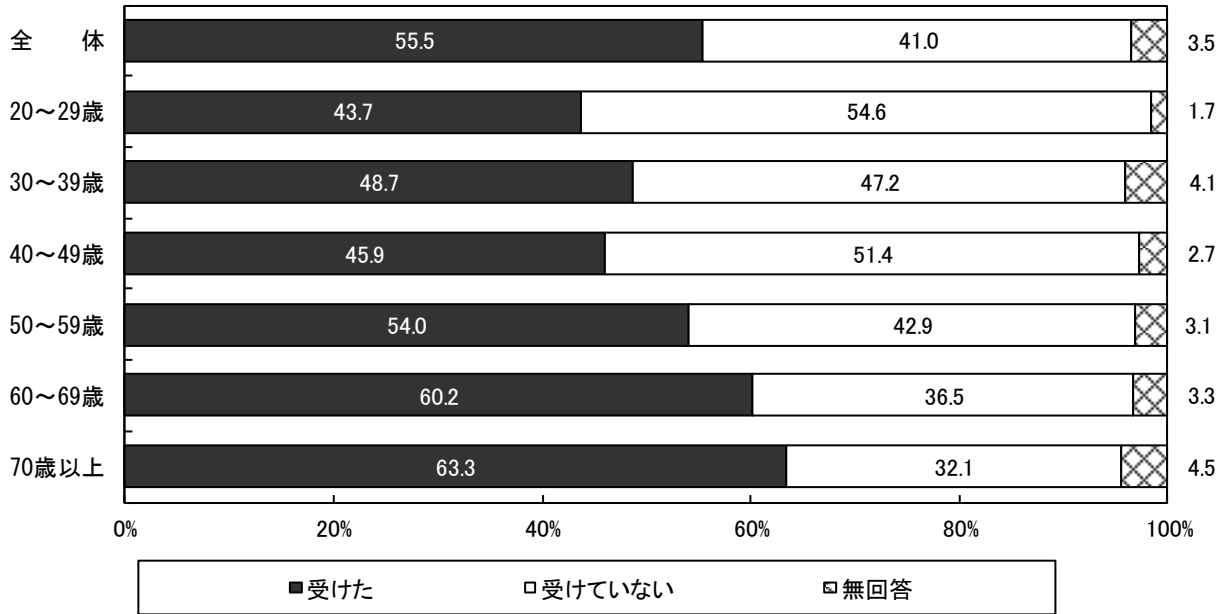
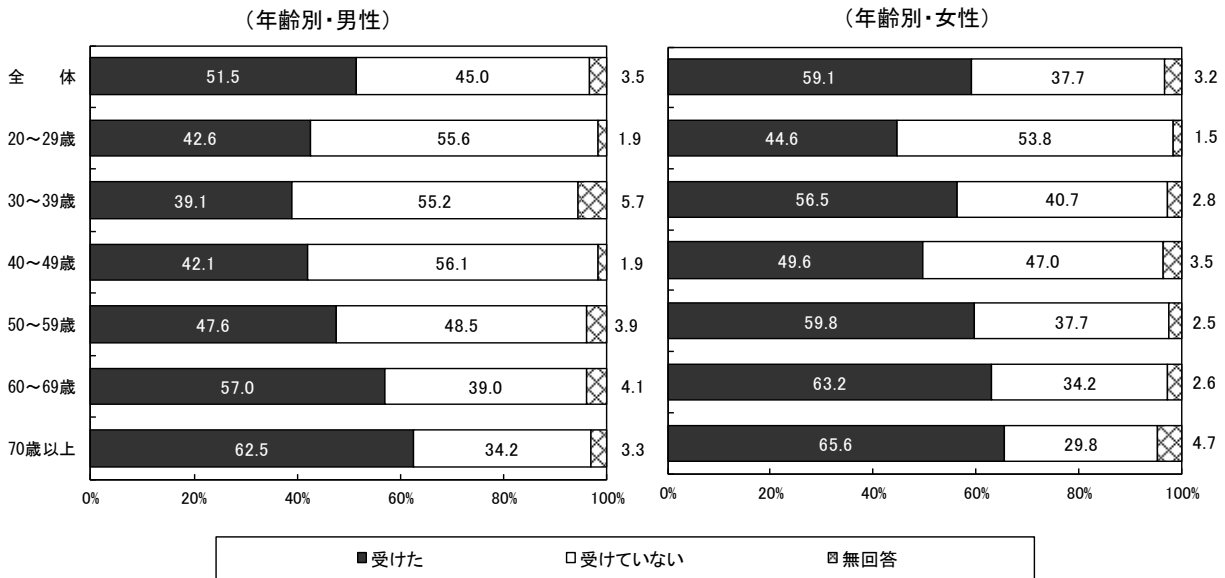


図 5.14-3 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

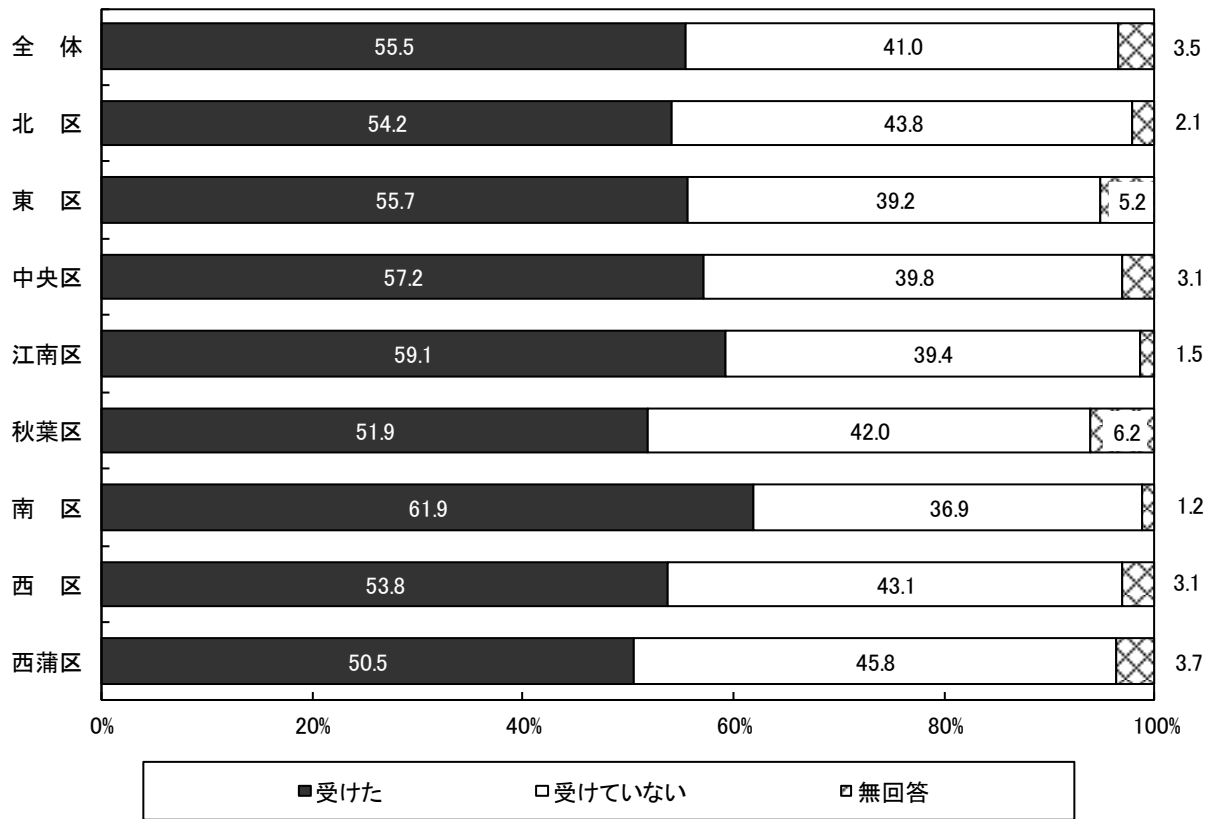
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「受けた」の割合は、南区（61.9%）で最も高く、西蒲区（50.5%）で最も低くなっている。

図 5.14-4 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

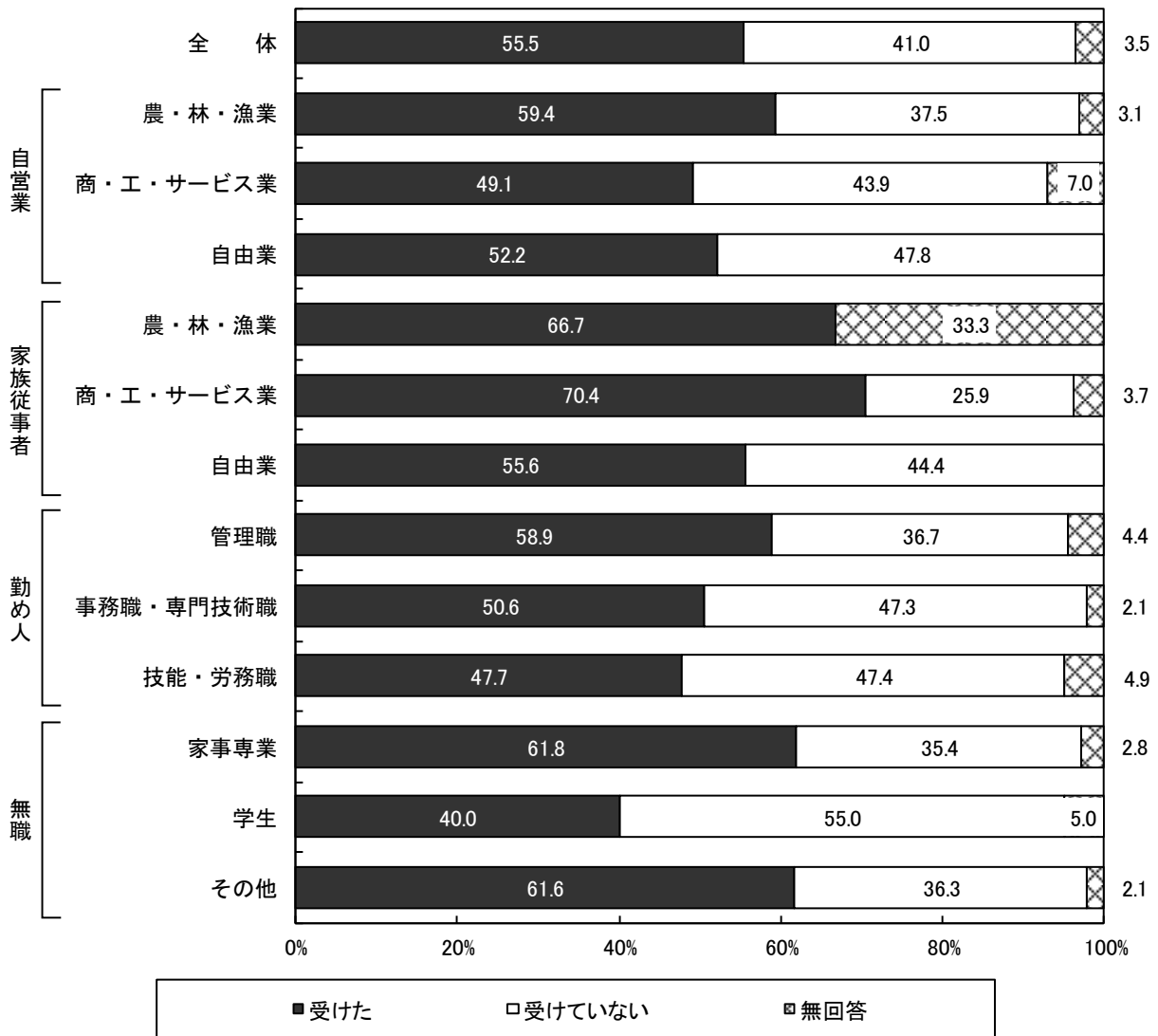
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5. 14-5 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況(職業別)



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

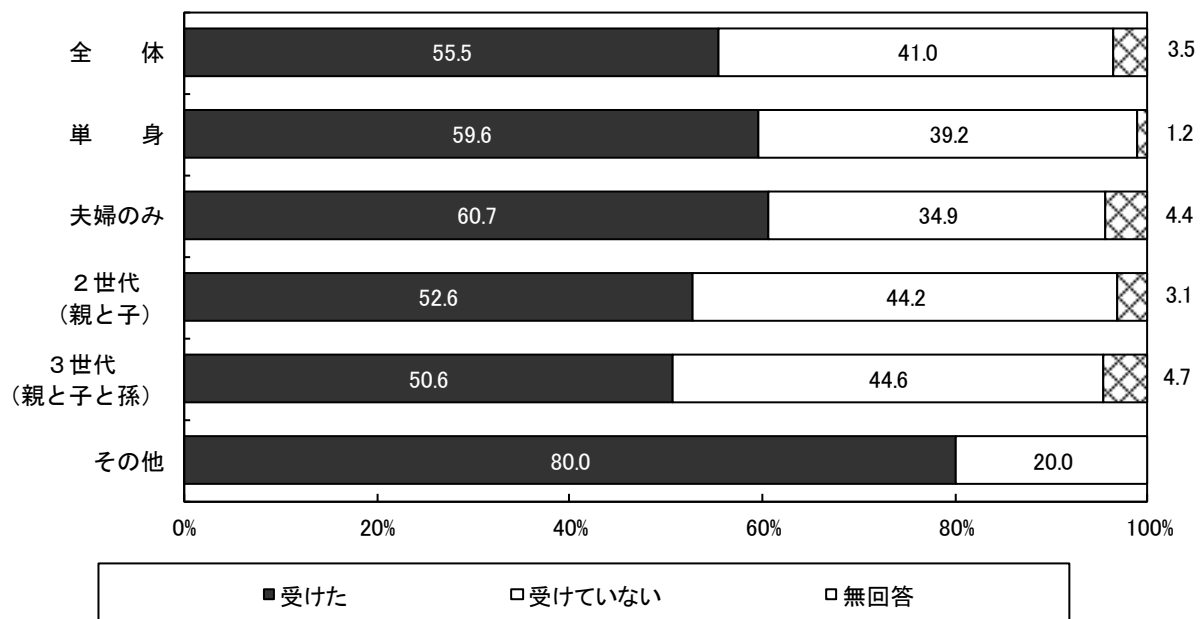
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「受けた」の割合は、その他（80.0%）と夫婦のみ（60.7%）で高くなっている。

図 5.14-6 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況(家族構成別)



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(15) 歯間部清掃用具の使用状況

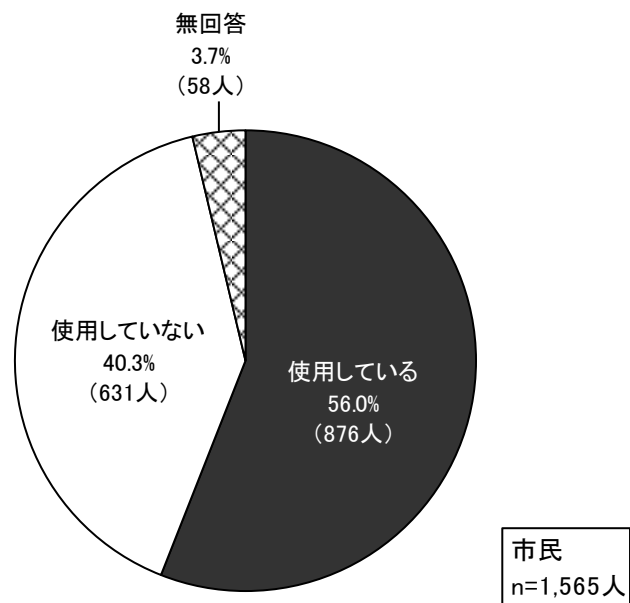
問38 あなたはむし歯予防や歯周病の予防のために歯間部清掃用具（デンタルフロス（糸つきようじ）、歯間ブラシ）を使用していますか。（○は1つだけ）

6割弱が「使用している」と回答

【全体結果】

歯間部清掃用具（デンタルフロス（糸つきようじ）、歯間ブラシ）を「使用している」と回答した人の割合が6割弱（56.0%）、「使用していない」と回答した人の割合は約4割（40.3%）となっている。

図 5. 15-1 歯間部清掃用具の使用状況



【性別・年齢別】

「使用している」の割合は、20歳代（42.0%）で、他の年代に比べ低くなっている。

性別では、「使用している」割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 5.15-2 歯間部清掃用具の使用状況（年齢別・全体）

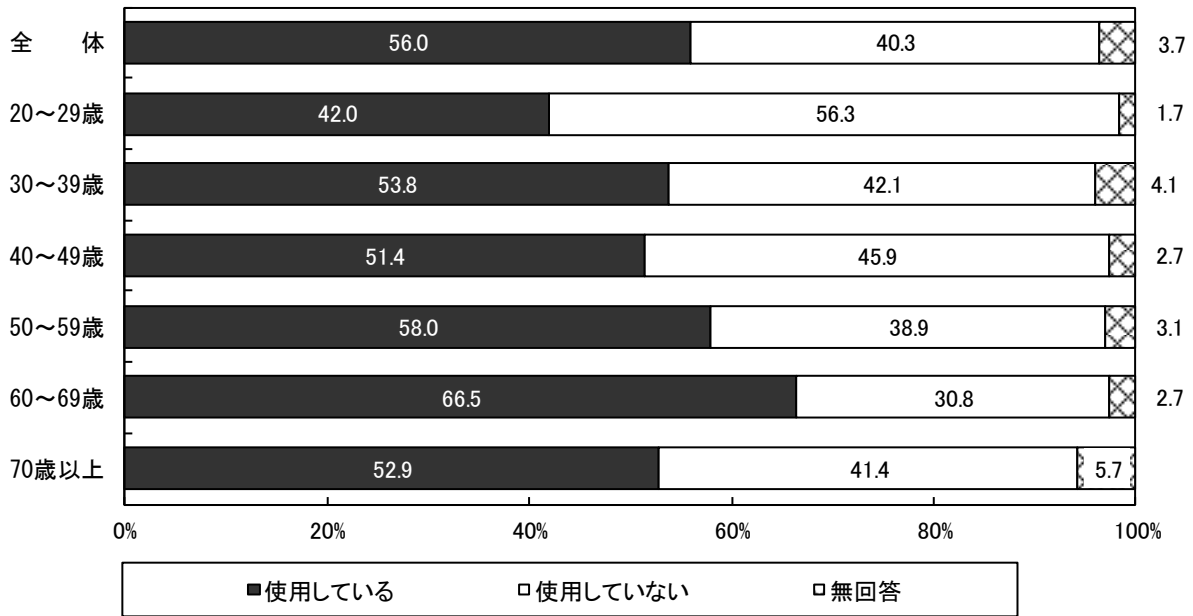
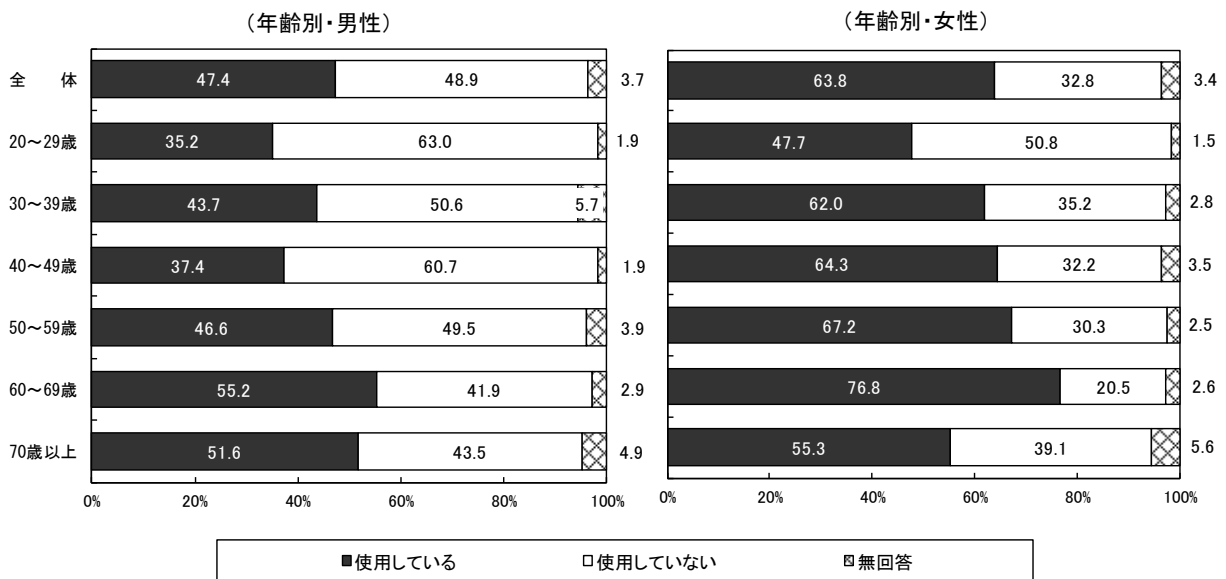


図 5.15-3 歯間部清掃用具の使用状況



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全 体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男 性	707	54	87	107	103	172	184	0
女 性	817	65	108	115	122	190	215	2

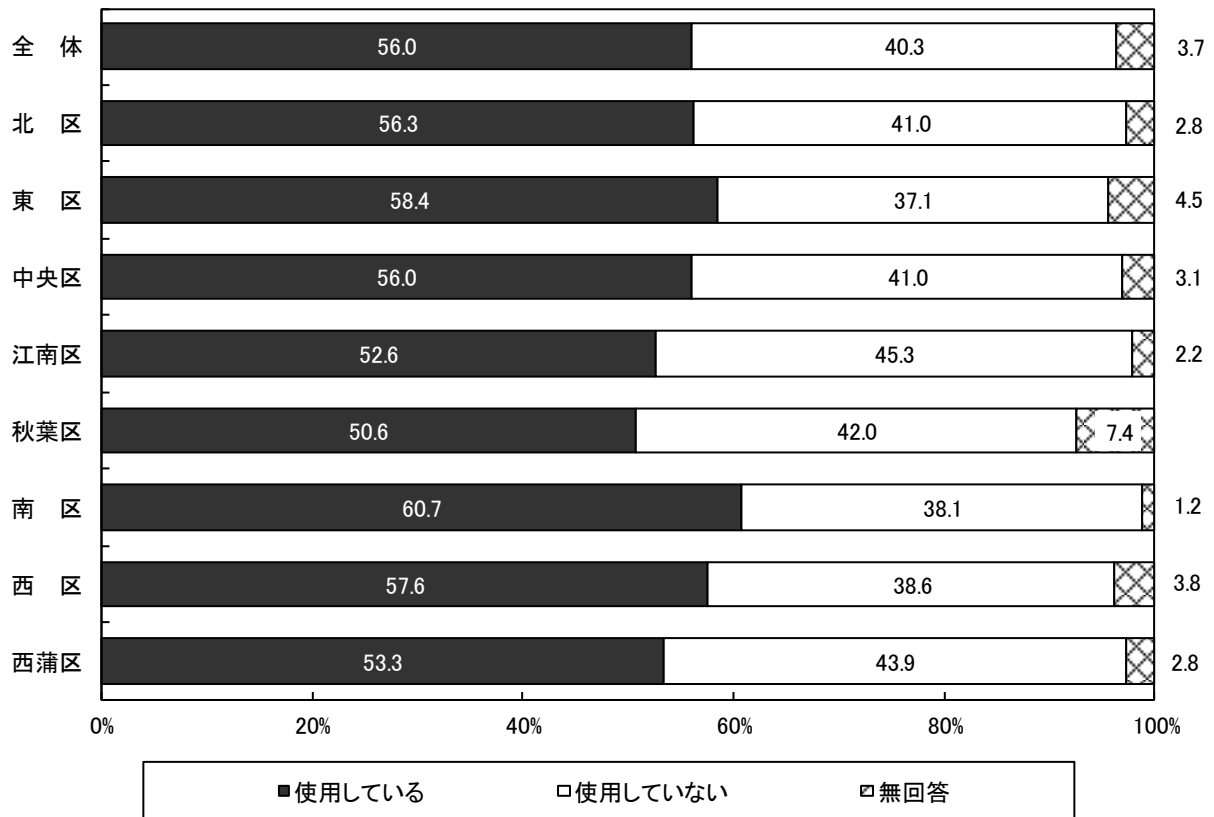
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「使用している」割合は、南区（60.7%）で最も高く、6割を超えている。

図 5.15-4 歯間部清掃用具の使用状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

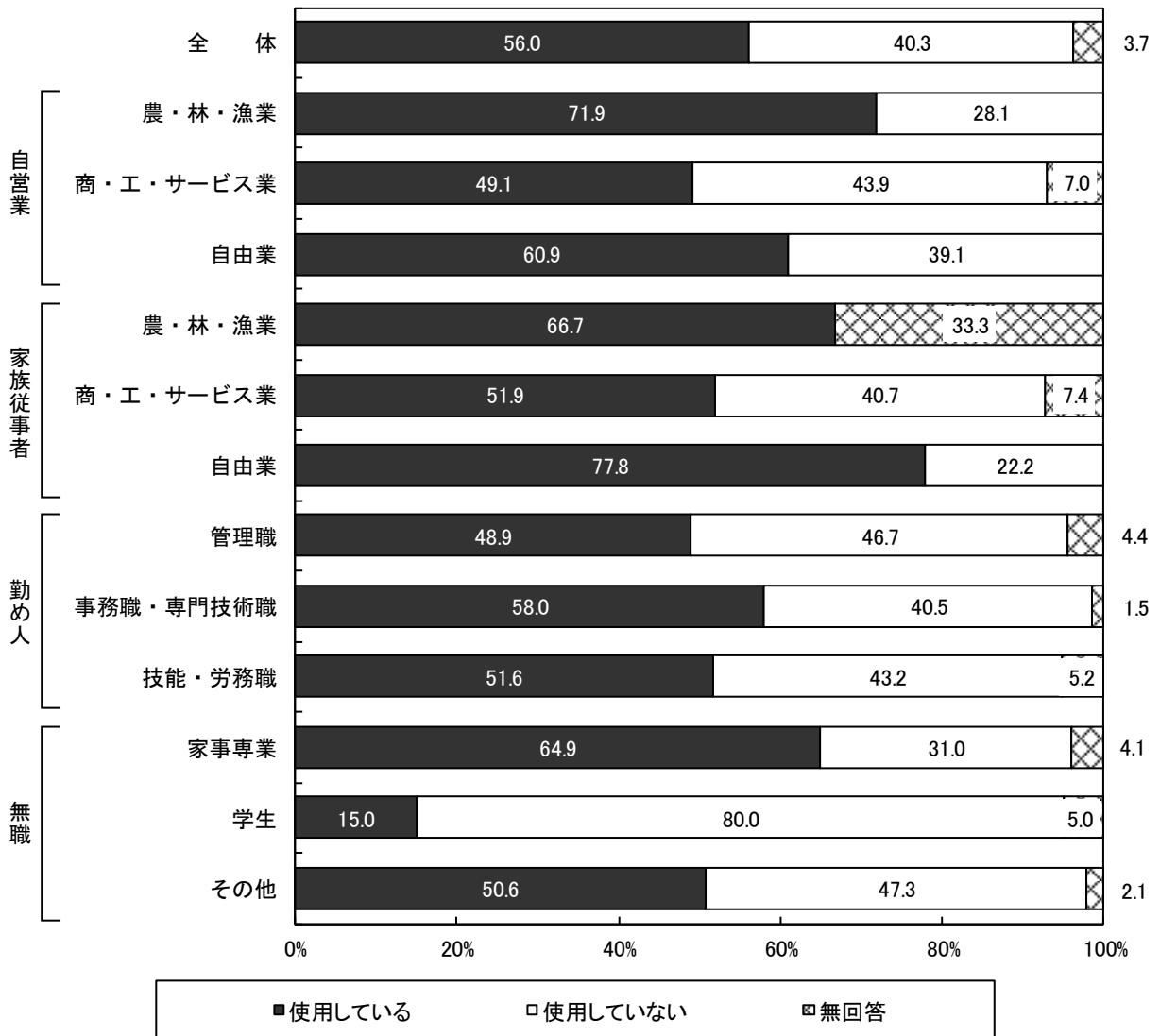
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5. 15-5 歯間部清掃用具の使用状況（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

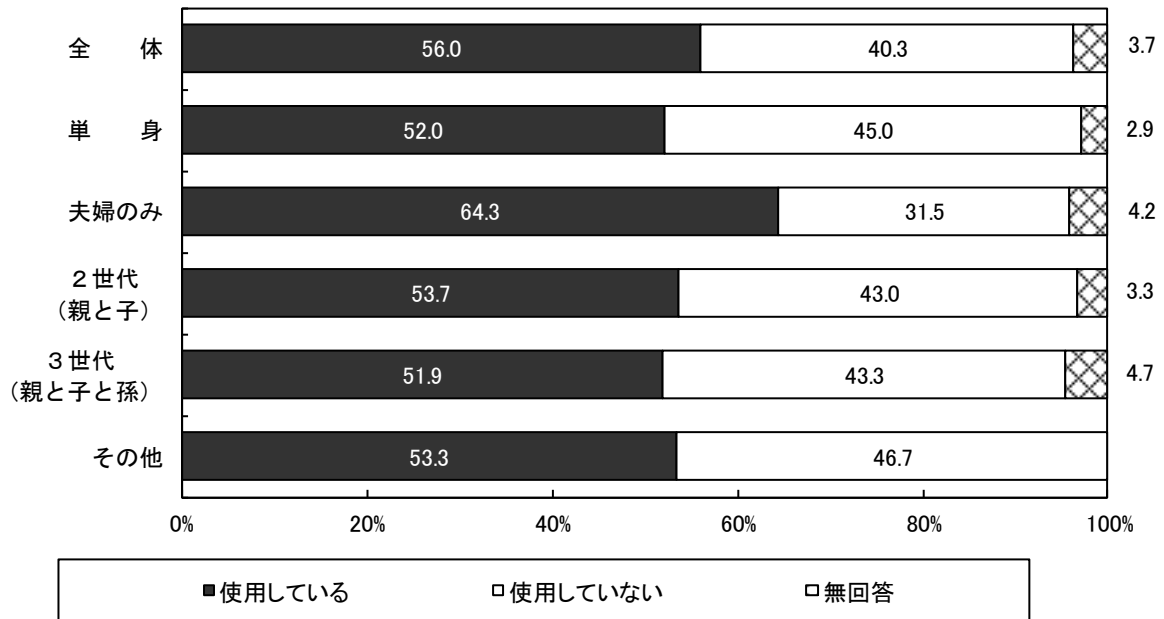
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「使用している」の割合は、夫婦のみ（64.3%）で最も高くなっている。

図 5.15-6 歯間部清掃用具の使用状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(16) 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度

問39 あなたは、「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や、その意味を知っていましたか。（○は1つだけ）

「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」とは

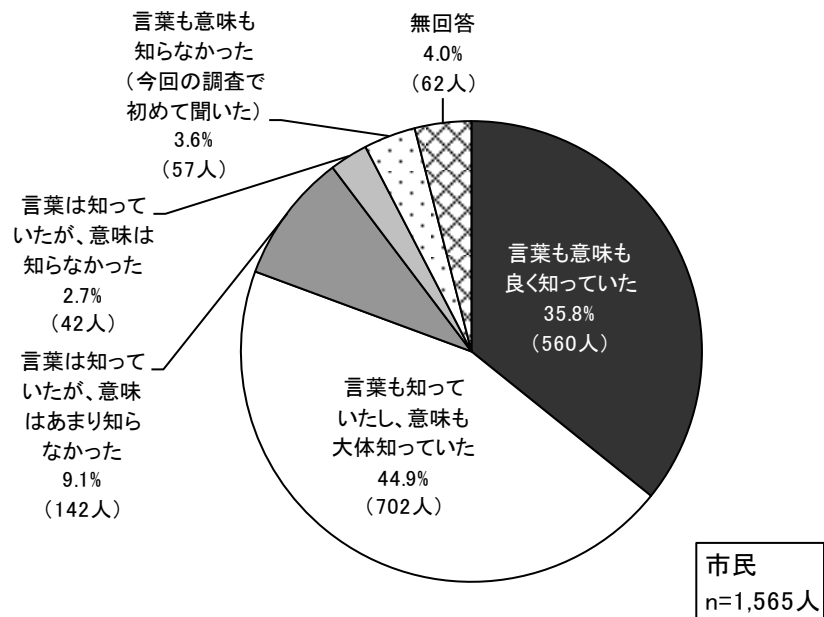
内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態のことです。

約8割が言葉や意味を認知していると回答

【全体結果】

「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」（35.8%）、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」（44.9%）と回答した人を合わせた割合は8割強（80.6%）となっている。

図 5.16-1 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、40歳代（86.0%）で最も高く9割弱となっている。一方、70歳以上では、他の年代に比べ「言葉も意味も知らなかった（今回の調査で初めて聞いた）」（9.5%）の割合がやや高くなっている。

図 5.16-2 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（年齢別・全体）

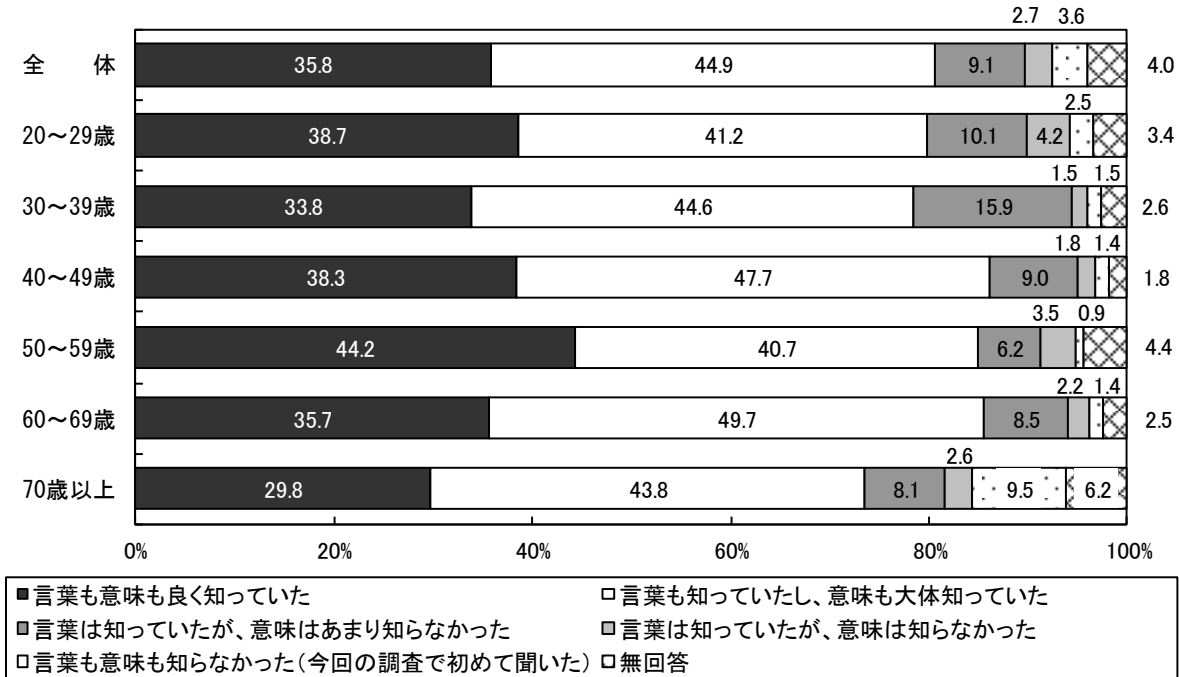
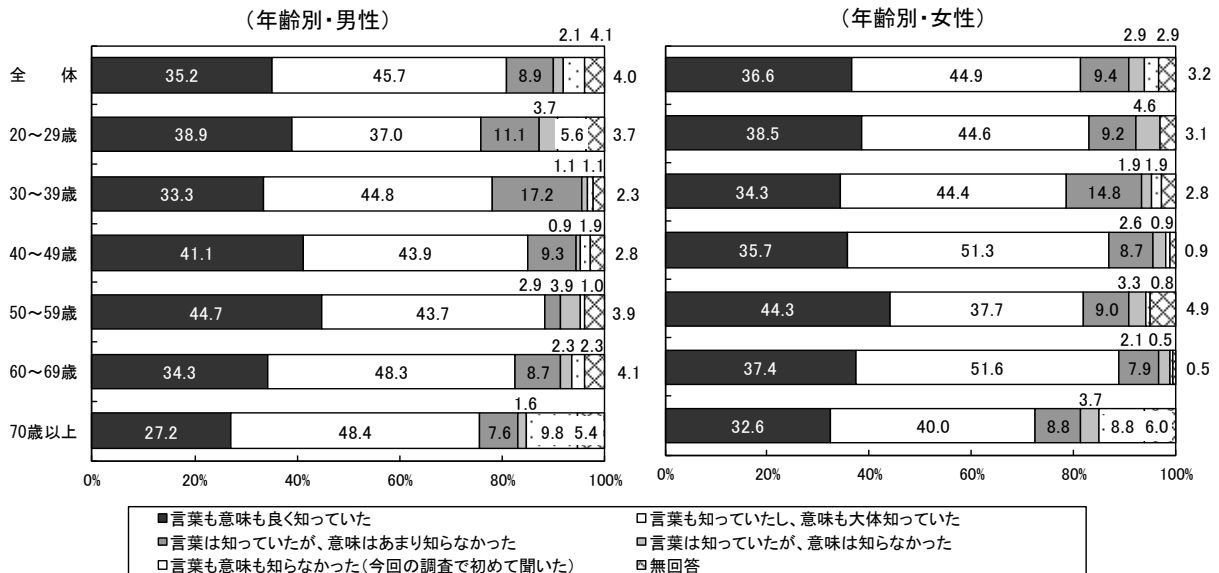


図 5.16-3 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

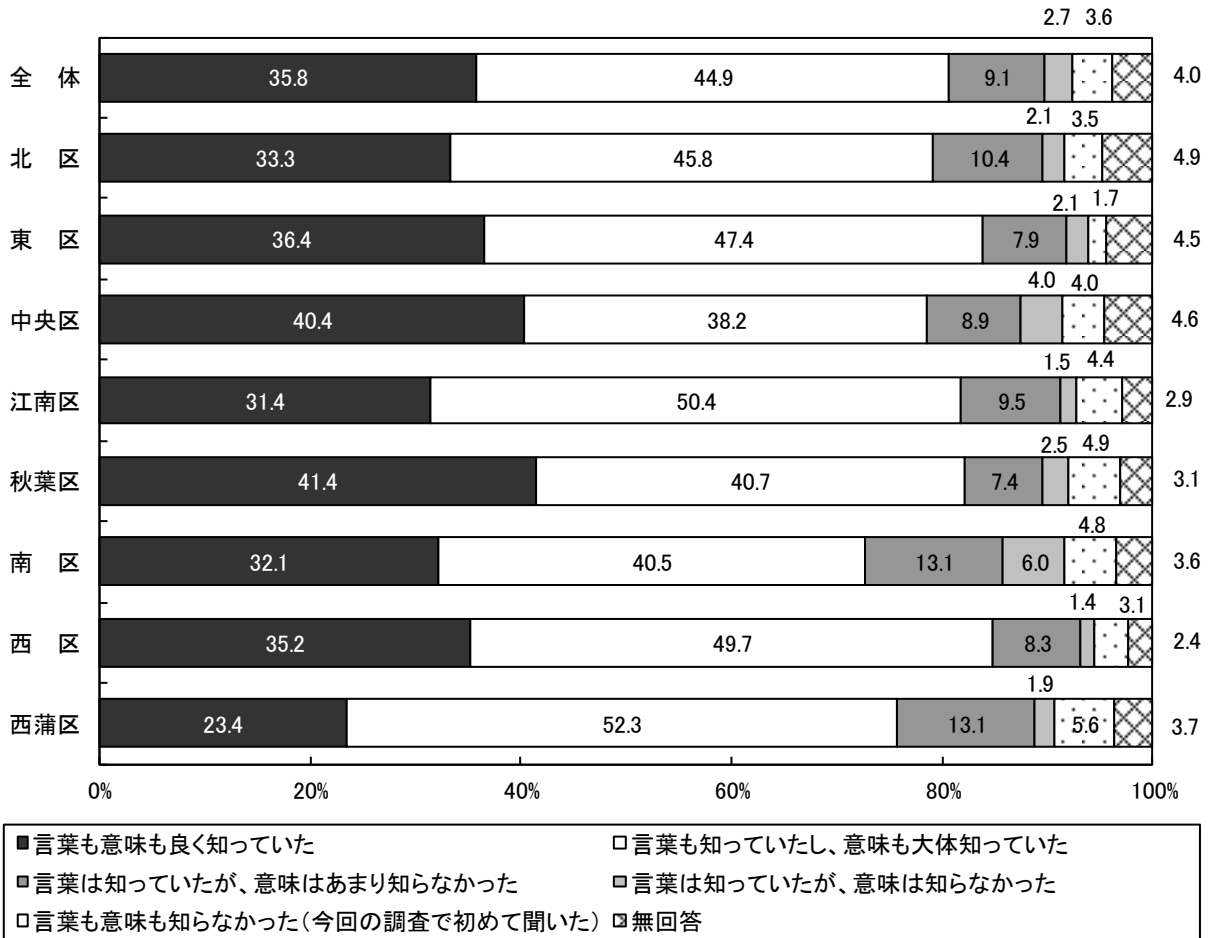
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、西区、東区、秋葉区、江南区で8割を超えている。

図 5.16-4 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

(17) メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況

問40 あなたは、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のために、①適切な食事、②定期的な運動、③週に複数回の体重計測、のいずれかを実践していますか。（○は1つだけ）

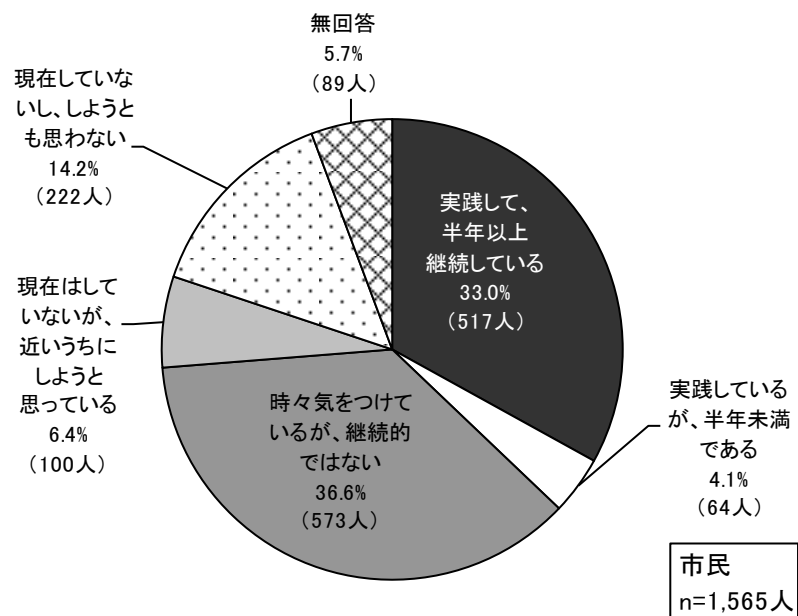
4割弱が予防・改善を実践していると回答

【全体結果】

期間に程度の差はあるが、予防・改善を「実践して、半年以上継続している」（33.0%）、「実践しているが、半年未満である」（4.1%）と回答した人を合わせた割合は4割弱（37.1%）となっている。

一方、「現在はしていないが、近いうちにしようと思っている」（6.4%）、「現在していないし、しようとも思わない」（14.2%）と回答した人を合わせた、現在予防・改善を実践していない人は2割強（20.6%）となっている。

図 5.17-1 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況



【性別・年齢別】

「実践して、半年以上継続している」の割合は60歳代（44.2%）で最も高くなっている。一方、「現在していないし、しようとも思わない」の割合は、20歳代（26.9%）で高くなっている。

図 5.17-2 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（年齢別・全体）

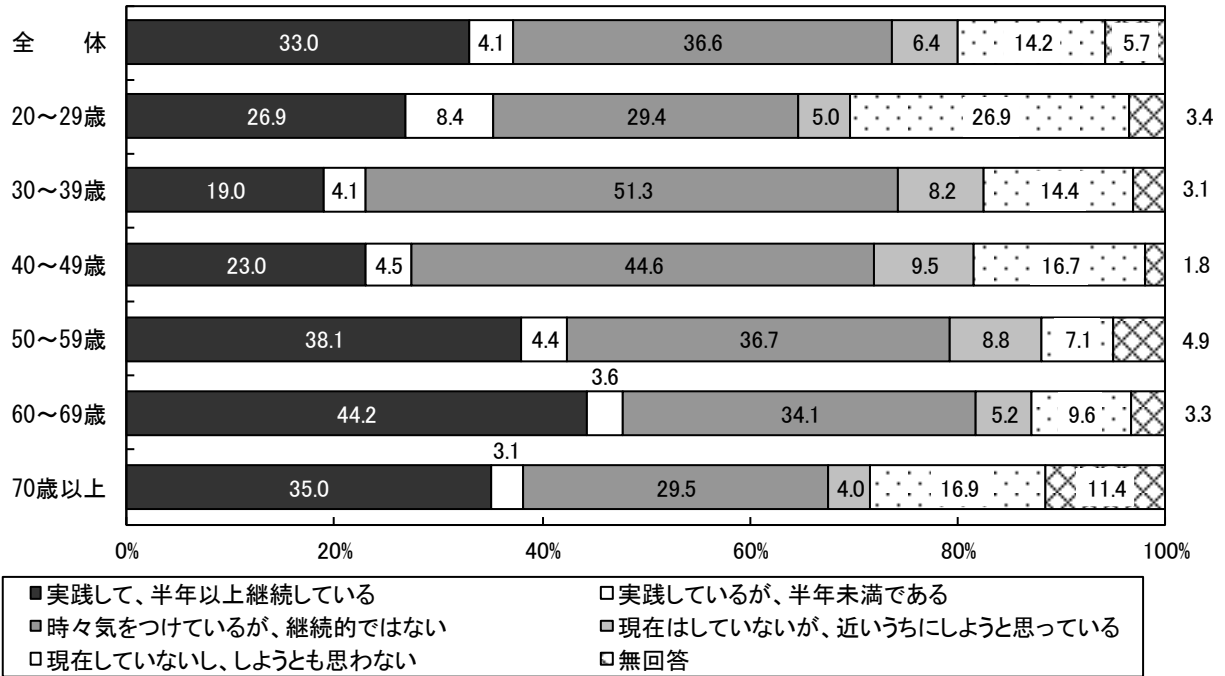
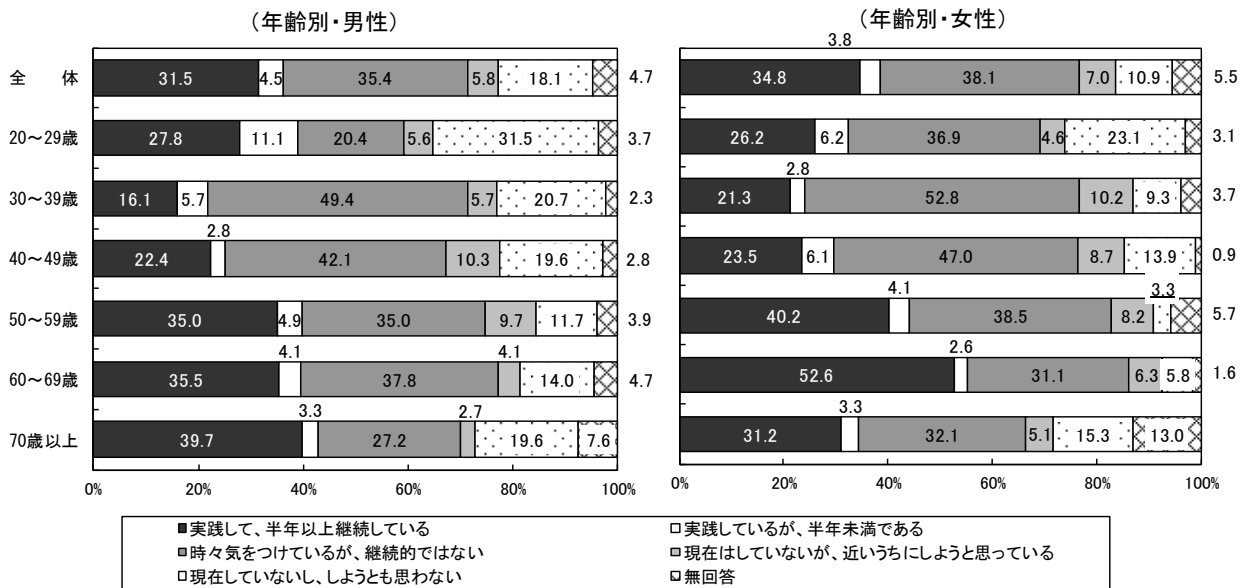


図 5.17-3 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

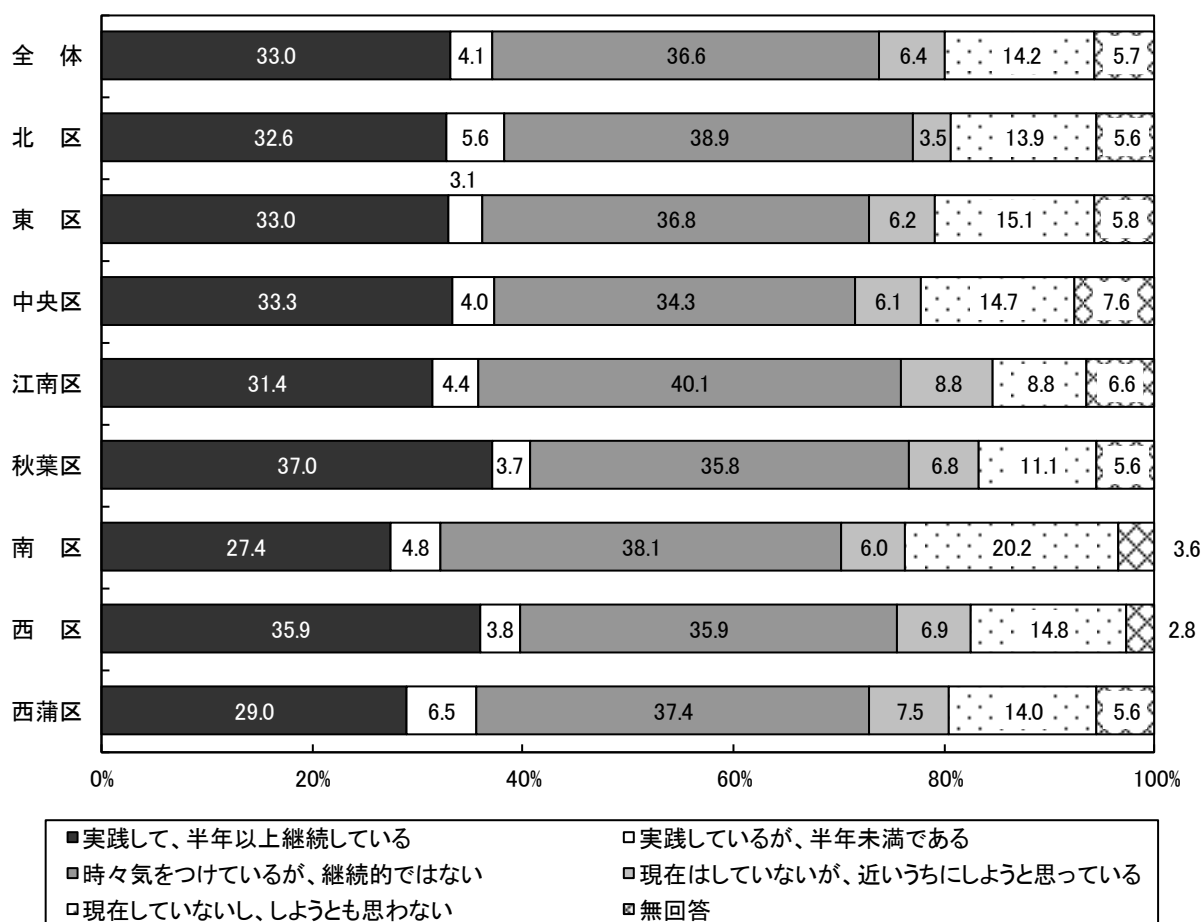
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「実践して、半年以上継続している」の割合は、秋葉区（37.0%）で4割弱と最も高くなっている。

図 5.17-4 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

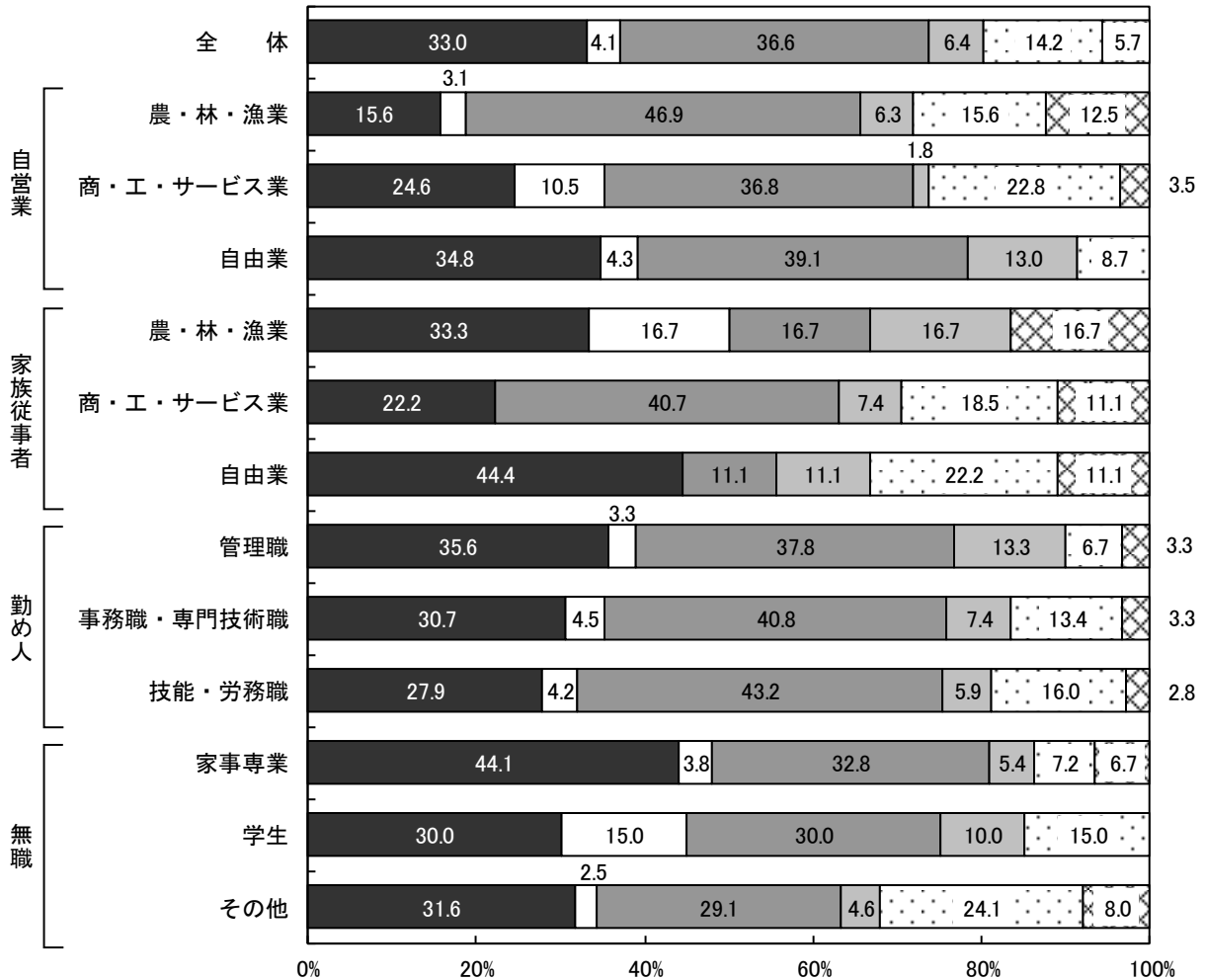
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.17-5 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（職業別）



■ 実践して、半年以上継続している
 □ 実践しているが、半年未満である
 □ 時々気をつけているが、継続的ではない
 □ 現在はいしていないが、近いうちにしようと思っている
 □ 現在していないし、しようとも思わない
 □ 無回答

全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

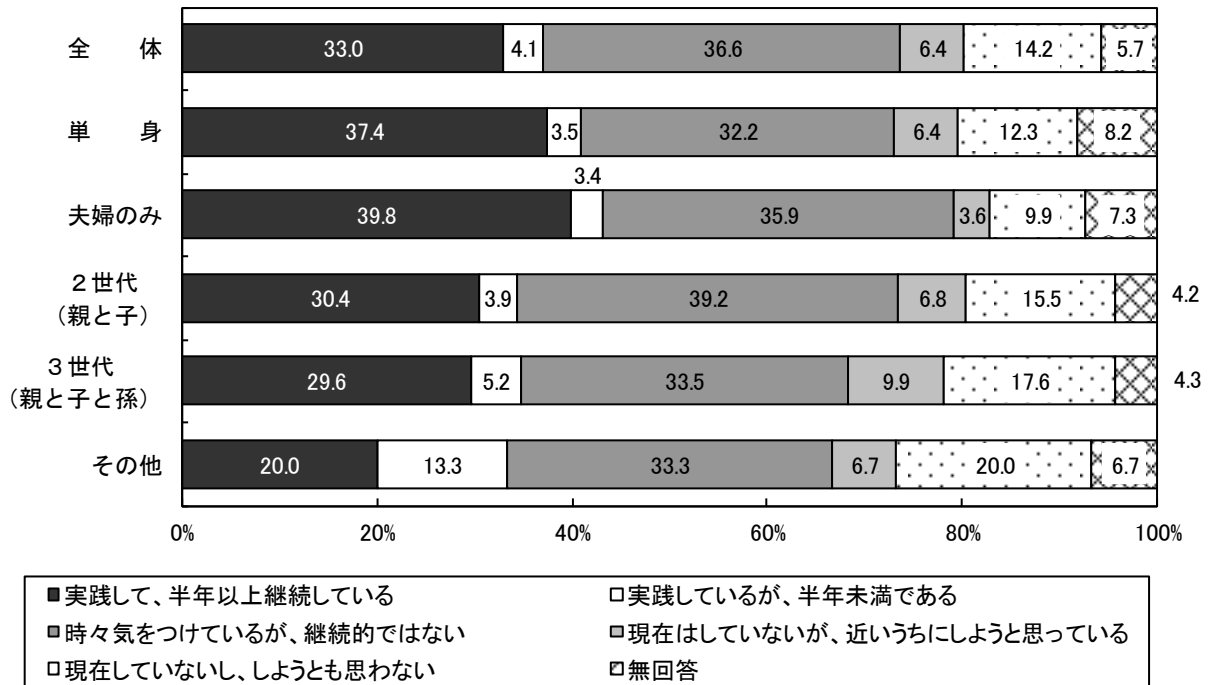
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「実践して、半年以上継続している」の割合は、夫婦のみ（39.8%）で最も高くなっている。一方、「現在していないし、しようとも思わない」の割合は、その他（20.0%）で高く、2割となっている。

図 5.17-6 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(18) メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること

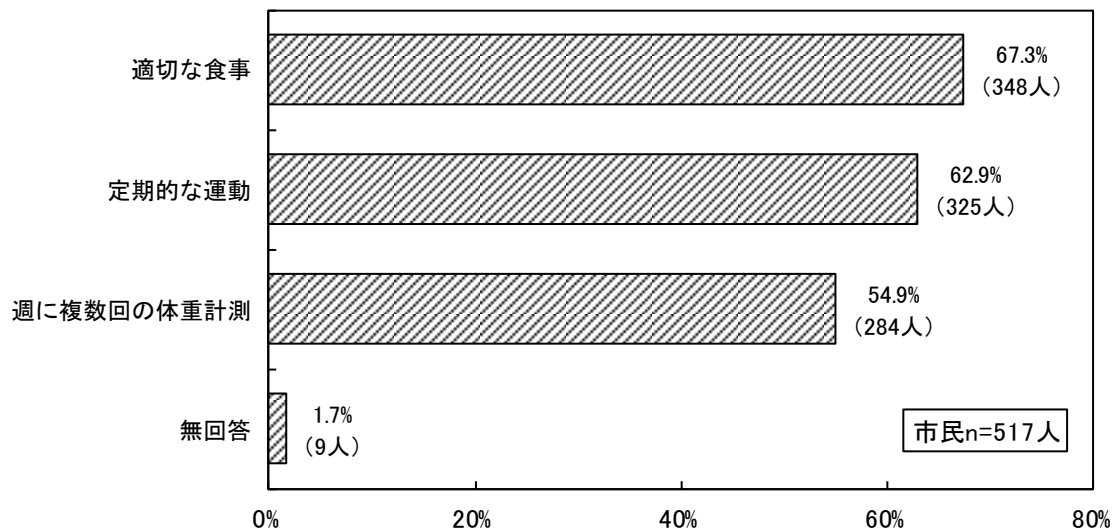
問40-1 問40で1に○を付けた方にお尋ねします。実践しているものは何ですか。(○はいくつでも)

7割弱が「適切な食事」を実践

【全体結果】

メタボリックシンドロームの予防・改善を半年以上実践している人に、具体的な実践内容を聞いたところ、「適切な食事」と回答した人の割合が7割弱(67.3%)で最も高くなっている。「定期的な運動」と回答した人は6割強(62.9%)、「週に複数回の体重計測」は5割強(54.9%)となっている。

図 5.18 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること



【性別・年齢別】

すべての年代で「適切な食事」が最も高く、20歳代は「定期的な運動」も同率で最も高くなっている。

性別では、各年代とも、「定期的な運動」は男性の方が、「週に複数回の体重計測」は女性の方が割合が高くなっている。

表 8.1 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・全体）

	対象者	適切な食事	定期的な運動	週に複数回の体重計測	無回答
計	517	67.3	62.9	54.9	1.7
20～29歳	32	59.4	59.4	46.9	0.0
30～39歳	37	81.1	56.8	59.5	0.0
40～49歳	51	64.7	62.7	45.1	0.0
50～59歳	86	65.1	55.8	57.0	2.3
60～69歳	161	67.1	66.5	61.5	1.2
70歳以上	147	67.3	66.0	51.0	3.4
年齢不明	3	100.0	33.3	33.3	0.0

対象者：人/回答：%

表 8.2 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・男性）

	対象者	適切な食事	定期的な運動	週に複数回の体重計測	無回答
計	223	66.4	70.4	46.2	1.8
20～29歳	15	80.0	73.3	26.7	0.0
30～39歳	14	71.4	85.7	57.1	0.0
40～49歳	24	50.0	75.0	33.3	0.0
50～59歳	36	66.7	55.6	52.8	2.8
60～69歳	61	57.4	73.8	50.8	1.6
70歳以上	73	75.3	69.9	45.2	2.7
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 8.3 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・女性）

	対象者	適切な食事	定期的な運動	週に複数回の体重計測	無回答
計	284	69.0	57.4	62.3	1.4
20～29歳	17	41.2	47.1	64.7	0.0
30～39歳	23	87.0	39.1	60.9	0.0
40～49歳	27	77.8	51.9	55.6	0.0
50～59歳	49	65.3	55.1	61.2	2.0
60～69歳	100	73.0	62.0	68.0	1.0
70歳以上	67	62.7	64.2	58.2	3.0
年齢不明	1	100.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

(19) 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度

問41 あなたは、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉やその意味を知っていましたか。（○は1つだけ）

「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」とは
 筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障がいが起こり、歩行や日常生活に何らかの機能低下をきたして、要介護になっていたり、要介護になる危険の高い状態を「ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ、和名：運動器症候群）」といいます。

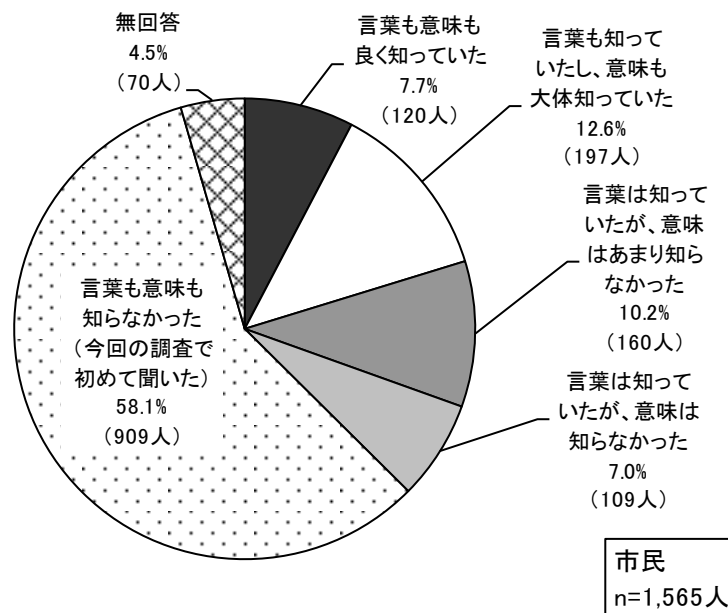
6割弱が「言葉も意味も知らなかった」と回答

【全体結果】

「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」（7.7%）、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」（12.6%）と回答した人を合わせた割合は約2割（20.3%）となっている。

一方、「言葉も意味も知らなかった（今回の調査で初めて聞いた）」と回答した人の割合が、6割弱（58.1%）と高くなっている。

図 5.19-1 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、60歳代（25.0%）が最も高くなっている。

性別では、各年代とも「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、女性の方が高くなっている。

図 5.19-2 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度

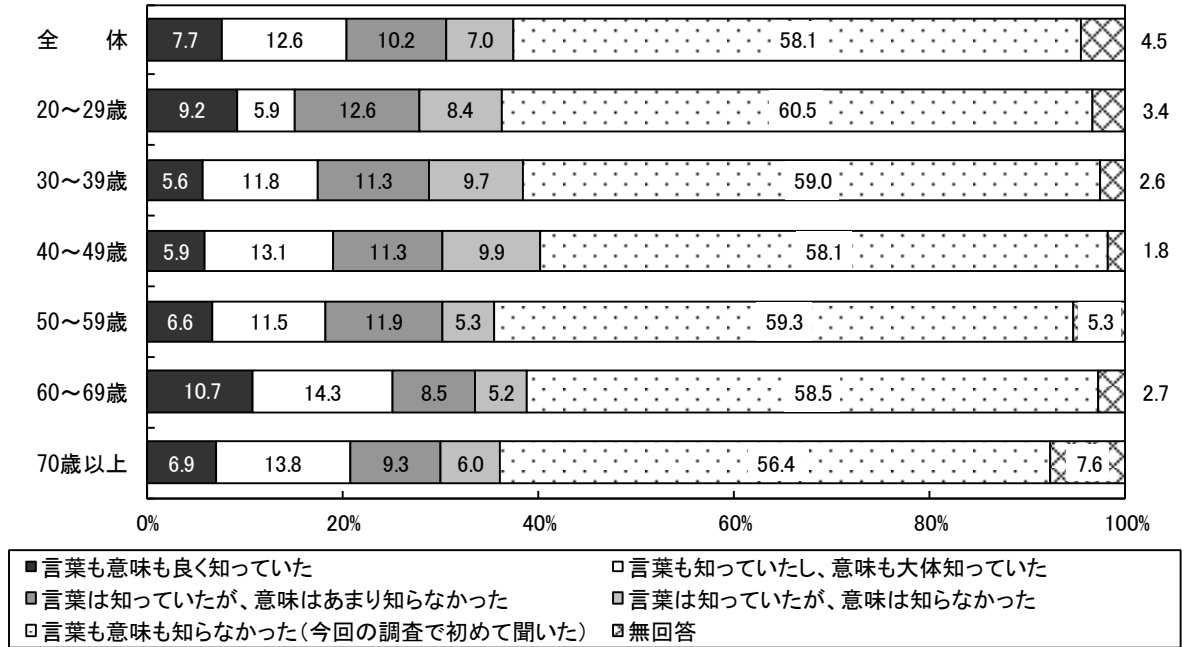
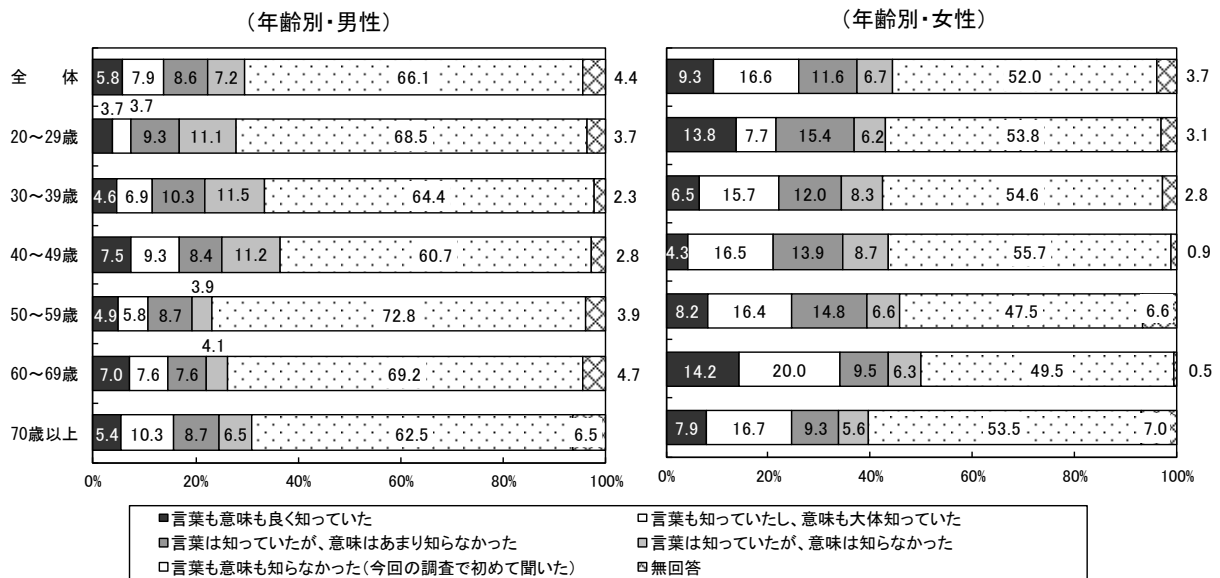


図 5.19-3 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

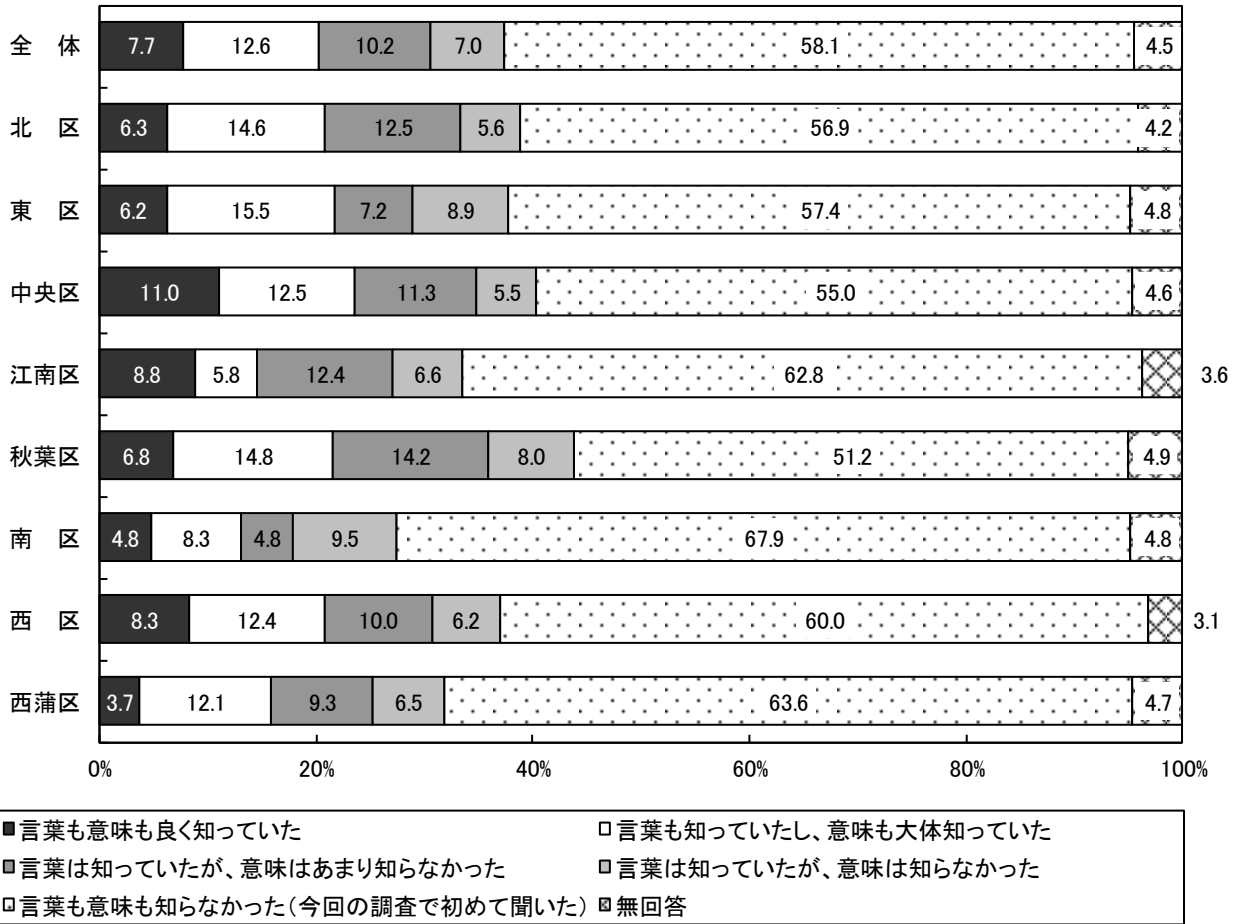
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、中央区（23.5%）が最も高くなっている。

図 5.19-4 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

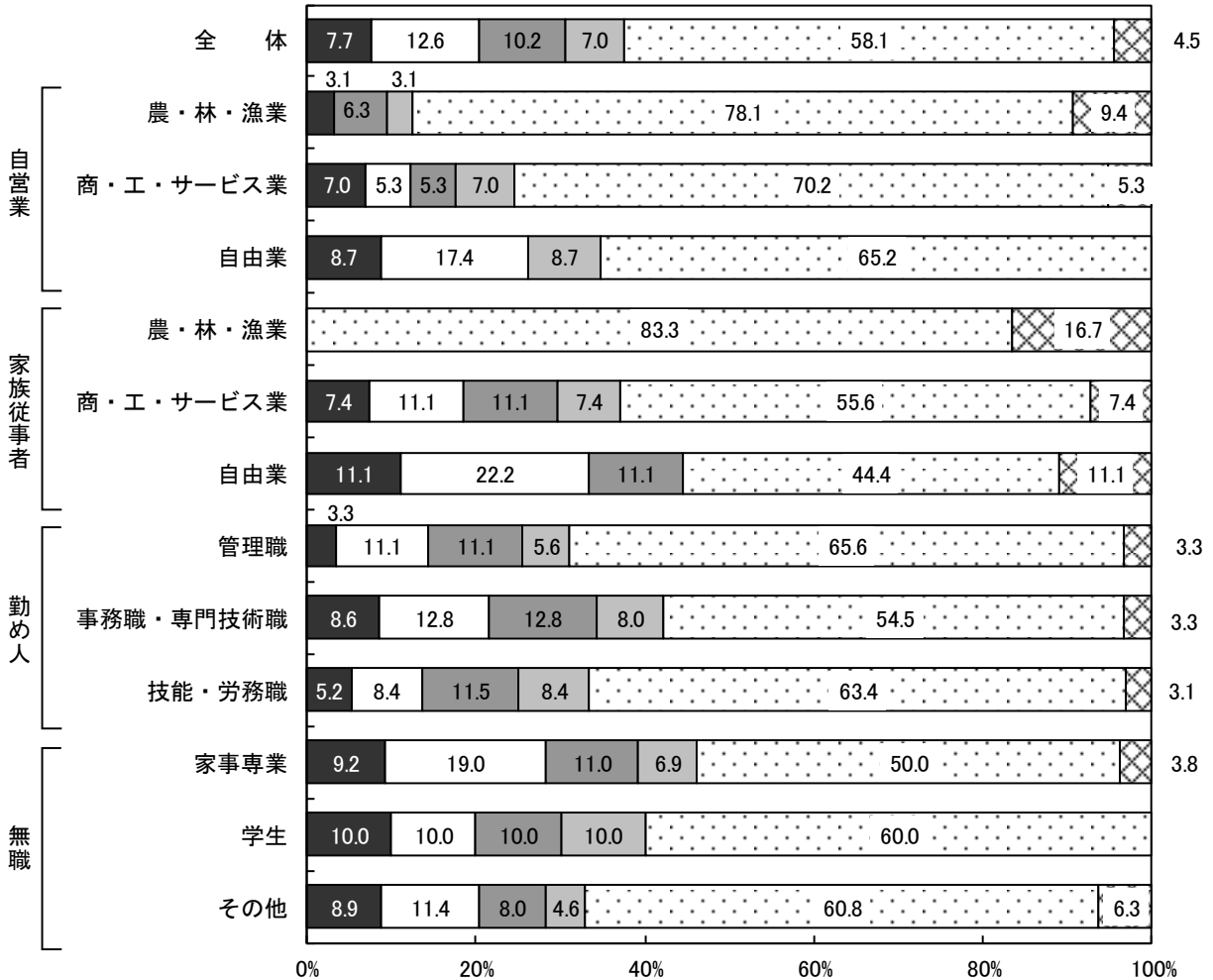
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.19-5 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度（職業別）



言葉も意味も良く知っていた 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた
言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
言葉も意味も知らなかった(今回の調査で初めて聞いた) 無回答

全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(20) 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況

問42 あなたは過去1年間に市や職場などで行われる健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けましたか。（受けたもの全てに○）

※含まれない健（検）診…がんのみの検診、妊産婦健診、病院・診療所で行う診療としての検査

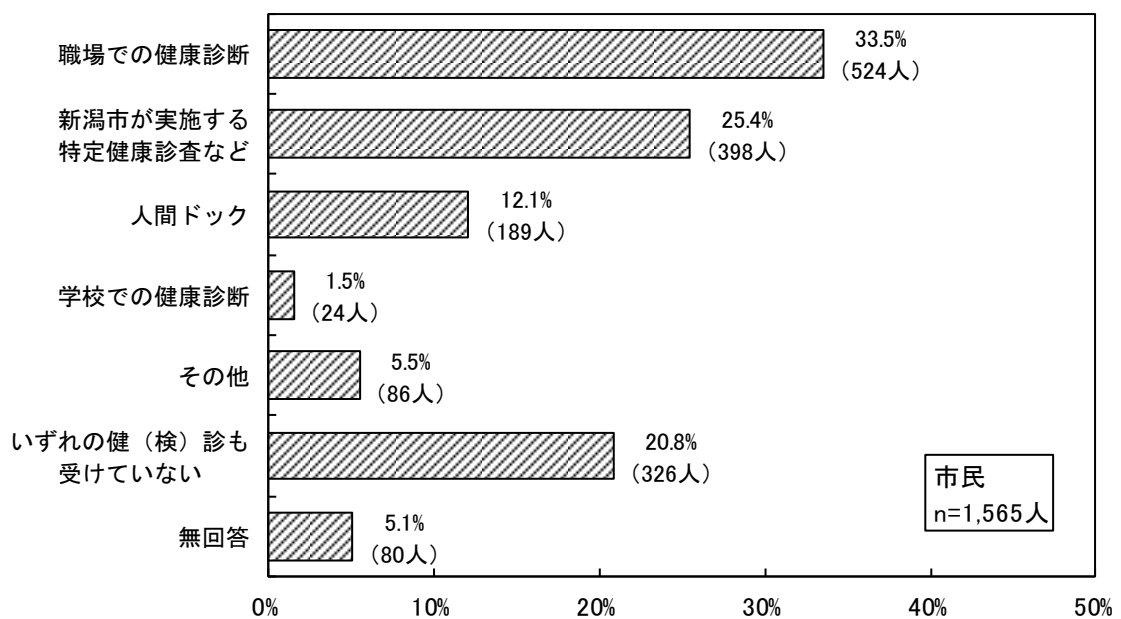
3割強が「職場での健康診断」を受診

【全体結果】

健（検）診の機会は、「職場での健康診断」と回答した人が3割強（33.5%）となっている。以下「新潟市が実施する特定健康診査など」（25.4%）、「人間ドック」（12.1%）が続いている。

一方、「いずれの健（検）診も受けていない」と回答した人は2割強（20.8%）となっている。

図 5.20 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況



【性別・年齢別】

50歳代以下では「職場での健康診断」と回答した人が最も多く、60歳以上では「新潟市が実施する特定健康診査など」と回答した人が多くなっている。

性別では、各年代とも、「人間ドック」の割合が、女性より男性の方が高くなっている。また、30歳以上では「職場での健康診断」の割合は男性の方が高く、60歳代以下では「新潟市が実施する特定健康診査など」の割合は女性の方が高くなっている。

表 9.1 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況（年齢別・全体）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	1565	33.5	25.4	12.1	1.5	5.5	20.8	5.1
20～29歳	119	60.5	3.4	2.5	14.3	0.0	17.6	3.4
30～39歳	195	55.9	3.1	5.6	1.0	2.6	31.8	2.1
40～49歳	222	59.9	13.5	13.5	0.0	2.7	13.5	2.3
50～59歳	226	50.4	9.7	25.7	0.0	0.9	13.7	5.3
60～69歳	364	22.0	32.4	16.2	0.8	6.3	22.8	3.6
70歳以上	420	2.9	51.4	6.4	0.5	11.7	21.9	9.0
年齢不明	19	21.1	10.5	5.3	0.0	5.3	36.8	21.1

対象者：人/回答：%

表 9.2 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況（年齢別・男性）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	707	39.3	19.8	16.1	1.7	4.2	18.5	4.2
20～29歳	54	57.4	0.0	3.7	16.7	0.0	18.5	3.7
30～39歳	87	69.0	2.3	8.0	0.0	1.1	18.4	2.3
40～49歳	107	64.5	6.5	19.6	0.0	1.9	10.3	2.8
50～59歳	103	52.4	3.9	33.0	0.0	1.0	9.7	4.9
60～69歳	172	32.0	18.0	20.3	0.6	4.7	23.8	4.7
70歳以上	184	4.9	52.2	8.2	1.1	9.8	23.4	5.4
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 9.3 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況（年齢別・女性）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	817	29.6	30.4	8.8	1.5	6.5	22.4	4.9
20～29歳	65	63.1	6.2	1.5	12.3	0.0	16.9	3.1
30～39歳	108	45.4	3.7	3.7	1.9	3.7	42.6	1.9
40～49歳	115	55.7	20.0	7.8	0.0	3.5	16.5	1.7
50～59歳	122	49.2	14.8	18.9	0.0	0.8	17.2	5.7
60～69歳	190	13.2	45.8	12.6	1.1	7.9	22.1	1.6
70歳以上	215	1.4	51.6	5.1	0.0	13.5	20.5	10.7
年齢不明	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

対象者：人/回答：%

(21) 最近1年間のがん検診の受診状況

問43 あなたは過去1年間（子宮頸がんまたは乳がん検診は過去2年間）にがん検診を受けましたか。
（受けたもの全てに○）

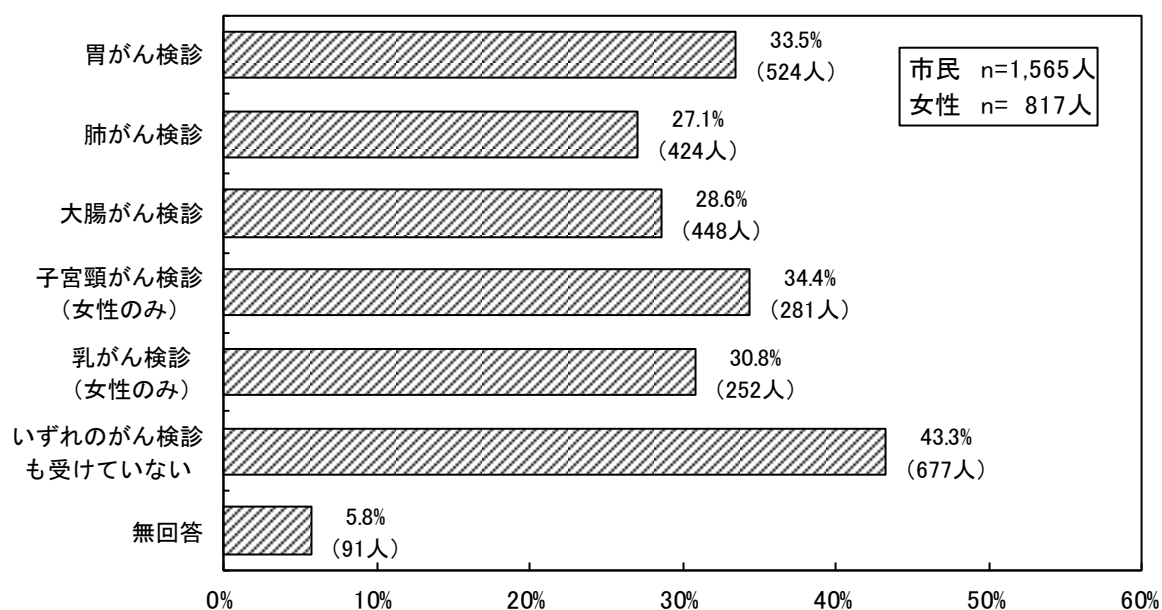
4割強が「いずれのがん検診も受けていない」と回答

【全体結果】

「いずれのがん検診も受けていない」と回答した人が4割強（43.3%）となっている。

一方、受診したがん検診については、「胃がん検診」の回答が最も多く、3割強（33.5%）となっている。また、女性のみが対象の「子宮頸がん検診」（34.4%）、「乳がん検診」（30.8%）は3割強となっている。

図 5.21 最近1年間のがん検診の受診状況



【性別・年齢別】

「胃がん検診」「肺がん検診」「大腸がん検診」の割合は、60歳代で最も高くなっている。

女性が対象の「子宮頸がん検診」の割合は、30歳代から50歳代で高く、5割前後となっている。「乳がん検診」の割合は、40歳代から50歳代で5割前後となっている。

表 10.1 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・全体）

	対象者	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	いずれのがん検診も受けていない	無回答
計	1565	33.5	27.1	28.6	34.4	30.8	43.3	5.8
20～29歳	119	0.8	3.4	0.0	41.5	4.6	68.9	4.2
30～39歳	195	7.7	4.6	6.7	48.1	14.8	61.0	3.1
40～49歳	222	28.4	22.1	24.3	47.8	48.7	48.2	3.2
50～59歳	226	42.5	33.2	34.1	53.3	51.6	34.5	3.1
60～69歳	364	47.0	40.1	42.0	30.0	39.5	34.6	3.6
70歳以上	420	41.2	33.1	34.8	10.7	17.2	37.1	11.7
年齢不明	19	26.3	10.5	26.3	100.0	100.0	47.4	21.1

対象者：人/回答：%

表 10.2 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・男性）

	対象者	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	いずれのがん検診も受けていない	無回答
計	707	33.4	26.2	27.4	-	-	50.9	8.1
20～29歳	54	1.9	3.7	0.0	-	-	88.9	5.6
30～39歳	87	11.5	6.9	10.3	-	-	79.3	3.4
40～49歳	107	28.0	18.7	23.4	-	-	61.7	3.7
50～59歳	103	44.7	32.0	30.1	-	-	43.7	4.9
60～69歳	172	42.4	34.9	39.5	-	-	41.3	5.2
70歳以上	184	41.3	34.8	33.2	-	-	33.2	17.9
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 10.3 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・女性）

	対象者	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	いずれのがん検診も受けていない	無回答
計	817	34.3	28.4	29.7	34.4	30.8	36.8	2.8
20～29歳	65	0.0	3.1	0.0	41.5	4.6	52.3	3.1
30～39歳	108	4.6	2.8	3.7	48.1	14.8	46.3	2.8
40～49歳	115	28.7	25.2	25.2	47.8	48.7	35.7	2.6
50～59歳	122	40.2	33.6	36.9	53.3	51.6	27.0	1.6
60～69歳	190	51.6	45.3	44.7	30.0	39.5	28.9	1.1
70歳以上	215	43.3	32.6	36.3	10.7	17.2	40.9	5.1
年齢不明	2	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

(22) がん検診の検診場所

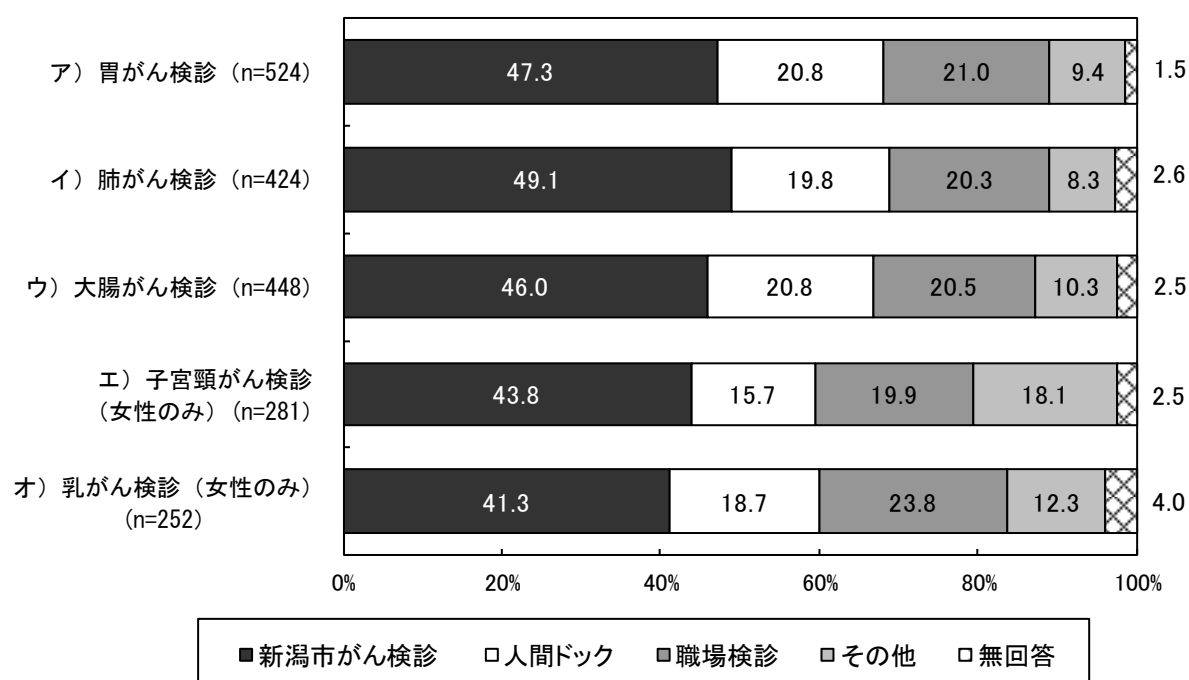
問44 がん検診を受けた方にお尋ねします。それぞれどこで検診を受けましたか。
(がん検診ごとに○は1つだけ) ア～ウは全員、エ、オは女性のみお答えください。

検診場所は「新潟市がん検診」が最も多い

【全体結果】

いずれのがん検診も「新潟市がん検診」と回答した人が最も多くなっており、なかでも「肺がん検診」(49.1%)の割合が最も高く、以下「胃がん検診」(47.3%)、「大腸がん検診」(46.0%)と続き、いずれも半数弱となっている。

図 5.22-1 がん検診の検診場所



	全体	新潟市がん検診	人間ドック	職場検診	その他	無回答
ア) 胃がん検診	524	248	109	110	49	8
イ) 肺がん検診	424	208	84	86	35	11
ウ) 大腸がん検診	448	206	93	92	46	11
エ) 子宮頸がん検診 (女性のみ)	281	123	44	56	51	7
オ) 乳がん検診 (女性のみ)	252	104	47	60	31	10

(人)

ア) 胃がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上（72.3%）で高く7割を超えている。「人間ドック」の割合は、50歳代（39.6%）で最も高く約4割となっている。「職場検診」は30歳代（60.0%）で6割を占めている。

図 5.22-2 がん検診の検診場所（年齢別・全体）

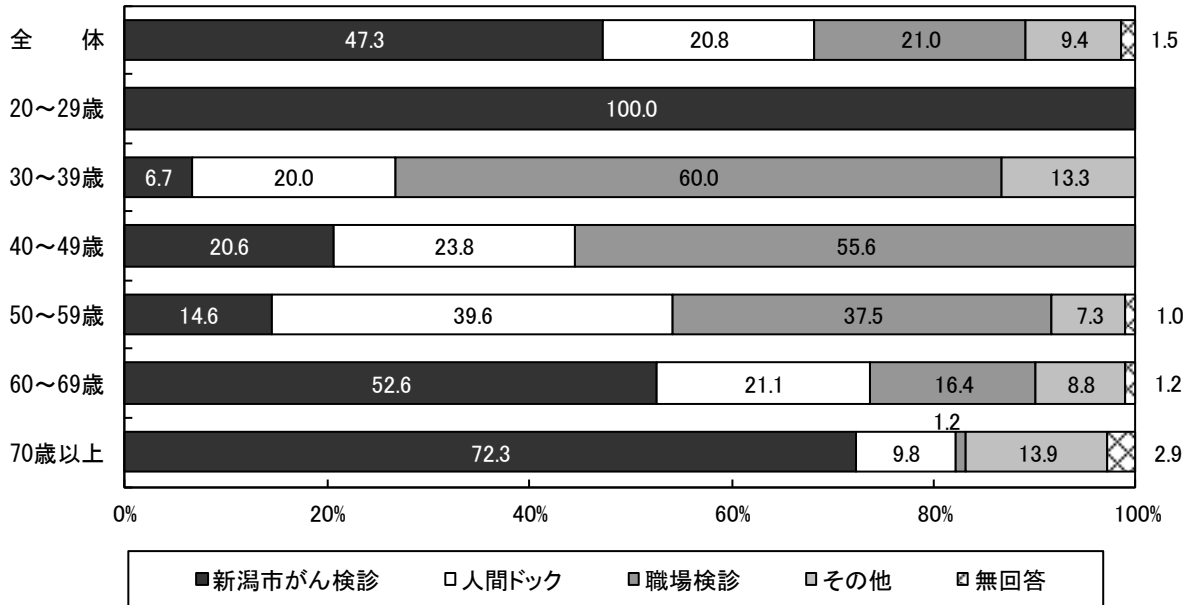
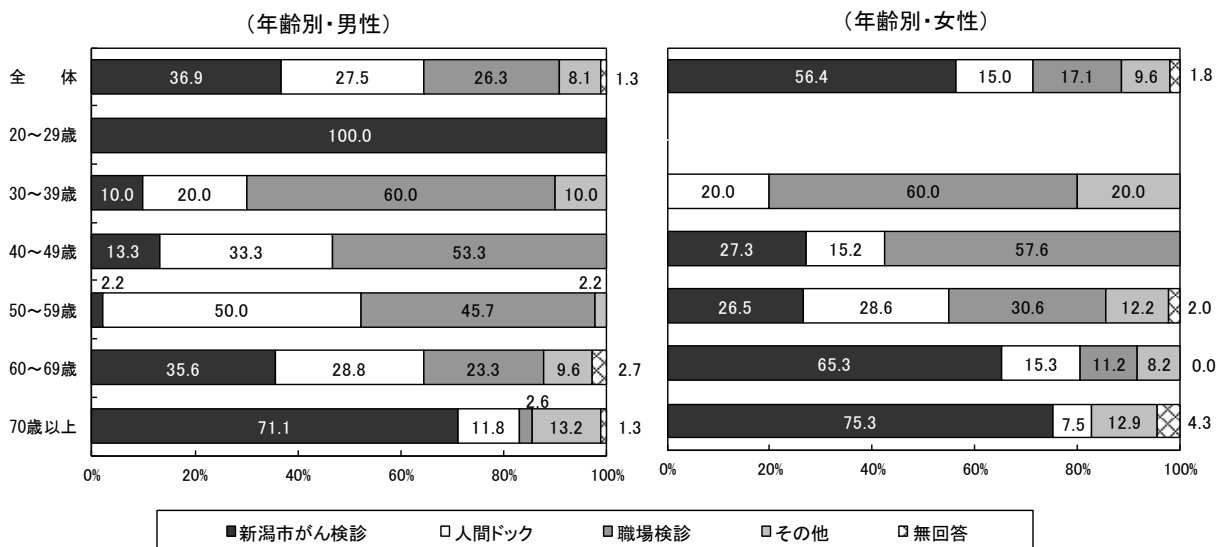


図 5.22-3 がん検診の検診場所



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	524	1	15	63	96	171	173	5
男性	236	1	10	30	46	73	76	0
女性	280	0	5	33	49	98	93	2

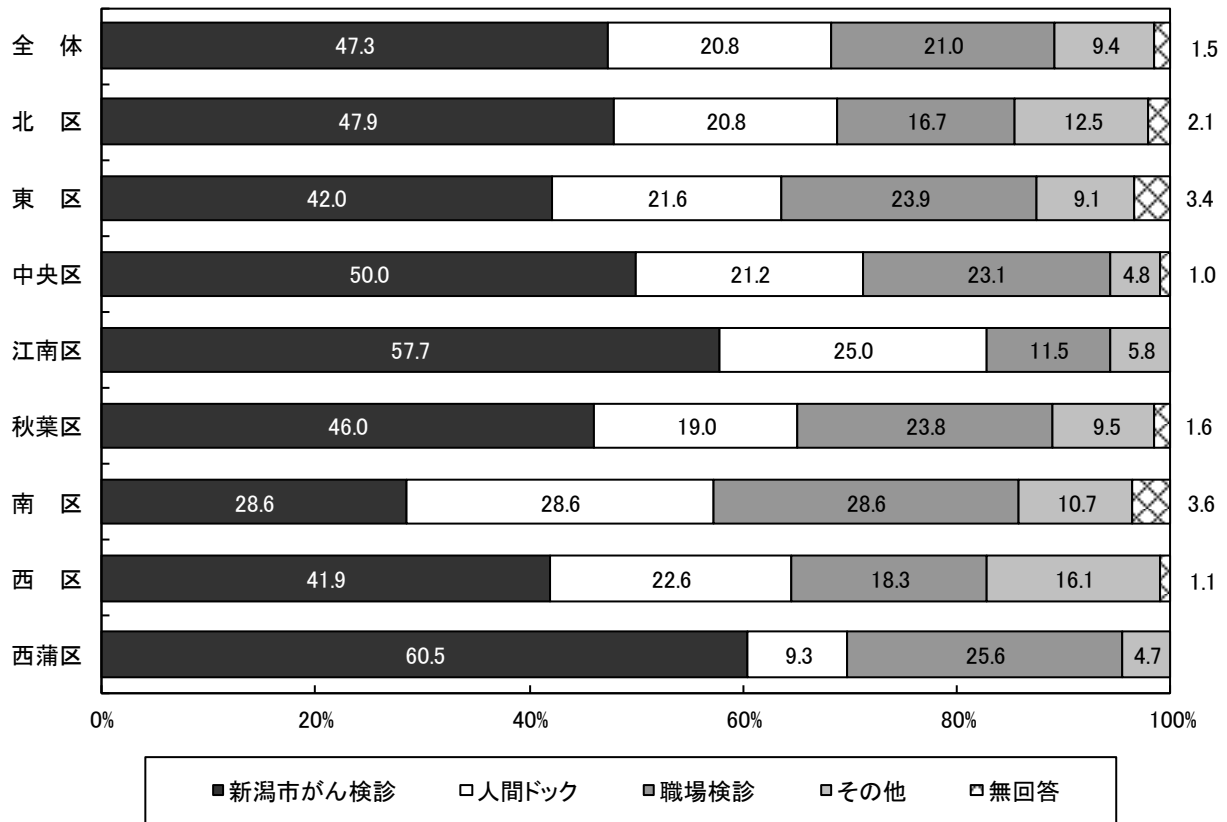
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

すべての地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高く、西蒲区（60.5%）では6割を超えている。

図 5.22-4 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
524	48	88	104	52	63	28	93	43	5

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

イ) 肺がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上（71.9%）で最も高く、7割を超えている。「職場検診」は40歳代（53.1%）で最も高く、5割を超えている。

図 5. 22-5 がん検診の検診場所（年齢別・全体）

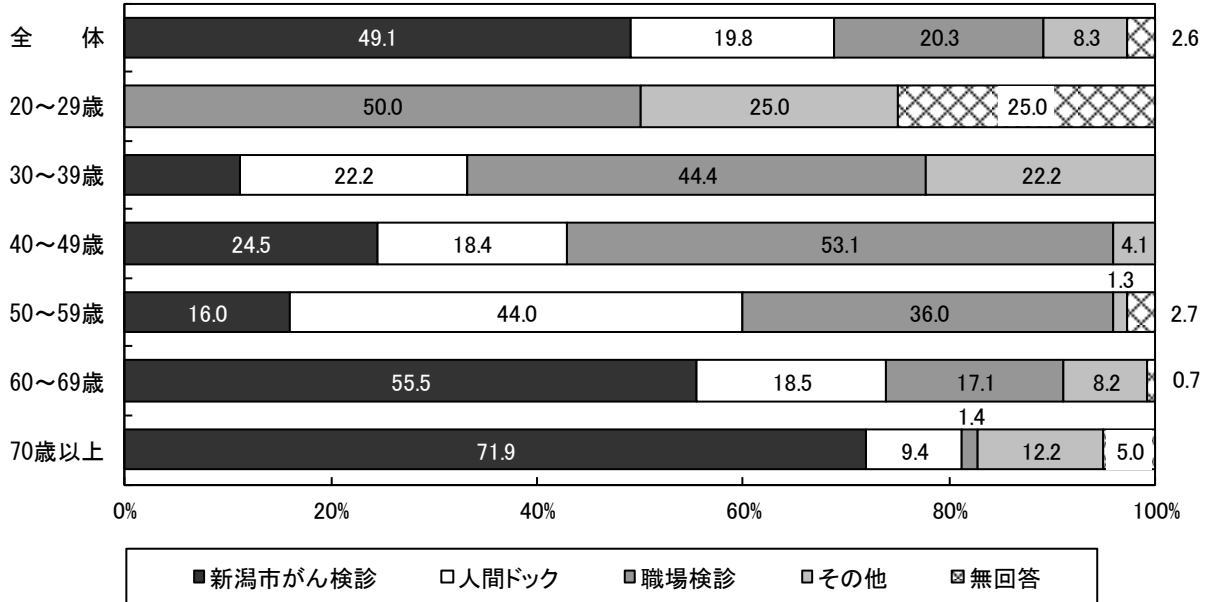
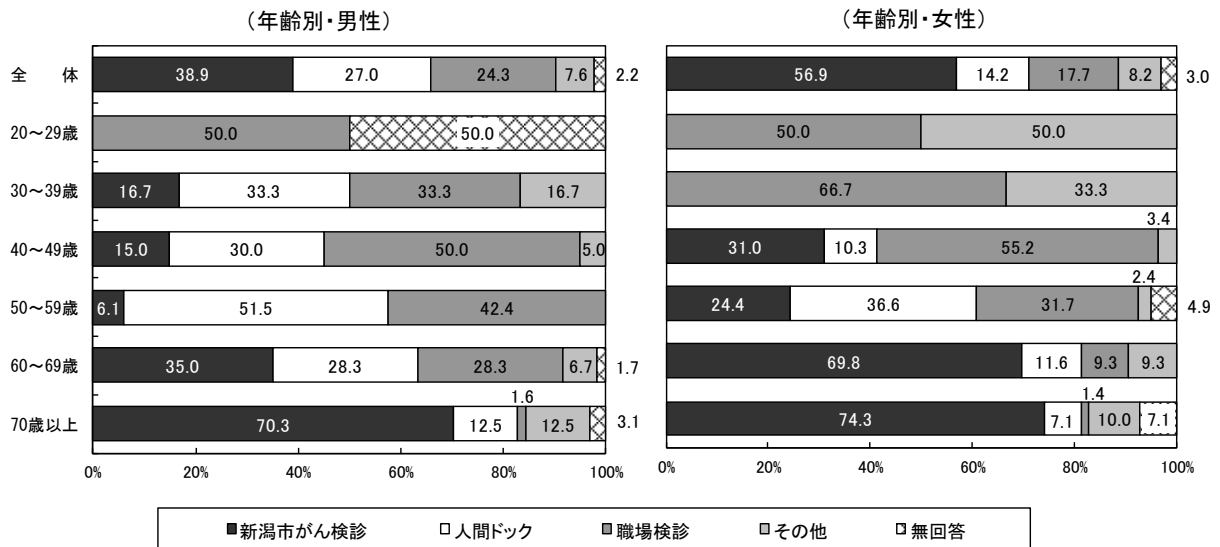


図 5. 22-6 がん検診の検診場所



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全 体	424	4	9	49	75	146	139	2
男 性	185	2	6	20	33	60	64	0
女 性	232	2	3	29	41	86	70	1

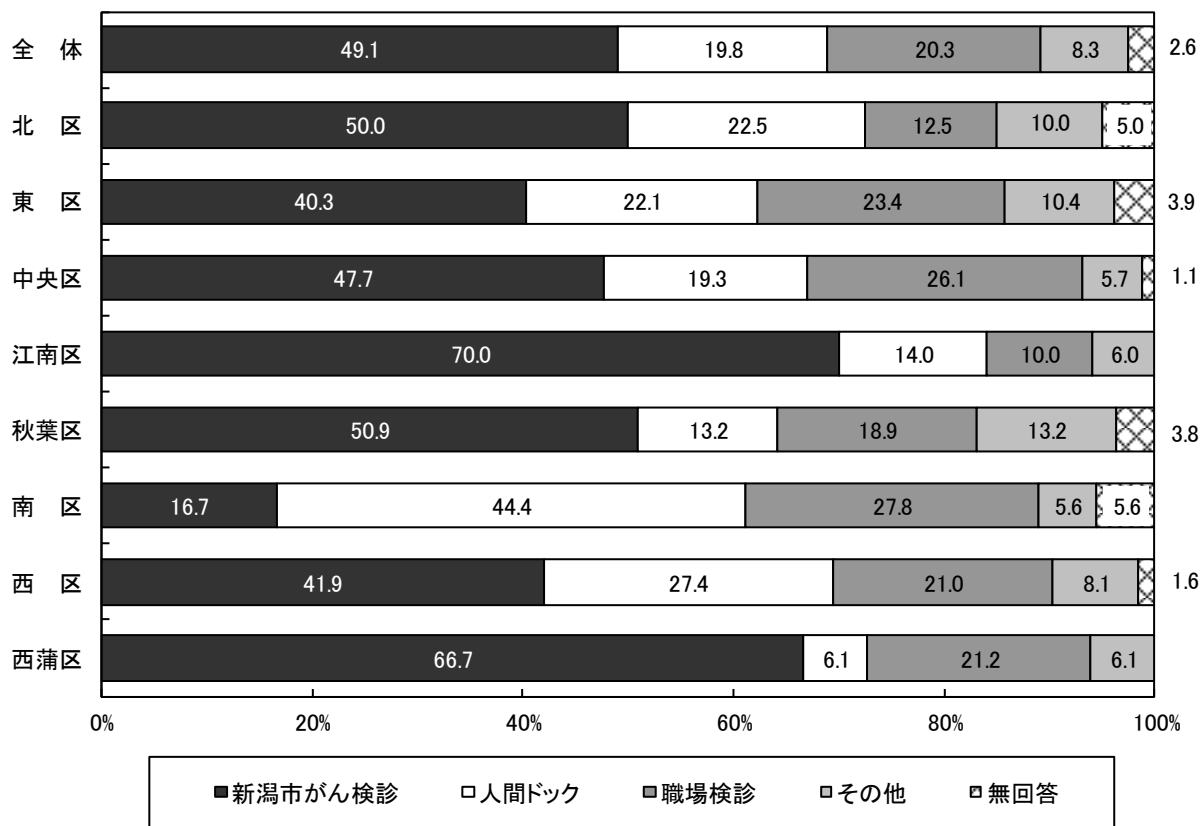
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

すべての地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高く、江南区では7割となっている。

図 5. 22-7 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
424	40	77	88	50	53	18	62	33	3

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

ウ) 大腸がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上（73.3%）で最も高く7割強を超えている。「職場検診」は、40歳代（55.6%）で最も高くなっている。

図 5. 22-8 がん検診の検診場所（年齢別・全体）

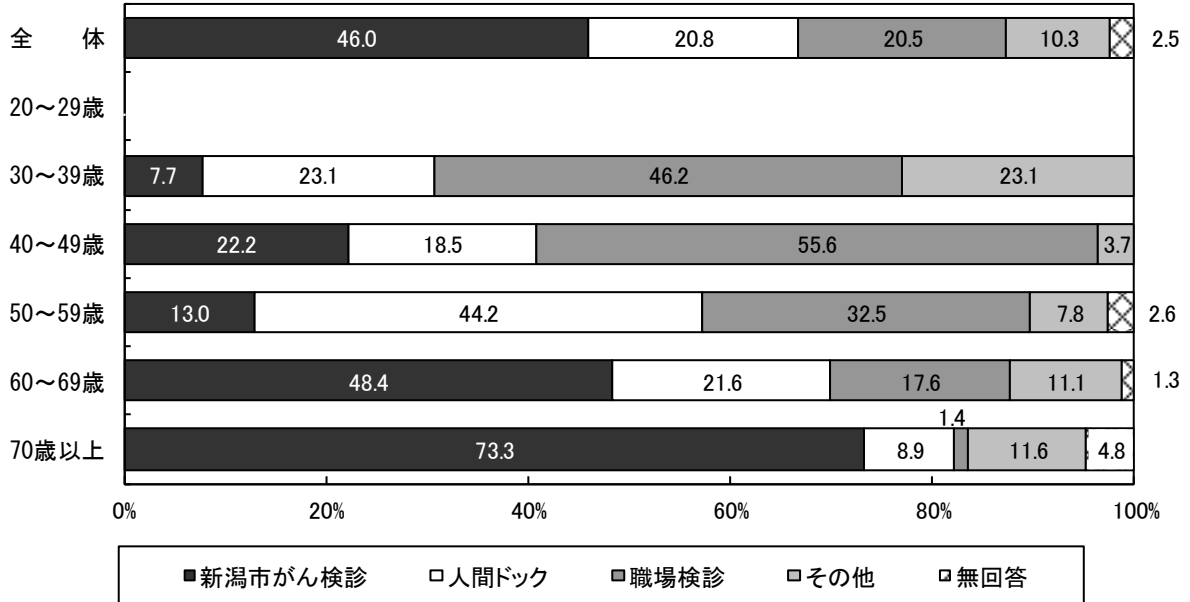
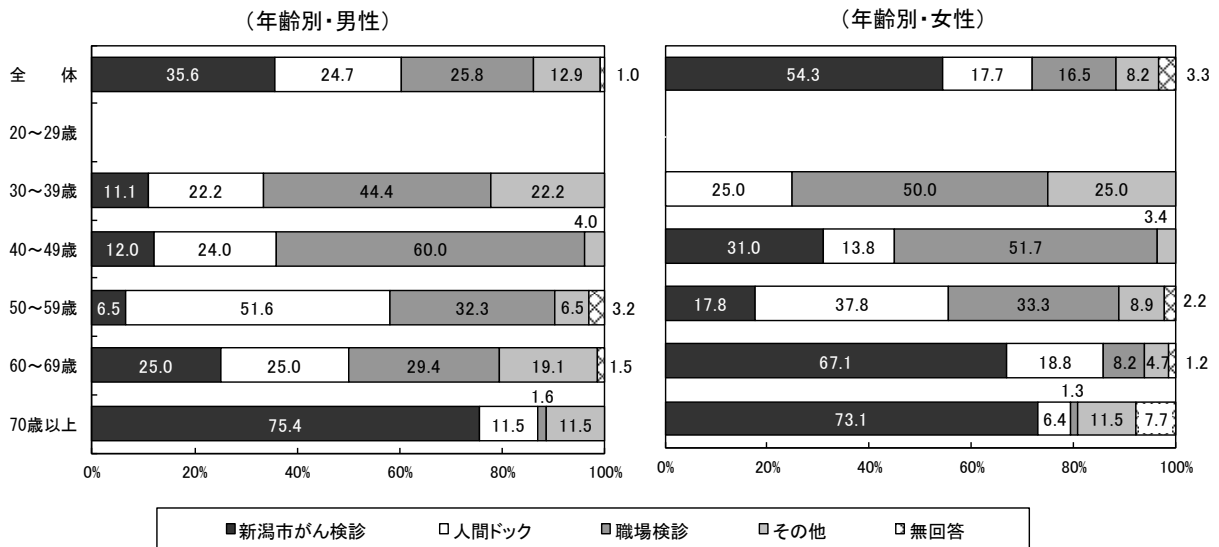


図 5. 22-9 がん検診の検診場所



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	448	0	13	54	77	153	146	5
男性	194	0	9	25	31	68	61	0
女性	243	0	4	29	45	85	78	2

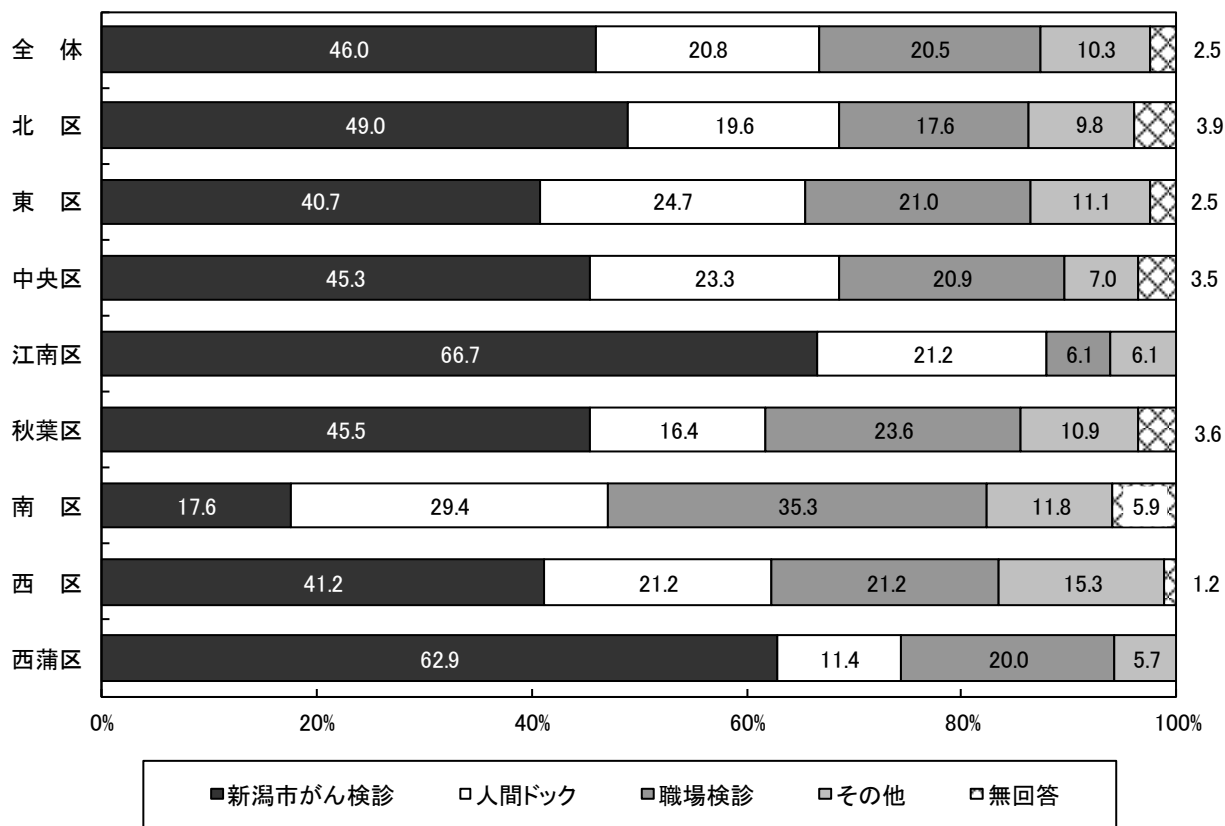
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

全ての地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高く、江南区では7割弱となっている。

図 5. 22-10 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
448	51	81	86	33	55	17	85	35	5

(人)

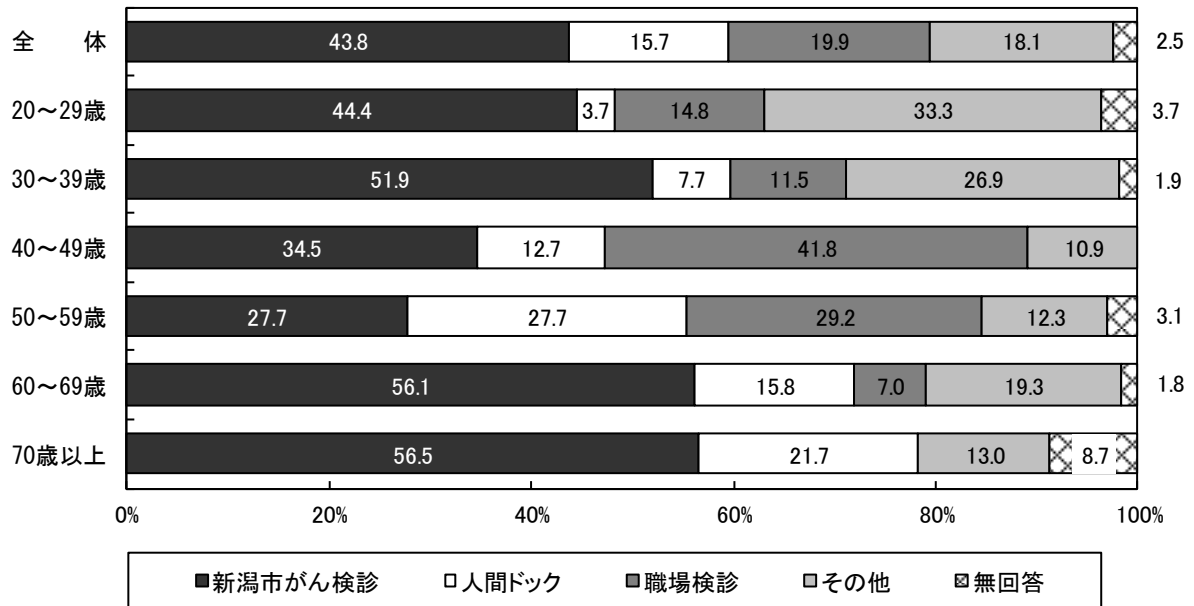
※地区不明者のグラフは省略した。

エ) 子宮頸がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、60歳代以上で高く、5割を超えている。

図 5.22-11 がん検診の検診場所（年齢別・全体）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	281	27	52	55	65	57	23	2

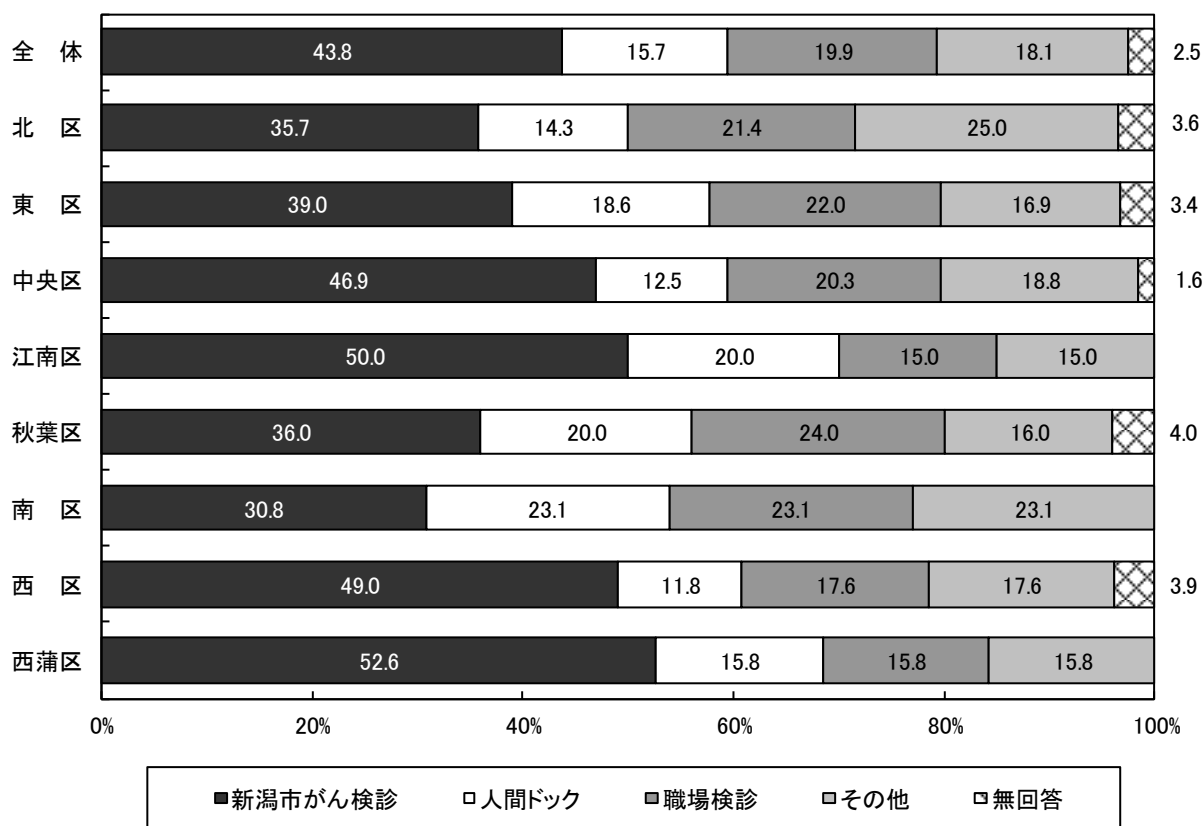
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

すべての地区で「新潟市がん検診」と回答した人が最も多く、西蒲区（52.6%）、江南区（50.0%）では5割を超えている。

図 5.22-12 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
281	28	59	64	20	25	13	51	19	2

(人)

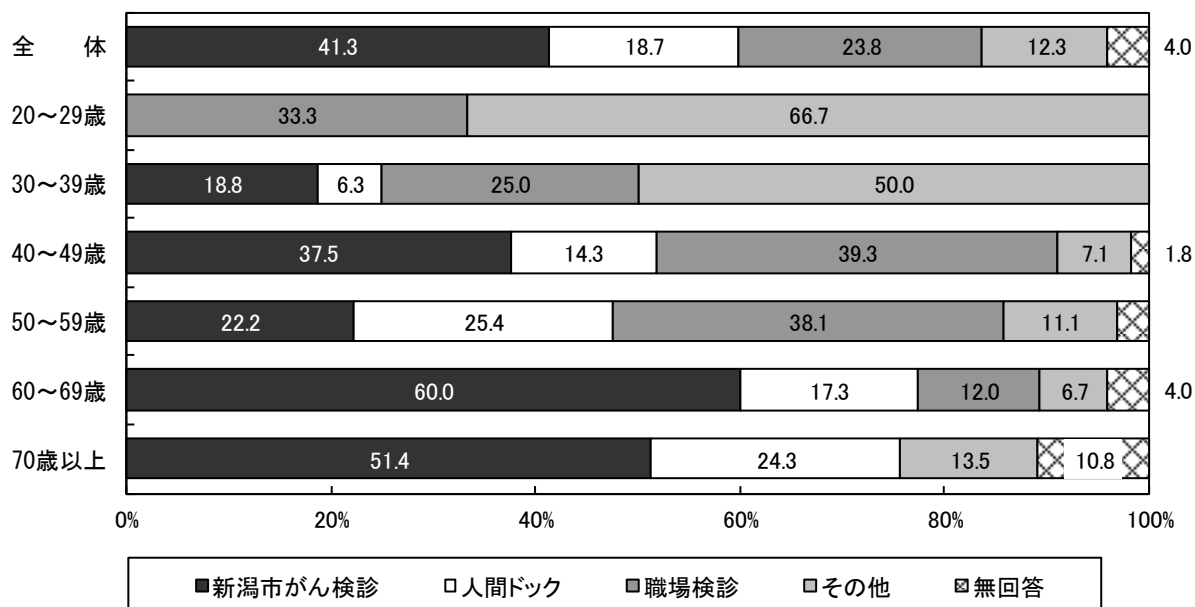
※地区不明者のグラフは省略した。

オ) 乳がん検診

【性別・年齢別】

「その他」を除き、50歳代以下は「職場検診」の割合が最も高くなっている。60歳以上では「新潟市がん検診」の割合が最も高くなっている。

図 5.22-13 がん検診の検診場所（年齢別・全体）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全 体	252	3	16	56	63	75	37	2

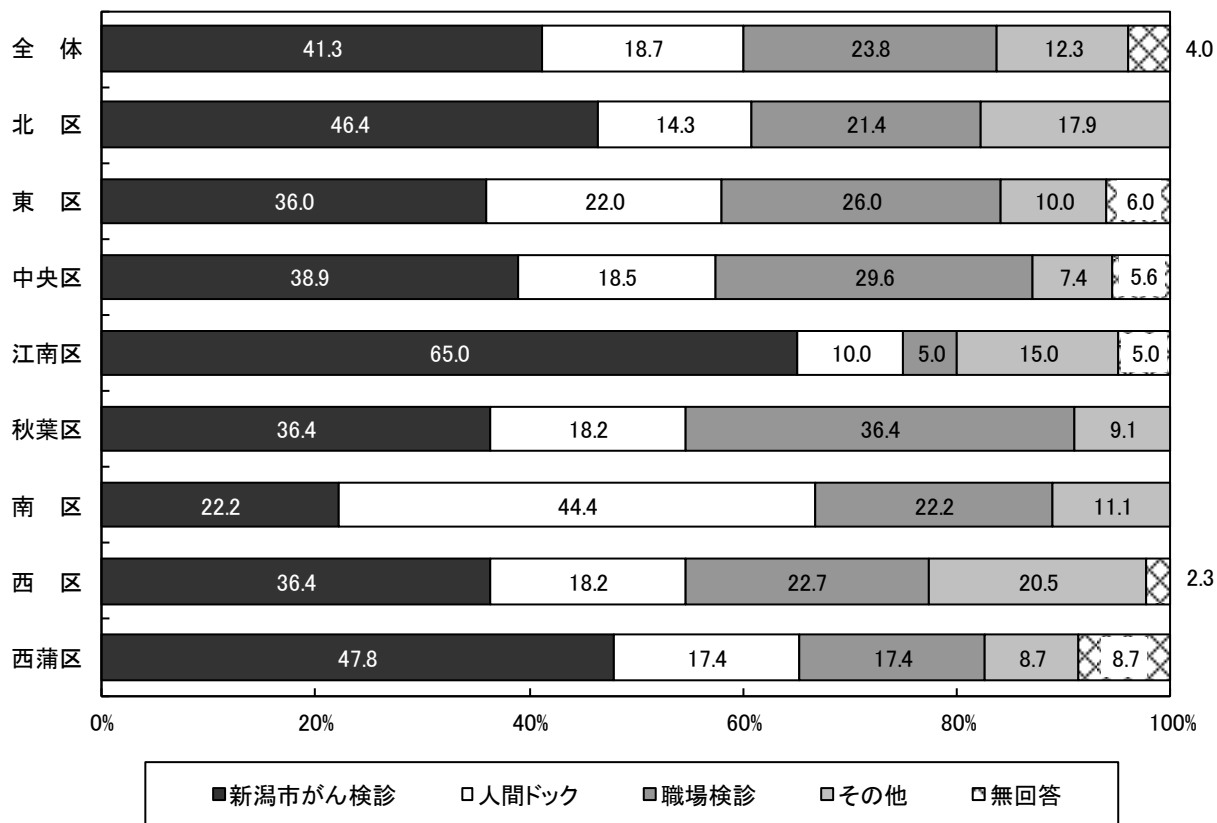
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

秋葉区では「新潟市がん検診」と「職場検診」と回答した人の割合が同率で最も高く、南区では「人間ドック」と回答した人の割合が最も高くなっている。その他の地区では「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高くなっている。

図 5. 22-14 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
252	28	50	54	20	22	9	44	23	2

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

(23) がん検診を受けなかった主な理由

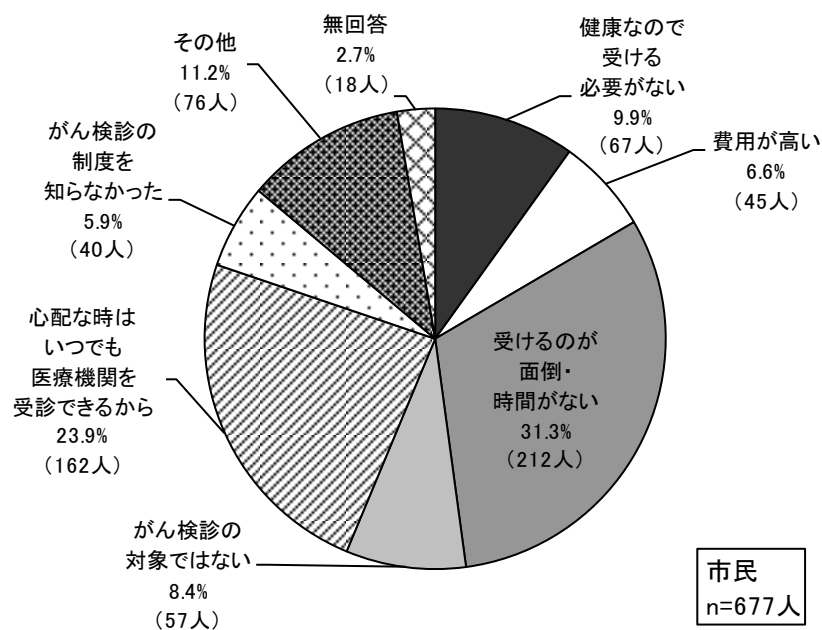
問45 問43で「6 いずれのがん検診も受けていない」に○を付けた方にお尋ねします。
がん検診を受けなかった主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

3割強が「受けるのが面倒・時間がない」と回答

【全体結果】

がん検診を受けなかった主な理由は、「受けるのが面倒・時間がない」(31.3%)と回答した人が最も多く、以下「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」(23.9%)、「健康なので受ける必要がない」(9.9%)、「がん検診の対象ではない」(8.4%)と続いている。

図 5.23-1 がん検診を受けなかった主な理由



【性別・年齢別】

50歳代以下は「受けるのが面倒・時間がない」、60歳代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の回答が、それぞれ最も多くなっている。

図 5.23-2 がん検診を受けなかった主な理由（年齢別・全体）

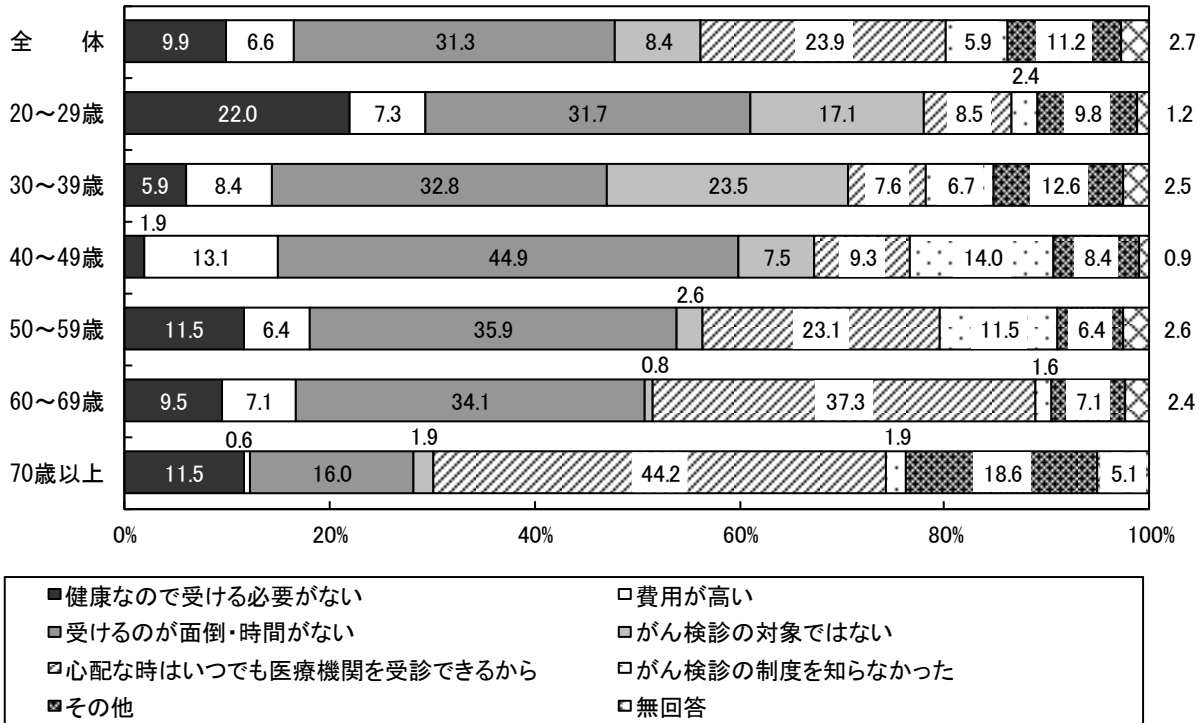
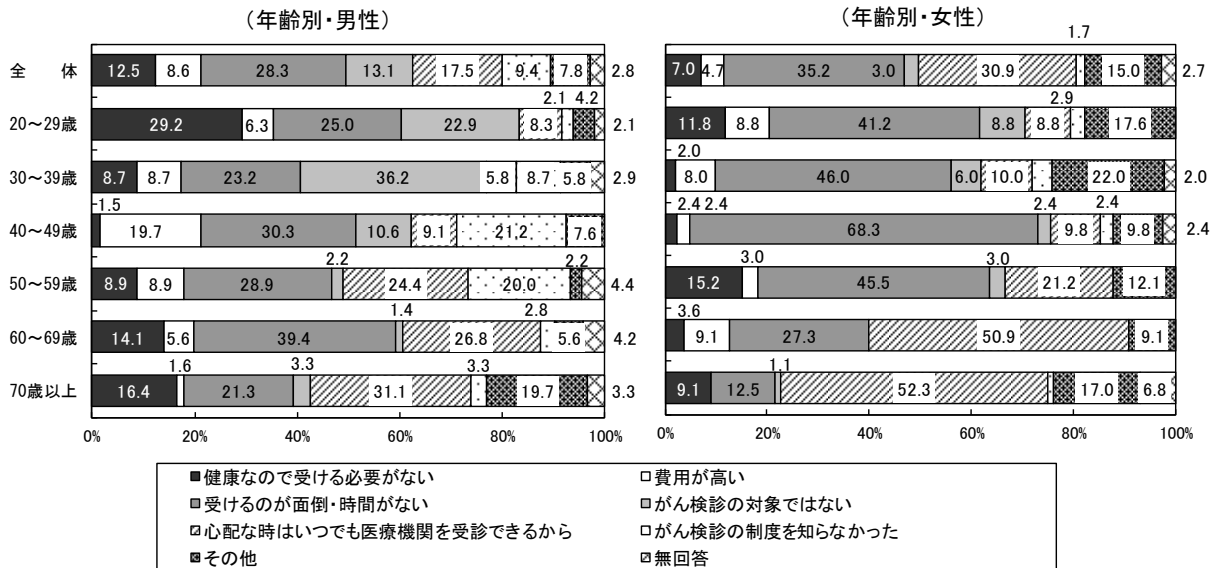


図 5.23-3 がん検診を受けなかった主な理由



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	677	82	119	107	78	126	156	9
男性	360	48	69	66	45	71	61	0
女性	301	34	50	41	33	55	88	0

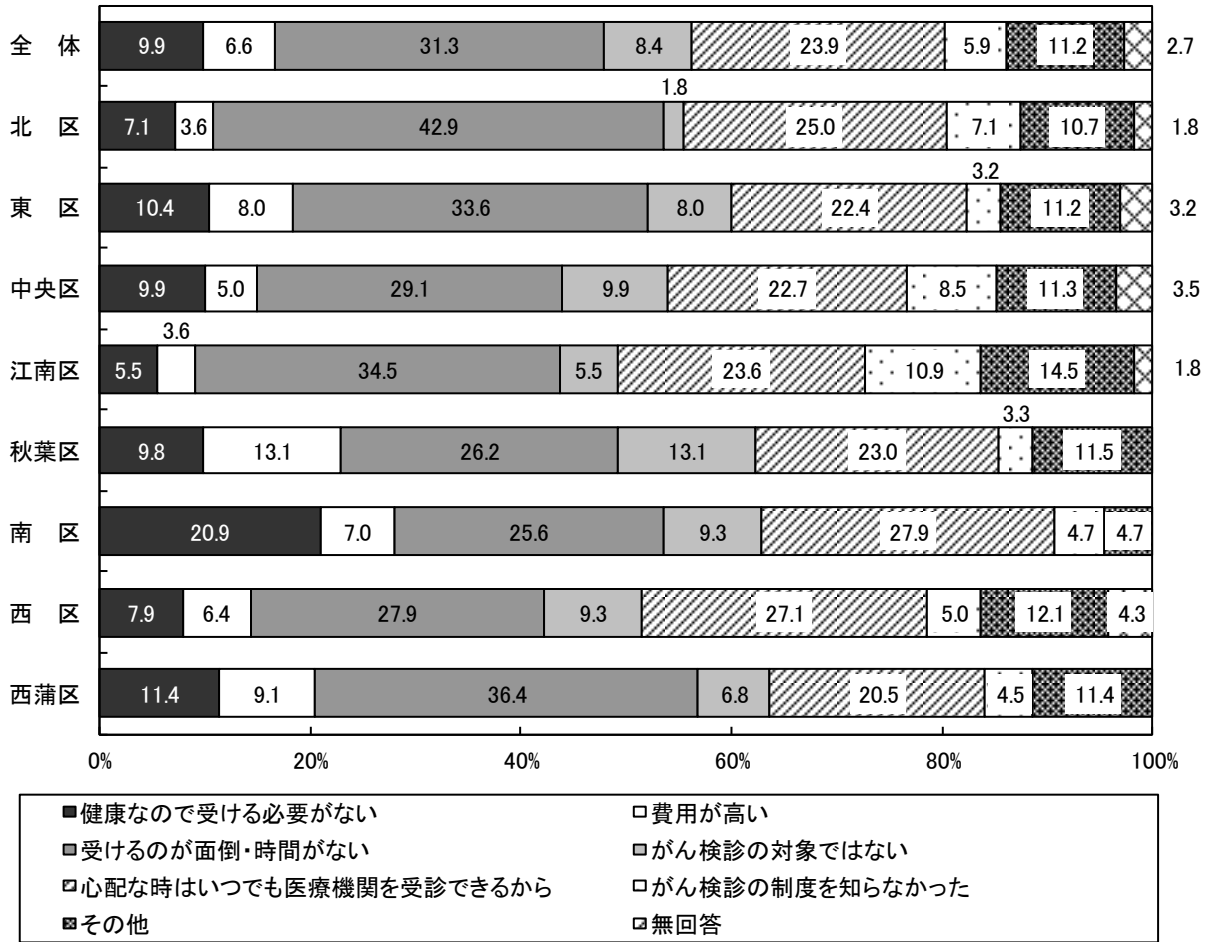
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

南区は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」、その他の区では「受けるのが面倒・時間がない」と回答した人が最も多くなっている。

図 5.23-4 がん検診を受けなかった主な理由（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
677	56	125	141	55	61	43	140	44	12

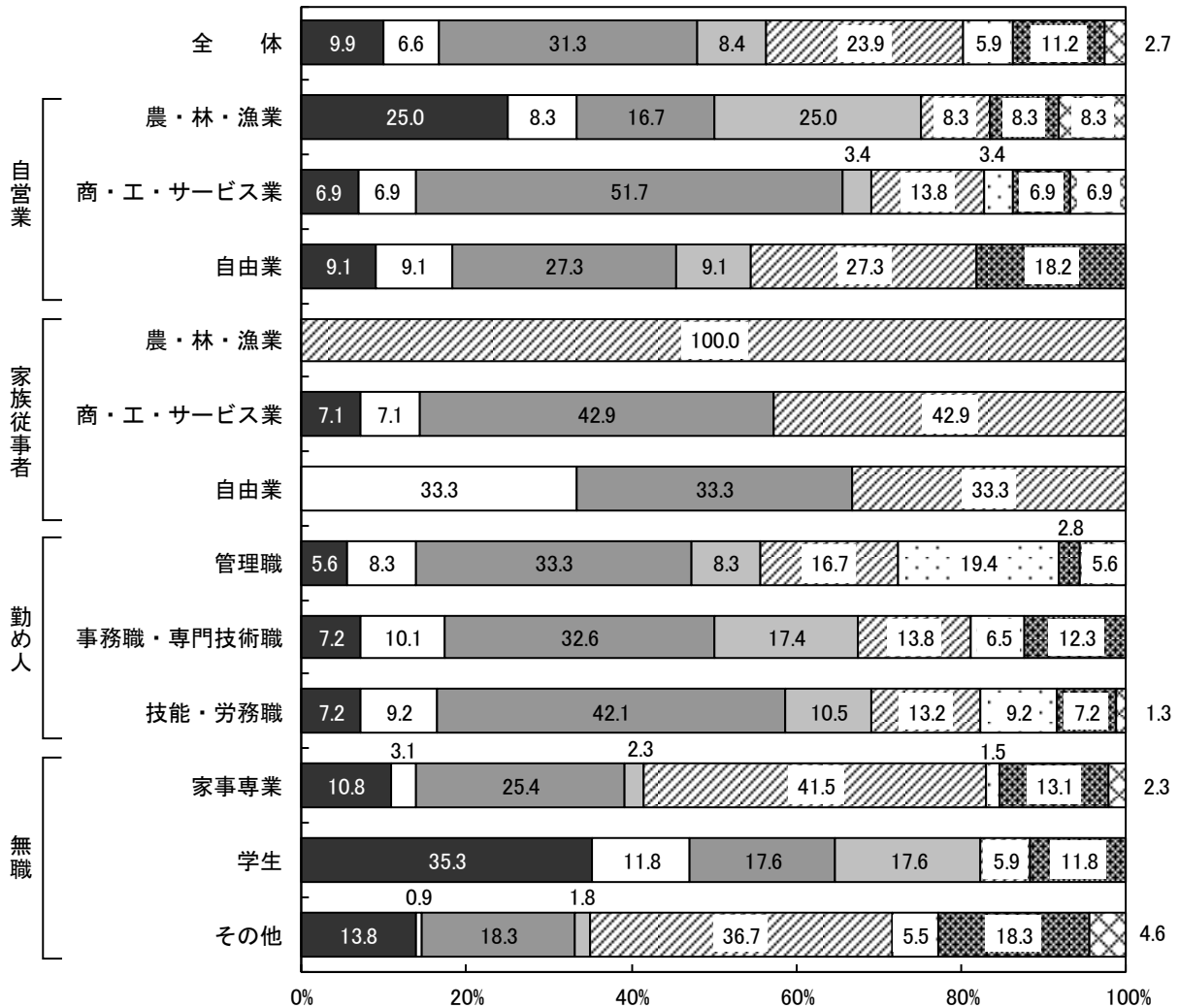
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5. 23-5 がん検診を受けなかった主な理由（職業別）



- 健康なので受ける必要がない
- 受けるのが面倒・時間がない
- 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
- その他
- 費用が高い
- がん検診の対象ではない
- がん検診の制度を知らなかった
- 無回答

全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
677	12	29	11	1	14	3

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
36	138	152	130	17	109	25

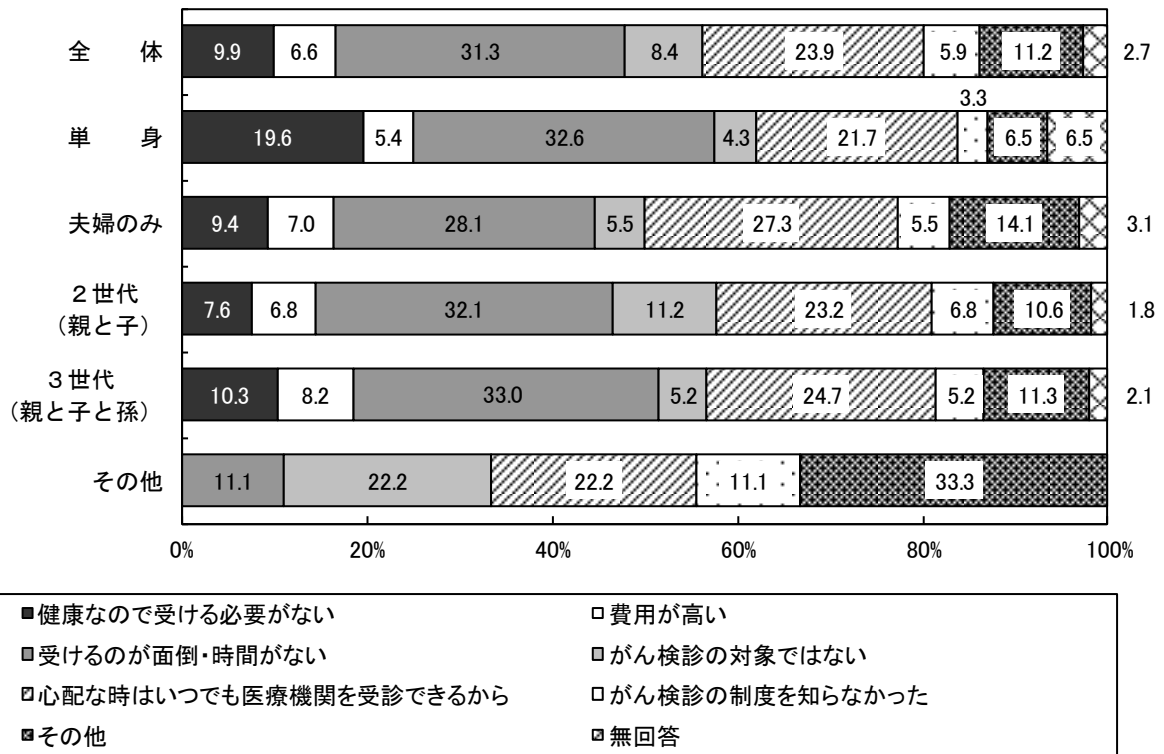
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

その他を除き、「受けるのが面倒・時間がない」を回答した人が、それぞれ最も多くなっている。

図 5. 23-6 がん検診を受けなかった主な理由（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
677	92	128	340	97	9	11

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(24) 地域の人とのつながりの強さ

問46 あなたにとってご自身と地域の人たちとのつながりは強い方だと思いますか。(○は1つだけ)

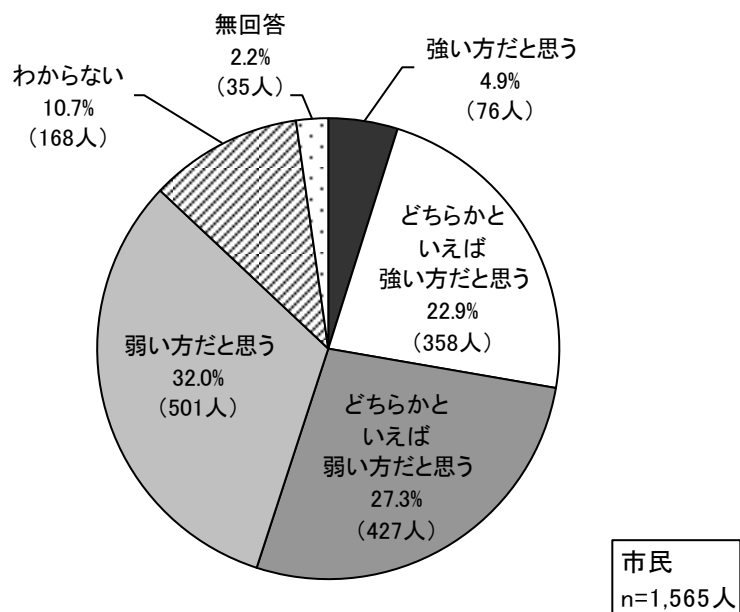
3割弱が地域の人たちとのつながりは強いと回答

【全体結果】

「強い方だと思う」(4.9%)、「どちらかといえば強い方だと思う」(22.9%)と回答した人を合わせた、地域の人たちとのつながりは強いと感じている人の割合は3割弱(27.7%)となっている。

一方、「どちらかといえば弱い方だと思う」(27.3%)、「弱い方だと思う」(32.0%)と回答した人を合わせた、地域の人たちとのつながりは弱いと感じている人の割合は6割弱(59.3%)となっている。

図 5.24-1 地域の人とのつながりの強さ



【性別・年齢別】

すべての年代で、「どちらかといえば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合は、70歳以上（35.0%）で最も高くなっている。

図 5.24-2 地域の人とのつながりの強さ（年齢別・全体）

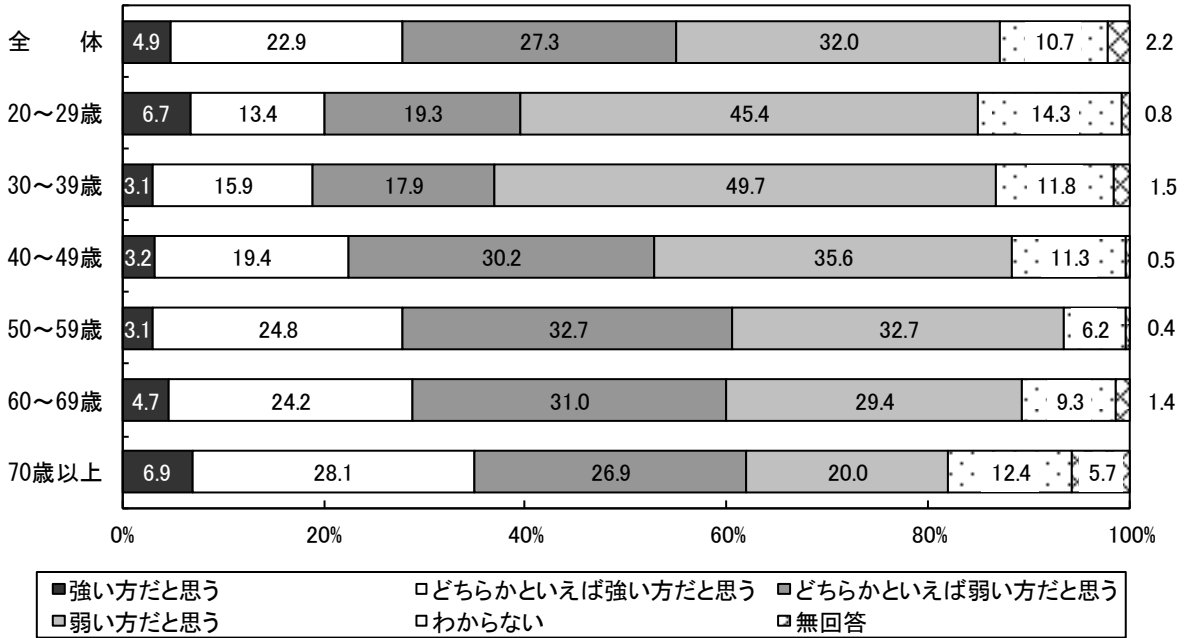
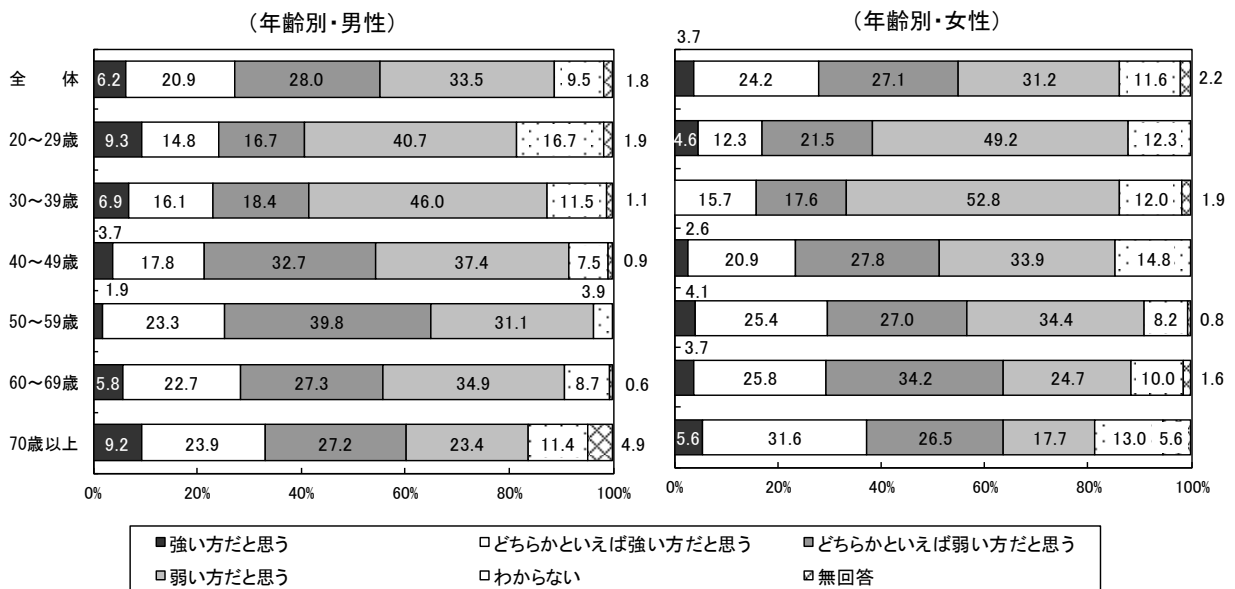


図 5.24-3 地域の人とのつながりの強さ



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

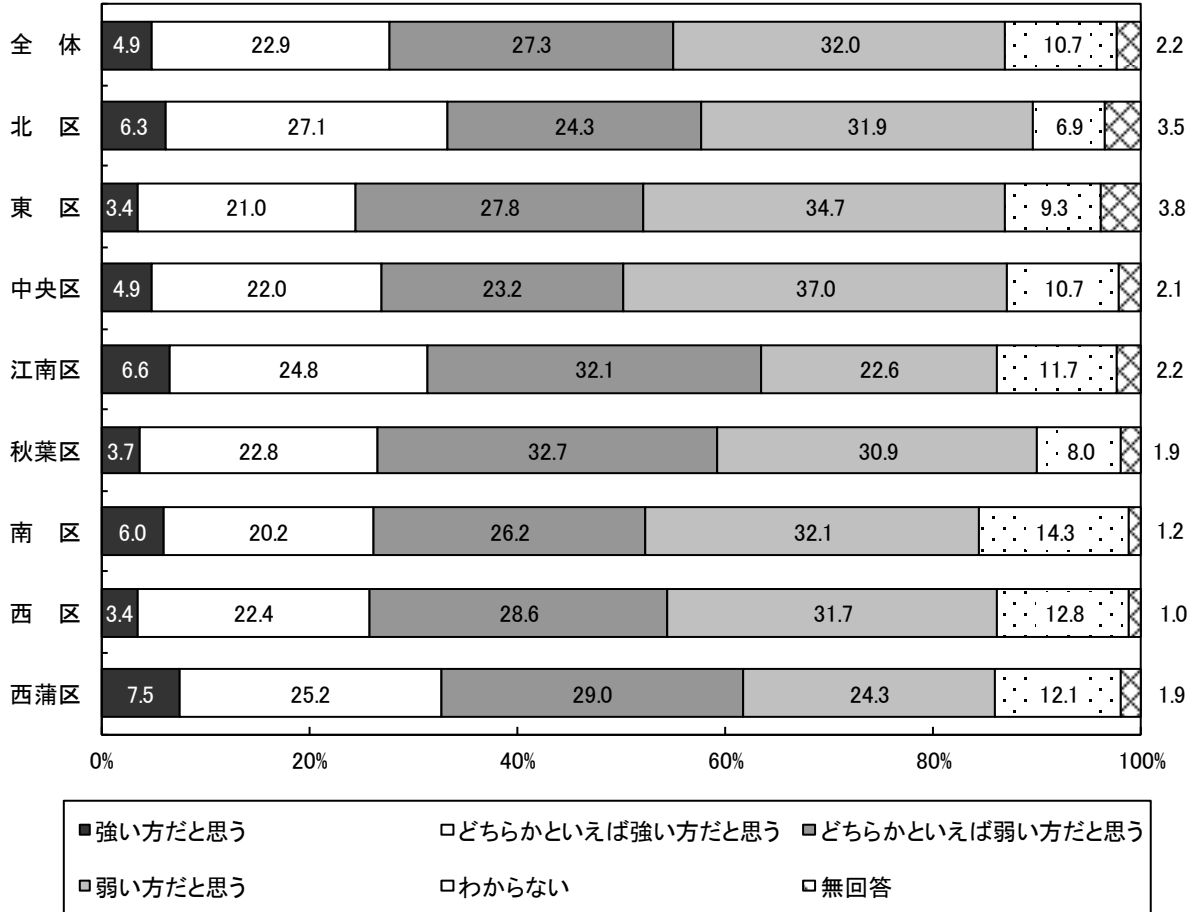
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

すべての地区で「どちらかといえば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。

図 5.24-4 地域の人とのつながりの強さ（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

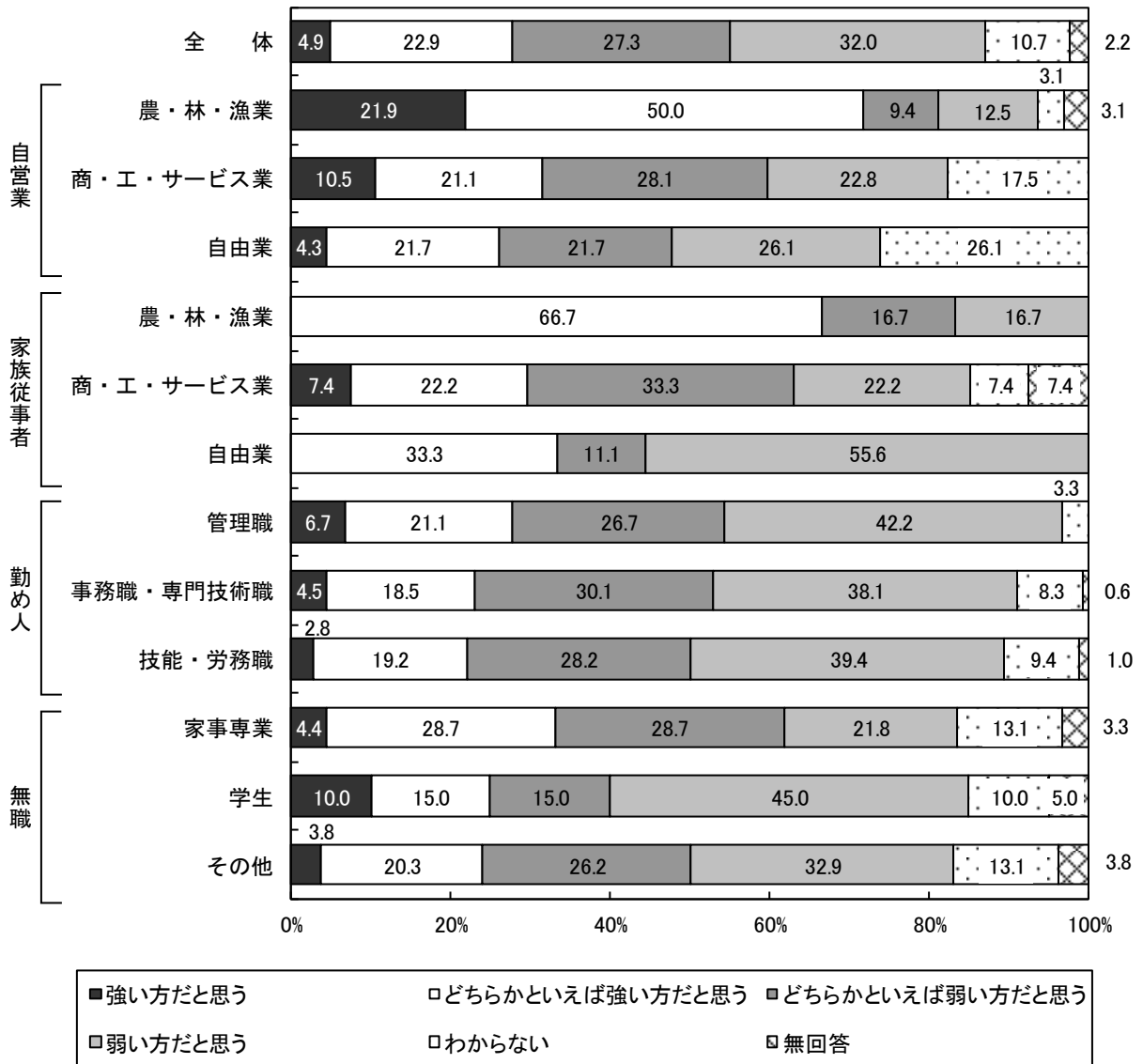
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.24-5 地域の人とのつながりの強さ（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

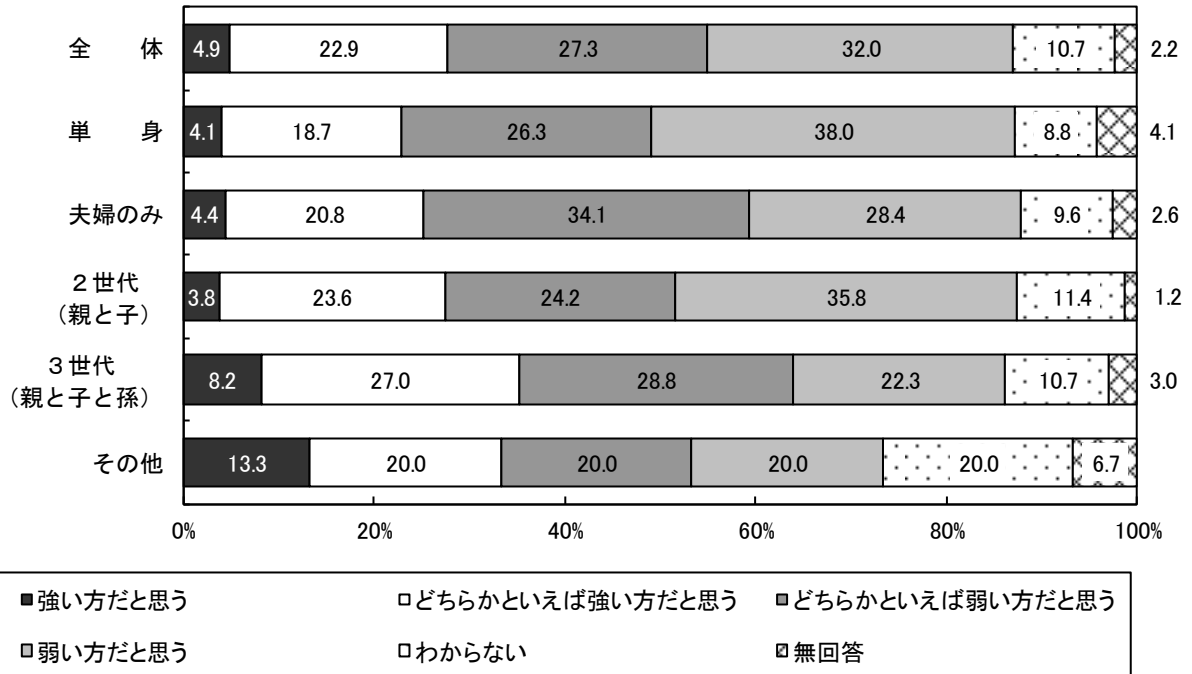
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成とも、「どちらかといえば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。

図 5. 24-6 地域の人とのつながりの強さ（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(25) 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況

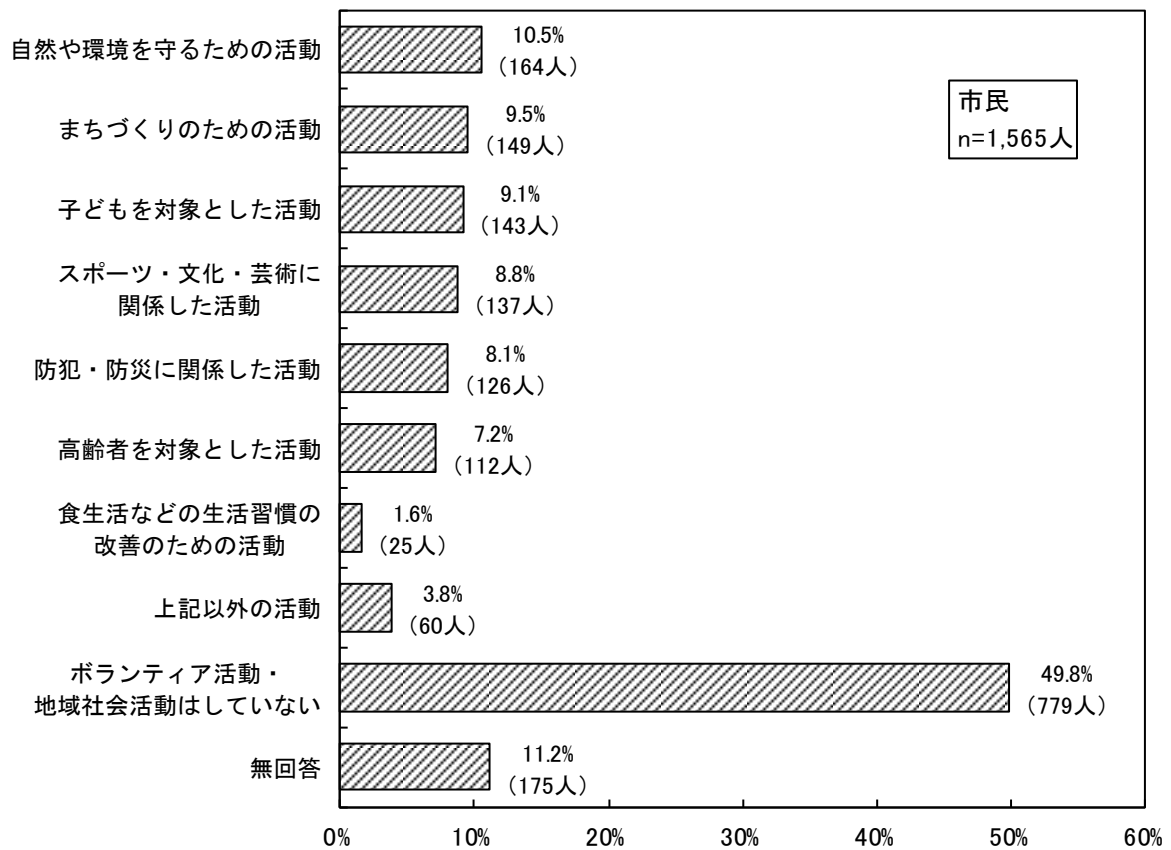
問47 あなたがこの1年間にボランティア活動（近隣の人への手助け・支援を含む）、地域社会活動（町内会活動・地域行事など）を行いましたか。（○はいくつでも）
※有償・無償にかかわらず

「ボランティア活動・地域社会活動に参加している」人は4割弱

【全体結果】

「ボランティア活動・地域社会活動はしていない」（49.8%）、「無回答」（11.2%）を除いた、何らかのボランティア活動・地域活動に参加したと回答した人の割合は4割弱（39.0%）となっている。その中で、「自然や環境を守るための活動」（10.5%）を回答した人が最も多く、以下「まちづくりのための活動」（9.5%）、「子どもを対象とした活動」（9.1%）と続いている。

図 5.25 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況



【性別・年齢別】

各年代とも「ボランティア活動・地域社会活動はしていない」と回答した人の割合が最も高くなっている。30歳代と40歳代では、「子どもを対象とした活動」の割合が、40歳代と50歳代では「自然や環境を守るための活動」の割合が、70歳以上では「高齢者を対象とした活動」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

表 11.1 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況（年齢別・全体）

	対象者	自然や環境を守るための活動	まちづくりのための活動	子どもを対象とした活動	スポーツ・文化・芸術に関係した活動	防犯・防災に係った活動	高齢者を対象とした活動	食生活などの生活習慣の改善のための活動	上記以外の活動	ボランティア活動・地域社会活動はしていない	無回答
計	1565	10.5	9.5	9.1	8.8	8.1	7.2	1.6	3.8	49.8	11.2
20～29歳	119	3.4	3.4	5.9	7.6	5.0	1.7	1.7	4.2	73.1	2.5
30～39歳	195	6.7	7.2	21.5	7.2	5.1	2.6	3.1	4.1	54.4	4.6
40～49歳	222	14.4	12.6	21.2	9.0	9.0	3.2	0.0	2.3	48.6	5.0
50～59歳	226	16.8	11.1	6.6	8.4	4.9	3.5	0.4	4.0	52.2	6.2
60～69歳	364	9.9	9.3	6.3	8.5	10.4	7.7	1.9	5.2	48.6	11.3
70歳以上	420	9.5	10.2	2.1	10.2	9.3	14.5	2.1	3.1	41.2	22.4
年齢不明	19	5.3	5.3	0.0	5.3	10.5	5.3	0.0	5.3	52.6	15.8

対象者：人/回答：%

表 11.2 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況（年齢別・男性）

	対象者	自然や環境を守るための活動	まちづくりのための活動	子どもを対象とした活動	スポーツ・文化・芸術に関係した活動	防犯・防災に係った活動	高齢者を対象とした活動	食生活などの生活習慣の改善のための活動	上記以外の活動	ボランティア活動・地域社会活動はしていない	無回答
計	707	12.4	13.0	8.2	11.2	10.3	7.1	0.7	4.2	49.5	8.8
20～29歳	54	7.4	5.6	3.7	11.1	11.1	0.0	1.9	7.4	66.7	0.0
30～39歳	87	12.6	11.5	20.7	12.6	8.0	2.3	2.3	5.7	48.3	4.6
40～49歳	107	17.8	14.0	14.0	13.1	10.3	3.7	0.0	1.9	52.3	4.7
50～59歳	103	10.7	12.6	3.9	11.7	5.8	0.0	0.0	2.9	55.3	4.9
60～69歳	172	12.8	13.4	8.1	8.1	12.8	7.0	0.0	5.2	47.7	9.9
70歳以上	184	11.4	15.2	2.7	12.0	11.4	17.4	1.1	3.8	41.8	16.8
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 11.3 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況（年齢別・女性）

	対象者	自然や環境を守るための活動	まちづくりのための活動	子どもを対象とした活動	スポーツ・文化・芸術に関係した活動	防犯・防災に係った活動	高齢者を対象とした活動	食生活などの生活習慣の改善のための活動	上記以外の活動	ボランティア活動・地域社会活動はしていない	無回答
計	817	9.1	6.6	10.4	6.9	5.9	7.1	2.3	3.5	49.9	12.7
20～29歳	65	0.0	1.5	7.7	4.6	0.0	3.1	1.5	1.5	78.5	4.6
30～39歳	108	1.9	3.7	22.2	2.8	2.8	2.8	3.7	2.8	59.3	4.6
40～49歳	115	11.3	11.3	27.8	5.2	7.8	2.6	0.0	2.6	45.2	5.2
50～59歳	122	22.1	9.8	9.0	5.7	4.1	6.6	0.8	4.9	49.2	7.4
60～69歳	190	7.4	5.8	4.7	8.9	8.4	8.4	3.7	5.3	49.5	12.1
70歳以上	215	7.9	6.0	1.9	9.3	7.0	12.1	2.8	2.8	40.0	27.0
年齢不明	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

対象者：人/回答：%